

SC-S80650 / SC-S80650L
SC-S60650 / SC-S60650L
SC-S40650

ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、
「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、Bonjour および ColorSync は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社（YouTube,LLC）の商標または登録商標です。

PANTONE は PANTONE LCC 社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。（Pantone LLC, 2019）

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクカートリッジは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

ご使用の前に	6
各部の名称と働き	6
正面	6
右側面	8
内部	9
背面	10
インクユニット (SC-S80650L/SC-S60650L)	11
操作パネル	13
画面の見方	14
特長	16
高生産性を実現	16
高画質印刷	17
優れた使いやすさ	17
使用・保管時のご注意	18
設置スペース	18
使用時のご注意	18
使用しないときのご注意	19
インクカートリッジ/インクパック取り扱い上のご注意	19
インクユニット取り扱い上のご注意 (SC-S80650L/SC-S60650L)	20
メディア取り扱い上のご注意	20
WH/MS インク使用時のご注意 (SC-S80650/SC-S80650L)	21
添付ソフトウェアの紹介	22
提供ソフトウェア	22
内蔵ソフトウェア	23
Epson Edge Dashboard の使い方	24
起動方法	24
終了方法	24
EPSON Software Updater の使い方	24
更新されたか確認してアップデート	24
アップデートの通知を受け取る	25
Remote Manager の使い方	25
起動方法	25
終了方法	25
ソフトウェアの削除	26

基本の操作	27
メディアセット前のご注意	27
メディアセット時のご注意	27
メディアのセット方法	28
自動巻取りユニットの使い方	34
紙管の取り付け	34
外巻きでの巻き取り方	36
内巻きでの巻き取り方	39
セットしたメディアの設定	42
新規にメディア設定を保存する	43
メディア設定方法の種類と概要	43
簡単メディア設定の手順	44
メディア設定の最適化 (メディア調整)	46
メディア調整時のご注意	46
のり付き塩ビ、ターポリンを選択しているとき	47
のり付き塩ビ、ターポリン以外を選択しているとき	47
巻き取ったメディアの取り外し方	49
メディア残量の印刷	49
メディアのカット	50
メディアの取り外し	51
印刷前の確認	52
印刷途中に設定を変更する	52
ヒーターの温度や乾燥設定を変更したいとき	52
バンディングを補正したいとき	53
インクやワイパーユニットの残量を詳細に確認したいとき	53
印刷可能領域	55

メンテナンス	58
メンテナンスの種類と実施時期	58
清掃箇所と実施時期	58
消耗品の箇所と交換時期	59
その他のメンテナンス	60
準備するもの	61
作業時のご注意	62
毎日の清掃	62
定期清掃の仕方	63

インククリーナーの使い方 63	
プリントヘッドの移動 64	
プリントヘッド周辺の清掃 65	
キャップ周辺の清掃 66	
清掃の終了 69	
インクカートリッジのかくはんと交換 (SC-S80650/ SC-S60650/SC-S40650) 69	
かくはんの方法 69	
交換方法 70	
インクパックのかくはんと交換 (SC-S80650L/SC- S60650L) 71	
かくはんの方法 71	
交換方法 73	
廃インク処理 74	
準備と交換時期 74	
廃インクカウンターについて 75	
廃インクボトルの交換 75	
メンテナンスパーツの交換 77	
準備と交換時期 77	
メンテナンスパーツの交換方法 77	
メディア押さえ板の交換 80	
交換方法 80	
使用済み消耗品の処分 82	
純正カートリッジの回収 82	
廃棄 82	
ノズルの目詰まりチェック 82	
目詰まりチェックの種類 82	
チェックパターンの印刷方法 83	
ヘッドクリーニング 84	
ヘッドクリーニングの種類 84	
ヘッドクリーニングの方法 84	
長期間保管するときの事前メンテナンス 86	
事前メンテナンス実施タイミング 86	
事前メンテナンスの方法 86	
使用を再開するとき 87	
カラーモード切り替え (SC-S80650/SC-S80650L の み) 88	
切り替え時の留意点 88	
10 色 → 9 色切り替え時期の目安 88	
カラーモード切り替えの手順 89	
前面カバー内側面の清掃 89	
加圧ローラーの清掃 89	
キャリッジ軸へのグリスの塗布 90	
キャリッジ軸の位置と使用パッド 90	
キャリッジ軸 A への注油手順 91	

キャリッジ軸 B への注油手順 92
グリス保管時のご注意 93

操作パネルのメニューの使い方 94

メニューの操作 94
設定メニュー一覧 95
設定メニューの説明 100
メディア管理メニュー 100
プリンター設定メニュー 104
メンテナンスメニュー 106
プリンターステータスメニュー 108
環境設定メニュー 108

困ったときは 110

メッセージが表示されたとき 110
メンテナンスコール/サービスコールが発生したとき は 112
トラブルシューティング 113
印刷できない (プリンターが動かない) 113
プリンターは動くが印刷されない 113
印刷品質/印刷結果のトラブル 114
メディアのトラブル 115
その他 117
お問い合わせいただく前に 118
エプソンのホームページの Q&A 118
ファームウェアのバージョンアップ 118
トラブルが解消されないときは 118

付録 119

消耗品とオプション 119
インクカートリッジ 119
インクパック 120
メンテナンス用品 120
PANTONE カラーについて (SC-S80650/SC-S80650L のみ) 122
使用可能なメディア 122
移動と輸送 123
移動の方法 123
輸送の方法 124
メディアタイプごとのメディア設定値一覧 125

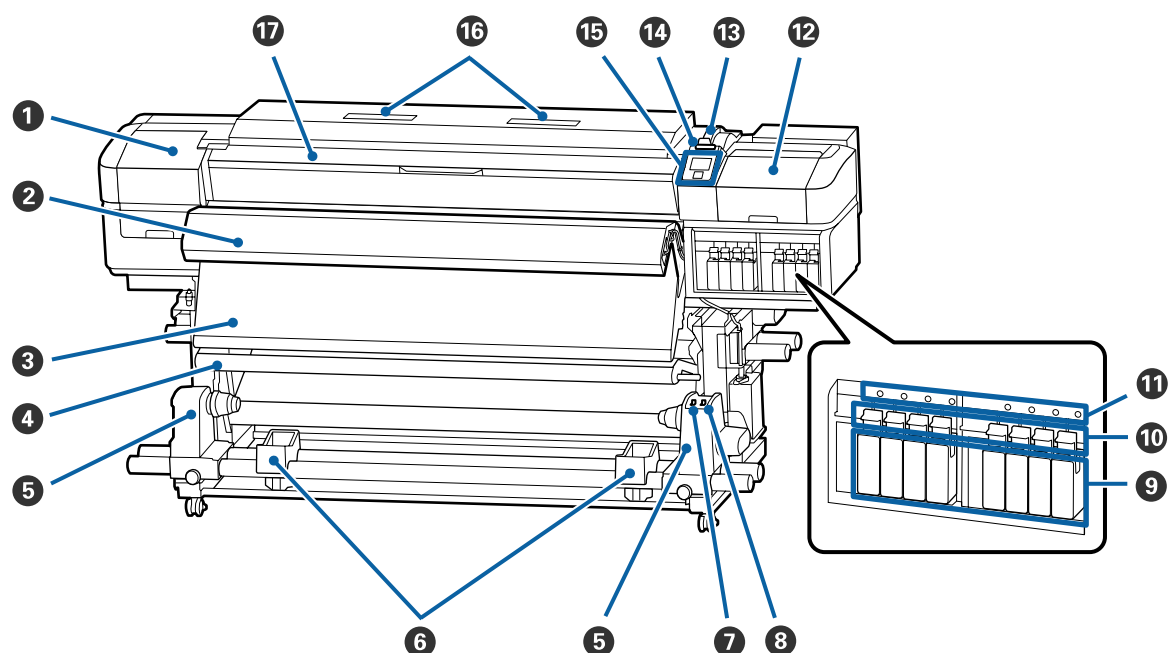
システム条件	126
Epson Edge Dashboard	126
Epson Edge Print	127
Remote Manager	127
仕様一覧	128
サービス・サポートのご案内	130
各種サービス・サポートについて	130
保守サービスのご案内	130
お問い合わせ先	132
製品に関する諸注意と適合規格	133

ご使用前に

各部の名称と働き

正面

SC-S60650 のイラストで説明しています。



① メンテナンスカバー（左）

プリントヘッド周辺を清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 65 ページ

② 外付け乾燥ファンユニット

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。SC-S80650/SC-S80650L/SC-S40650 ではオプションです。

☞ 『外付け乾燥ファンユニットセットアップガイド』（冊子）

③ アフターヒーター

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。

☞ 「ヒーターの温度や乾燥設定を変更したいとき」 52 ページ

④ テンションバー

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

☞ 「自動巻き取りユニットの使い方」 34 ページ

⑤ 紙管ホルダー

メディア巻き取り用の紙管を装着します。左右両側にあります。

☞ 「自動巻き取りユニットの使い方」 34 ページ

⑥ ロールサポート

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

⑦ Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Off にすると巻き取りません。

⑧ Manual スイッチ

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

⑨ インクカートリッジ

SC-S40650 は右側のブロックのみです。SC-S80650L/SC-S60650L にはありません。

インクカートリッジは、全スロットに装着してください。実施するメンテナンス作業によっては、操作パネルの画面の指示に従ってクリーニングカートリッジを装着します。

⑩ ロックレバー

インクカートリッジを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。インクカートリッジ装着後は、ロックレバーを下げてロックします。

SC-S80650L/SC-S60650L にはありません。

⑪ カートリッジチェックランプ

インクカートリッジにエラーが発生すると点灯します。

点灯 : エラーが生じています。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

SC-S80650L/SC-S60650L にはありません。

⑫ メンテナンスカバー（右）

キャップ周辺の清掃をするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

 [「キャップ周辺の清掃」 66 ページ](#)

⑬ メディアセットレバー

メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディアセットレバーを上げてメディアを解放します。

⑭ 大型アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯か点滅かは、エラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

⑮ 操作パネル

 [「操作パネル」 13 ページ](#)

⑯ エアフィルター

動作時に本機内部の空気を通し、インクミストを吸収するフィルターです。エアフィルターは消耗品です。ワイパーユニットと一緒に交換してください。

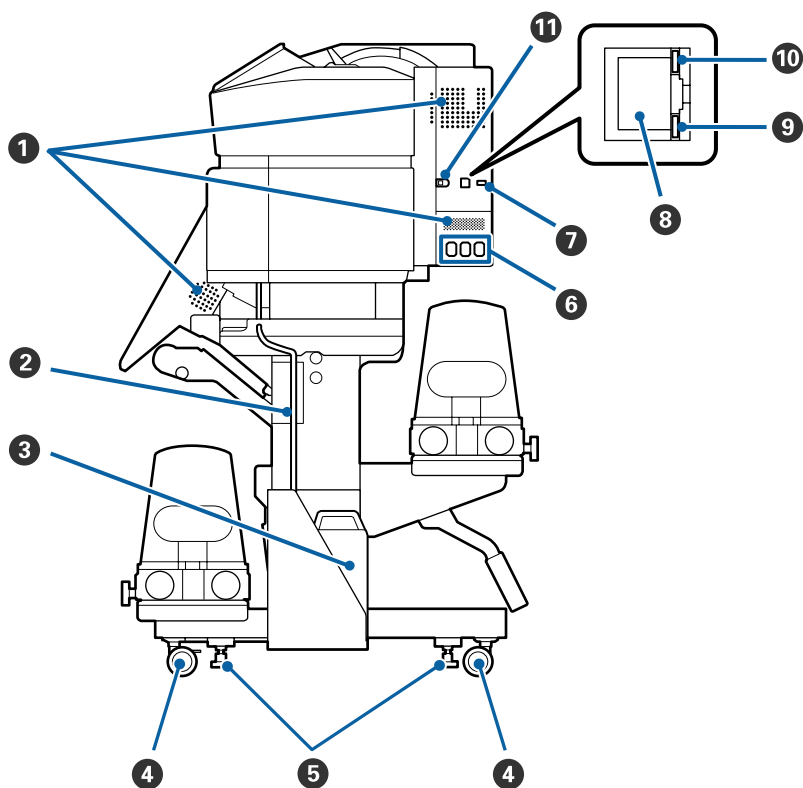
 [「メンテナンスパーツの交換」 77 ページ](#)

⑰ 前面カバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

右側面

SC-S80650L のイラストで説明しています。



① 通風口

内部に空気を取り込みます。通風口を塞がないでください。

② 廃インクチューブ

廃インクを排出するチューブです。チューブ先端を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

③ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。お使いの機種により形状が異なります。
操作パネルの画面メッセージに従って新しい廃インクボトルと交換してください。

📖 「廃インク処理」 74 ページ

④ キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は、前方のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

⑤ アジャスター

じゅうたん張りや傾いた床に設置する際に、水準器で確認して本機を水平状態に調整します。

📖 『セットアップガイド』(冊子)

⑥ 電源コネクター#1/ 電源コネクター#2/ 電源コネクター#3

#1 と #2 には、プリンターに付属の電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

#3 にはインクユニットに付属の電源コードを接続します。#3 は、SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 にはありません。

⑦ Option ポート

SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 にはありません。インクユニットに付属の接続ケーブルを接続します。

⑧ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）を使用してください。

⑨ データランプ

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 接続状態です。

点滅 : 接続状態です。データ受信中です。

⑩ ステータスランプ

ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色 : 100Base-TX

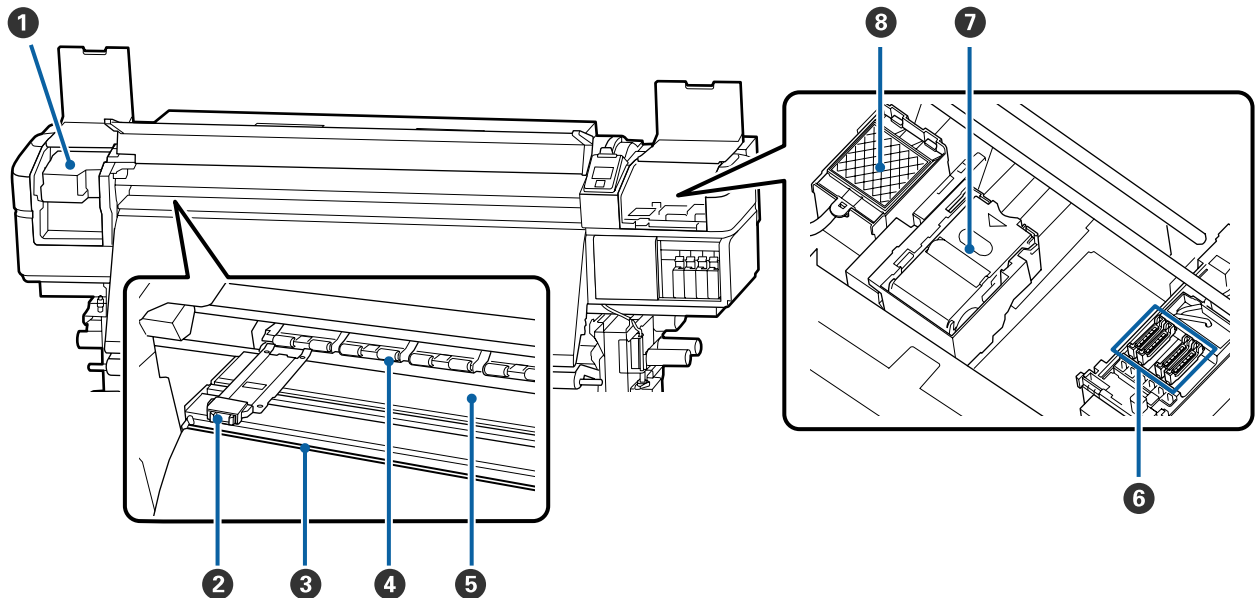
緑色 : 1000Base-T

⑪ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

内部

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧ください、定期的に清掃や交換をしてください。



① プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。1 ヶ月に 1 度以上は清掃してください。

☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 65 ページ

② メディア押さえ板

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り付けて印刷します。

☞ 「メディアのセット方法」 28 ページ

③ カッター溝

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

☞ 「メディアのカット」 50 ページ

④ 加圧ローラー

印刷時にメディアを上から押さええます。

☞ 「毎日の清掃」 62 ページ

⑤ プラテンヒーター

インクの定着を安定させます。

☞ 「ヒーターの温度や乾燥設定を変更したいとき」 52 ページ

☞ 「毎日の清掃」 62 ページ

⑥ キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L は 2 ブロックあります。1 ヶ月に 1 度以上は清掃してください。

☞ 「キャップ周辺の清掃」 66 ページ

⑦ ワイパーユニット

プリントヘッドのノズル面に付いたインクを拭き取ります。ワイパーユニットは消耗品です。操作パネルの画面メッセージに従って交換してください。

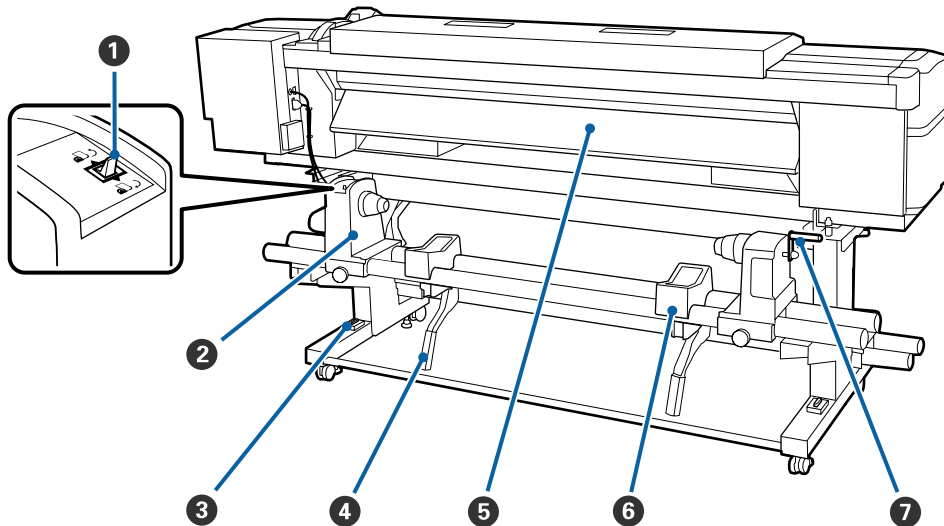
🔗 「メンテナンスパーツの交換」 77 ページ

⑧ フラッシング用吸収材

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。ワイパーユニットと一緒に交換してください。

🔗 「メンテナンスパーツの交換」 77 ページ

背面



① 駆動スイッチ

メディアセット時にメディアを送ったり、メディア交換時に巻き戻したりできます。

② ロールホルダー

メディアを装着します。左右両側にあります。

③ 水準器

じゅうたん張りや傾いた床に設置する際に、本機の水平状態を確認します。左右両側にあります。

🔗 『セットアップガイド』(冊子)

④ リフトレバー

メディアをロールホルダーに装着する際に重いと感じるときは、このレバーを使うと負担なくメディアをロールホルダーの位置まで持ち上げられます。左右両側にあります。

⑤ プリヒーター

印刷前にメディアを予熱して、印刷部が急激に温度変化しないようにします。

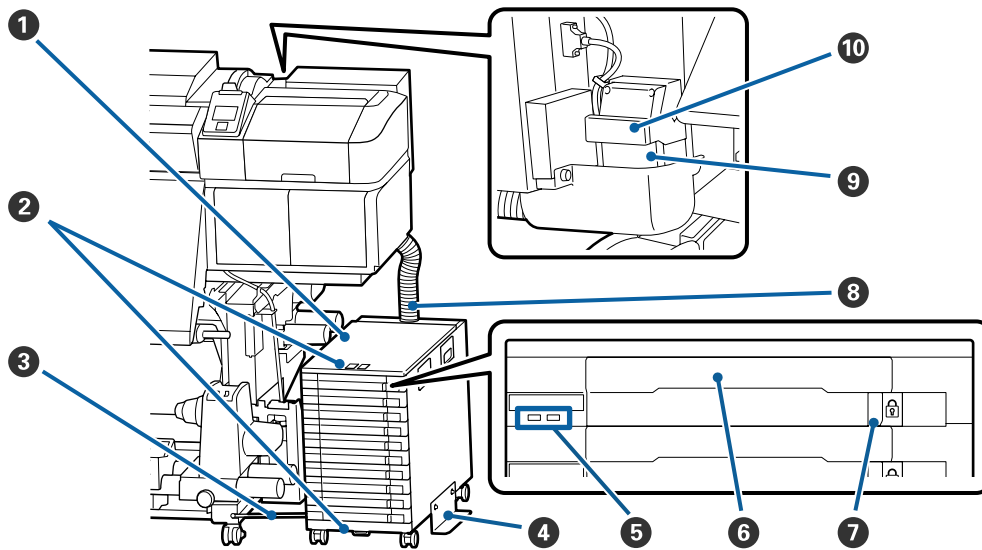
⑥ ロールサポート

メディアをロールホルダーに装着するとき、一旦ここに置いてから装着作業をします。左右両側にあります。

⑦ ハンドル

メディアを右側のロールホルダーに装着後、ハンドルを回すとロールホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。

インクユニット (SC-S80650L/SC-S60650L)

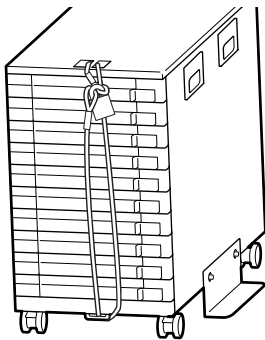


① インクユニット

本機にインクを供給します。全てのトレイにインクパックを装着してください。

② セキュリティーワイヤー取り付け部

インクパックの無断持ち出しを防止するため、市販のセキュリティーワイヤーを上下の取り付け部を通して取り付けます。



③ 固定ワイヤー

必ず、固定ワイヤーを本機の脚の正面と背面にネジで固定してお使いください。固定ワイヤーでつながずに、インクユニットを本機に接続した状態でインクユニットを動かすと、インクチューブが破損するおそれがあります。

④ 転倒防止板

インクユニットの転倒防止のため、必ず両側に取り付けてお使いください。

⑤ LED ランプ

対象のトレイに装着しているインクパックやインクユニットの状態が以下の通り点灯/点滅で示されます。

青色 点灯 : 本機にインクを供給中です。トレイを引き出さないでください。

青色 点滅 : インクパックのかくはん時期です。トレイを引き出してかくはんしてください。

 [「かくはんの方法」71ページ](#)

オレンジ 点灯/点滅 : エラーまたは警告が生じています。点灯か点滅かは、エラー/警告の内容によって異なります。エラー/警告の内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。必要に応じてトレイを引き出せます。

⑥ トレイ

ラベルで示す色のインクパックを装着します。全てのトレイをインクユニットにセットしてください。

⑦ ロックスイッチ

トレイを引き出すときは、ロックスイッチを右にシフトしてロックを解除します。トレイをセット後はロックスイッチを左にシフトしてロックします。

⑧ インクチューブ

インクパックから本機にインクを供給するチューブです。

⑨ インクチューブコネクター

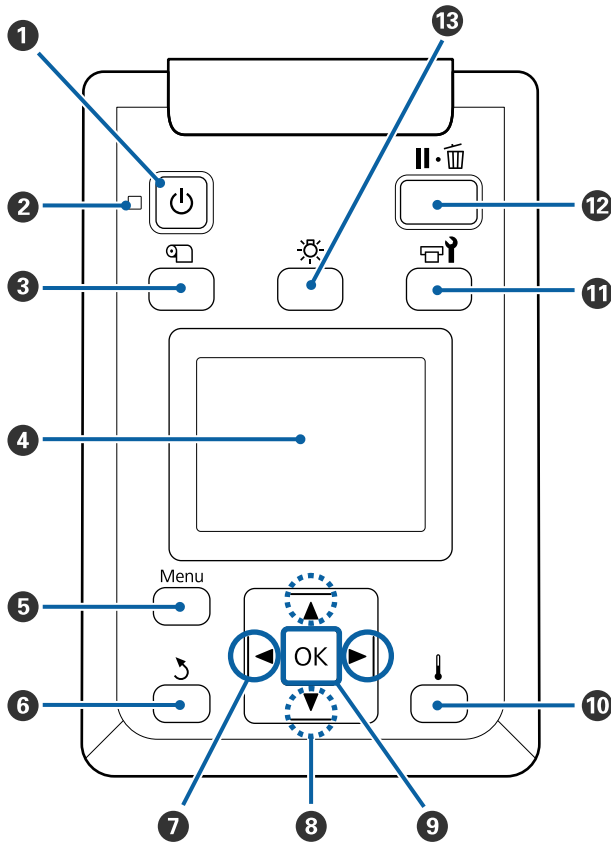
インクチューブと本機を接続するコネクターです。本機輸送時以外は常に接続した状態でお使いください。

 [「移動と輸送」123 ページ](#)

⑩ コネクターロックレバー

インクチューブコネクターをロックしています。セットアップでロックした以降は、操作しないでください。

操作パネル



① 【】 ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入れたり、切ったりします。

② ランプ (電源ランプ)

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 電源が入っています。

点滅 : データ受信中または本機の電源を切る、ヘッドクリーニングなどの処理中です。

消灯 : 電源が入っていません。

③ 【】 ボタン (メディア管理ボタン)

画面にメディア管理メニューが表示され、[カット位置まで送る]、[メディア残量管理]、[メディア選択]、[メディア設定変更]、[簡単メディア設定]が行えます。

[「メディア管理メニュー」 100 ページ](#)

印刷中に押したときは、メディア送り調整を行えます。

[「バンディングを補正したいとき」 53 ページ](#)

④ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。[「画面の見方」 14 ページ](#)

⑤ 【Menu】 ボタン

画面に設定メニューが表示されます。[「操作パネルのメニューの使い方」 94 ページ](#)

⑥ 【】 ボタン (戻るボタン)

設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。[「メニューの操作」 94 ページ](#)

⑦ 【】 / 【】 ボタン (左右ボタン)

設定メニューで [設定名の登録] や [IP アドレス] などを任意に設定する際、入力する文字の位置を設定するときに押します。

⑧ 【】 / 【】 ボタン (上下ボタン)

- メディアセットレバーを下げた状態のとき

【】 ボタンを押すとメディアが送られ、【】 ボタンを押すと巻き戻ります。

ボタンを押し続けると、メディア送りが加速されます。SC-S80650L/SC-S60650L をお使いのときは、短く 1 押しすると 0.4 mm ずつメディア送りできます。メディアの位置合わせの微調整時に便利です。

なお、【】 ボタンでメディアを巻き戻したとき、メディアの先端が印刷開始位置に達すると巻き戻しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度押すと巻き戻しが再開します。

- メディアセットレバーを上げた状態では、セットしているメディアの巻き仕様にに応じてメディアを巻き戻すボタンが異なります。

印刷面外巻き: 【】 ボタンを押します。

印刷面内巻き: 【】 ボタンを押します。

ボタンを押し続けるとメディアを最大 25cm まで巻き戻せます。

- 設定メニュー表示中に押すと、メニューや設定値を選択できます。[「メニューの操作」 94 ページ](#)

⑨ 【OK】 ボタン

- 設定メニューでメニュー項目を選択した状態で押すと、そのメニューのひとつ下の階層に進みます。

- 設定メニューで設定値を選択した状態で押すと、その設定値が有効に設定されるか、あるいは実行されます。

- 警告ブザーが鳴っているときに押すと、音が止まります。

10 【】 ボタン（ヒーター/乾燥設定ボタン）

画面にヒーター/乾燥設定メニューが表示され、[ヒーター予熱開始] や [ヒーター温度設定]、[パスごとの乾燥時間]、[印刷後の乾燥送り] が行えます。オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S60650/SC-S60650L は標準）を装着しているときは [乾燥ファン設定] も行えます。印刷中に押して調整できます。

🔗 [「ヒーターの温度や乾燥設定を変更したいとき」52 ページ](#)

11 【】 ボタン（メンテナンスボタン）

画面にメンテナンスメニューが表示され、[ノズルチェック] や [クリーニング]、[ヘッドメンテナンス]、[廃インクボトル交換]、[ヘッド洗浄]、[長期保管前メンテナンス] が行えます。印刷中に押したときは、動作しません。

🔗 [「メンテナンスメニュー」106 ページ](#)

12 【】 ボタン（ポーズ/キャンセルボタン）

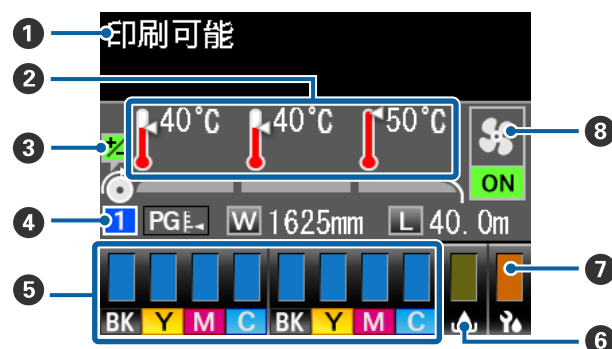
- 印刷中に押すと、一時停止（ポーズ）状態になります。ポーズ状態を解除するには、再度【】ボタンを押すか、画面の [ポーズ解除] を選択して【OK】ボタンを押します。画面で [ジョブキャンセル] を選択して【OK】ボタンを押すと処理中の印刷をキャンセルできます。
- 設定メニューを表示中に押すと、メニューを終了し印刷可能状態に戻ります。

13 【】 ボタン（照明ボタン）

内部照明が付いているときに押すと、消灯します。内部照明が消えているときに押すと、点灯します。ただし、点灯不可の動作中はボタンを押しても点灯しません。

画面の見方

SC-S60650 の画面で説明します。



1 メッセージ

本機の状態や操作、エラーメッセージが表示されます。

🔗 [「メッセージが表示されたとき」110 ページ](#)

2 ヒーター温度

左からプリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターの順で設定値が表示されます。温度計アイコンは、現在のヒーター温度の目安を以下のように表しています。

 : ヒーターの温度が設定温度に達しています。

 : ヒーターの温度が設定温度に達していません。

3 印刷中のメディア送り調整情報

印刷の途中で調整値を設定したときに表示されます。

🔗 [「バンディングを補正したいとき」53 ページ](#)

4 メディア情報

- 左から、選択しているメディア設定の番号、プラテンギャップ、メディア幅、メディア残量が表示されます。
- プラテンギャップの設定値により、アイコンが以下のように変わります。

 : 1.6

 : 2.0

 : 2.5

- メディア残量は [メディア残量管理] で [メディア長さ設定] を [OFF] に設定しているときは表示されません。

🔗 [「メディア残量管理」100 ページ](#)

⑤ インクカートリッジ/インクパックの状態

インク残量の目安や状態が表示されます。この表示は、インクが残り少なくなったときやエラーが生じると以下のように変わります。



1 状態表示

インクカートリッジ/インクパックの状態が次のように示されます。

-  : 印刷できます。インジケータの高さはカートリッジ/インクパック内のインクの量に応じて変わります。
-  : インクが残り少ないため、新しいインクカートリッジ/インクパックの準備が必要です。
-  : インク残量が限界値以下です。新しいインクカートリッジ/インクパックと交換してください。
-  : インクカートリッジ/トレイがロックされていません。ロックしてください。
-  : インクカートリッジ/インクパックが未装着です。インクカートリッジ/インクパックを装着してロックしてください。
-  : エラーが生じています。画面のメッセージを確認し、エラーを解除してください。
-  : クリーニングカートリッジ/クリーニングインクパックが装着されています。インジケータの高さはカートリッジ/クリーニングインクパック内の洗浄液の量に応じて変わります。

2 インク色の略号

SC-S80650/SC-S80650L

- OR : オレンジ
- GY : グレー
- BK : ブラック
- C : シアン
- M : マゼンタ
- Y : イエロー
- R : レッド
- LC : ライトシアン
- LM : ライトマゼンタ

WH : ホワイト

MS : メタリックシルバー

CL : クリーニングカートリッジ/クリーニングインクパック

SC-S60650/SC-S60650L/SC-S40650

BK : ブラック

Y : イエロー

M : マゼンタ

C : シアン

⑥ 廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安や状態が表示されます。この表示は、空き容量が残り少なくなったときやエラーが生じると以下のように変わります。



1 状態表示

廃インクボトルの状態が次のように示されます。

-  : 問題ありません。インジケータの高さは空き容量に応じて変わります。
-  : 廃インクボトルがもう少しでいっぱいになります。新しい廃インクボトルの準備が必要です。
-  : 廃インクボトルが満杯です。新しい廃インクボトルと交換してください。

⑦ ワイパーユニットの状態

ワイパーの残量の目安が表示されます。

-  : 残量に応じてインジケータが段々低くなります。

⑧ 外付け乾燥ファンユニットの状態

外付け乾燥ファンユニット（SC-S80650/SC-S80650L/SC-S40650 はオプション）の設定が表示されます。

表示なし : 未接続、あるいは正しく接続されていません。

 : 乾燥ファンが機能します。

 : 乾燥ファンが機能しません。設定メニューの [乾燥ファン設定] を [ON] に切り替えると乾燥ファンが働きます。

 「ヒーターの温度や乾燥設定を変更したいとき」
52 ページ

参考

⑤～⑦ は設定メニューの残量表示メニューで、もう少し詳細に確認できます。

 「プリンタステータスメニュー」 108 ページ

特長

本機は、1626mm（64 インチ）のロールメディアに対応した大判インクジェットカラープリンターです。本機の主な特長は以下の通りです。

高生産性を実現

3つのヒーターを搭載

以下の3つのヒーターが印刷品質と生産性の向上をサポートします。

プリヒーター：印刷部が急激に温度変化しないように印刷前のメディアを予熱します。

プラテンヒーター：インクの定着を安定させます。

アフターヒーター：インクをすばやく乾かすことができます。

45kg までのロールが装着できるメディア搬送ユニット

メディア搬送ユニットには、外径 250mm、重量 45kg までの大容量メディアを装着できるのでメディアの交換の頻度が軽減されます。

自動巻取りユニットを標準装備

印刷後のメディアをきれいに、しわなく自動的に巻取ることができます。バナー印刷や大量印刷、夜間の連続印刷に役立ちます。

大容量インクカートリッジ/インクパック

高い生産性を実現するため、大容量インクカートリッジ/インクパックを提供しています。インクカートリッジ/インクパック交換のわずらわしさが軽減されます。

高速印刷の実現

SC-S60650/SC-S60650L は 2 ヘッドスタガー配列により高速印刷を実現しています。また高速印刷に対応するため、各色 2 本ずつインクカートリッジ/インクパックをセットできます。

外付け乾燥ファンユニットをご用意

オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S60650/SC-S60650L は標準）を用いることでさらに乾燥性が高められ、より生産性が向上します。SC-S80650/SC-S80650L を 10 色モードでお使いのときは、WH/MS インクが乾きにくいいため使用をお勧めします。

高画質印刷

滑らかな階調性、高い色再現性の実現

SC-S80650/SC-S80650L は、ライト系インク（GY、LC、LM）の搭載で粒状感の低減、滑らかな階調性を実現しました。また、OR、R インクの搭載で、より広い色域を持ち高い色再現性を実現しました。これにより、近接の屋内掲示板やファインアート、カーラッピングなどで必要とされる高画質印刷が可能です。

WH/MS インクを搭載

SC-S80650/SC-S80650L は、WH または MS インクの搭載で様々な表現が可能になりました。WH インクは高い遮蔽性を実現しているため、透明なメディアへの透けない表現（ウィンドウグラフィック）が可能です。また WH/MS インクの上にカラーインクを重ねること（レイヤー印刷）で、カラーインクの透けない表現や、様々なメタリックカラーの表現が可能です。

優れた使いやすさ

メディアのセット・巻き取りが簡単

ロールホルダー、紙管ホルダーともスピンドルの無い構造のため、セット前にメディアをスピンドルにセットする必要がありません。メディアを運んで来てそのまま直接本機にセットできます。作業スペースが狭くても、長いスピンドルを取り回さずに簡単にセットできます。さらにロールサポートにメディアを仮置きできるほか、リフトレバーを使って重たいメディアも負担なくロールホルダーの位置まで持ち上げられます。

使用するメディアに最適な印刷設定を簡単に登録

メディアのサイズやタイプに合わせて最適な印刷ができるように、多様な設定を用意しています。設定メニューの「簡単メディア設定」を実施すると、この多様な設定をメディアタイプに応じて簡単に素早く登録できます。さらに、付属のアプリケーションソフト「Epson Edge Dashboard」を使うとエプソンが提供する印刷設定（EMX）ファイルをダウンロードして設定できます。EMX ファイルは市販メディアに適切に印刷するのに必要な、プリンターに登録するメディア設定値と RIP で読み込んで使う ICC プロファイルやパス数、解像度などのプリント情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです。メディア設定値をプリンターに登録し、プリント情報を RIP で指定するだけで、簡単に最適な印刷が行えます。

メンテナンスの容易さ

印刷品質を維持するためには、メンテナンスが欠かせません。本機は、ワイパーユニット搭載により清掃作業が軽減されました。また、メンテナンススペースが広く設計されており、容易にメンテナンス作業を行えます。さらに、定期クリーニングや自動ノズルチェック機能によりノズルの目詰まりが起きるのを予防したり自動で改善できます。

必要に応じてカラーモードを切り替え

以下の通りカラーモードを切り替えられます。

- 10 色モード（WH） <=> 10 色モード（MS）
- 10 色モード（WH） <=> 9 色モード
- 10 色モード（MS） <=> 9 色モード

🔗「カラーモード切り替え（SC-S80650/SC-S80650L のみ）」88 ページ

メール通知機能でエラー/ワーニング状態を通知

本機のネットワークインターフェイスに内蔵の EpsonNet Config（Web 版）にはメール通知機能が装備されています。メール通知設定を行うと、本機にエラーやワーニング発生時に、設定したアドレスにメールで状態が通知されます。これにより、夜間無人運転時なども安心して本機から離れることができます。

EpsonNet Config（Web 版）の起動方法 🔗『ネットワークガイド』（PDF）

大型アラートランプとブザーでエラーを通知

エラーが生じたときは、ブザー音と大型アラートランプが点灯してお知らせします。大型アラートランプは視認性が良いので、離れた位置からも確認できます。同時にブザーでもお知らせしますので、エラーで印刷が止まっているのに気付かずにいるという時間の無駄使いを防止できます。

High-Speed USB/ギガビットイーサネット

High-Speed USB と 100Base-TX/1000Base-T 対応のネットワークインターフェイスを標準搭載しています。

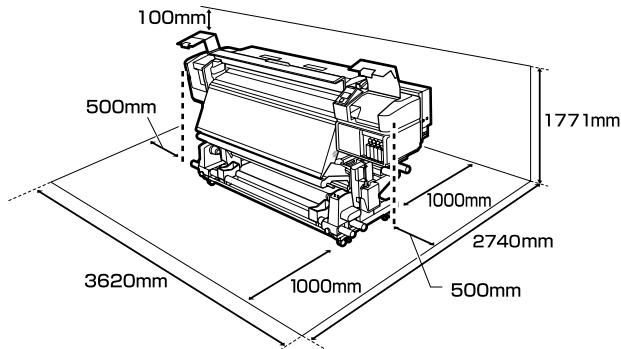
使用・保管時のご注意

設置スペース

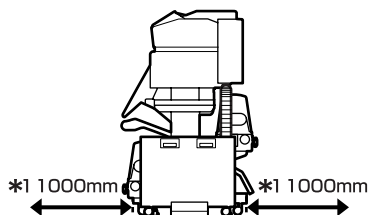
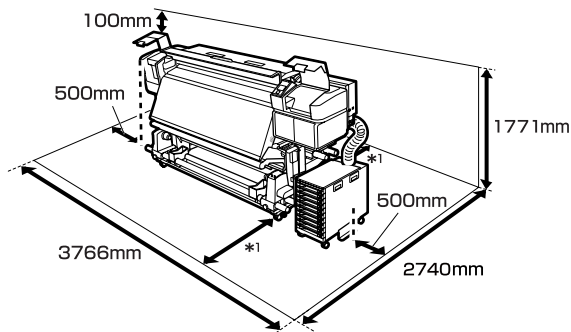
排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。

🔗「仕様一覧」128 ページ

SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650



SC-S80650L/SC-S60650L



使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

WH/MS インク使用時は、以下も合わせてご覧ください。

🔗「WH/MS インク使用時のご注意（SC-S80650/SC-S80650L）」21 ページ

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。🔗「仕様一覧」128 ページ

ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディアの環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアルをご覧ください。

また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでください。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあります。
- 使用頻度や推奨する時期に清掃や交換などのメンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因となります。適切なメンテナンスをせずに使い続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。

🔗「清掃箇所と実施時期」58 ページ

- メディアが詰まったときやエラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（蓋）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 印刷後一定時間が経つとプリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングが行われます。そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃インクボトルを装着してください。

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインクが消費されます。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

WH/MS インク使用時は、以下も合わせてご覧ください。

🔗 [「WH/MS インク使用時のご注意（SC-S80650/SC-S80650L）」 21 ページ](#)

- 本機を長期間使用しない（電源を切る）ときは、別売のクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパックを使って、長期保管前メンテナンスを実施してください。そのまま放置すると、ヘッドの目詰まりが解消できなくなります。

詳細は以下をご覧ください。

🔗 [「長期間保管するときの事前メンテナンス」 86 ページ](#)

- 長期間保管メンテナンスを行わずに長期間使用しないときは、7 日に 1 度は電源を入れてください。
印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。電源を入れると起動後、自動でヘッドクリーニングが行われます。ヘッドクリーニングを行うことで、プリントヘッドの目詰まりを防ぎ印刷品質を維持できます。ヘッドクリーニングが終了するまで電源を切らないでください。

- 本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

🔗 [「チェックパターンの印刷方法」 83 ページ](#)

- メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時はメディアを取り外してください。
- プrintヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングせずに長時間放置すると、印刷不良の原因となります。

参考

キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度切ってください。

- 全てのカバーを開けて保管してください。また、長期間使用しないときは、ホコリが入らないよう、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。

- 本機を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で保管してください。

インクカートリッジ/インクパック取り扱い上のご注意

インクカートリッジ/インクパックは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

WH/MS インク使用時は、以下も合わせてご覧ください。

🔗 [「WH/MS インク使用時のご注意（SC-S80650/SC-S80650L）」 21 ページ](#)

- 購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクカートリッジ/インクパックをお早めにご準備ください。
- インクカートリッジ/インクパックは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ってください。
 - インクカートリッジ/インクパック個装箱に印刷された推奨使用期限
 - インクカートリッジの袋を開封した日または、インクパックをトレイに装着した日から 6 ヶ月
- インクカートリッジ/インクパックを寒い所から暖かい所に移したときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジ/インクパックの IC チップには触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 全スロットまたは全トレイにインクカートリッジまたはインクパックを装着していないと印刷できません。
- インクカートリッジまたはトレイを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクカートリッジやインクパックは全て装着した状態にしてください。

- インクカートリッジ/インクパックは IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、交換のメッセージの前に取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジ/インクパックを保管するときは、事前に付属のメンテナンスキットのクリーニング棒でインク供給孔部に付着しているインクを吸着させてください。供給孔部のインクが乾燥すると、再装着して使用するときインク漏れの原因となります。詳細な清掃方法は、以下をご覧ください。
🔗 [「長期間保管するときの事前メンテナンス」 86 ページ](#)
また、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、蓋や栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジ/インクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ/インクパック内にインクが残ります。
- インクカートリッジ/インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジ/インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジ/インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジ/インクパックからインクが漏れることがあります。
- 本機またはインクユニットに装着したインクカートリッジ/インクパック（WH、MS を除く）は 3 週間に 1 度、取り出してよく振ってください。
WH、MS は、毎日の印刷業務開始前に取り出してよく振ってください。
クリーニングカートリッジ/クリーニングインクパックは、振る必要はありません。
インクカートリッジの振り方 🔗 [「かくはんの方法」 69 ページ](#)
インクパックの振り方 🔗 [「かくはんの方法」 71 ページ](#)

インクユニット取り扱い上のご注意（SC-S80650L/SC-S60650L）

- 固定用ワイヤーでインクユニットを本機の脚の正面と背面にネジで固定してください。固定用ワイヤーでつなぐずに、インクユニットを本機に接続した状態でインクユニットを動かすと、インクチューブが破損するおそれがあります。
- セットアップで接続した以降は、インクチューブコネクターを取り外さないでください。不用意に取り外すとインクが漏れるおそれがあります。

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。
必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- メディアを濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、捨てないでください。
- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こすったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれることがあります。

- 印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに十分に乾燥させてください。乾燥させずに重ねると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。この跡はすぐにメディアを剥がして乾燥させればなくなりますが、そのまま放置すると跡が消えなくなります。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐためにメディアのマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

WH/MS インク使用時のご注意（SC-S80650/SC-S80650L）

WH/MS は、他の色よりも沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすい特性があります。沈降すると、印刷結果の濃淡ムラやノズル目詰まりの要因となります。WH/MS を使用する前に、以下の注意事項をご覧ください。

自動インク循環のご注意

自動インク循環機能は、プリントヘッドやチューブ内の WH/MS インクを定期的に自動で循環してインクの沈降を防ぐ機能です。

自動インク循環が正しく機能するために、以下に留意してお使いください。

- 本機の電源は、常時入れておくことをお勧めします。電源を切ると、適切なタイミングで自動インク循環が行われないため、解消できない沈降が生じて故障の原因となります。本機を長期間使用しないときは、以下をご覧ください。

🔗 [「長期間保管するときの事前メンテナンス」 86 ページ](#)

- 一括して複数部数の印刷をするときは、ページ間で自動インク循環が行われることがあります。この場合、循環の前後で色味が異なって見えたり、印刷完了までに時間を要したりします。

自動インク循環で中断されるのを回避するには、手動で「インク循環」を済ませてから印刷を開始することをお勧めします。

🔗 [「メンテナンスメニュー」 106 ページ](#)

- 操作パネルの画面に「インク循環中」と表示されているときに【】ボタンを押すと、自動インク循環をキャンセルできます。ただし、キャンセル後に WH/MS を使った印刷をすると、印刷結果に濃淡ムラが出る場合があります。

なお、インク循環が不可欠なタイミングではキャンセルできません。

24 時間に 1 度かくはんしてください

インクカートリッジ/インクパック装着後、24 時間に 1 度は取り出してよく振ってください。

振り方 🔗 [「かくはんの方法」 69 ページ](#)

インクカートリッジ/インクパック保管時のご注意

平置き（平らに寝かせた状態）で保管してください。

縦長方向に立てた状態で保管すると、使用前にかくはんをしても成分の沈降を解消できないことがあります。

印刷結果に濃淡ムラが見られるときは

操作パネルのメニューで「インクリフレッシュ」を実施してください。

🔗 [「メンテナンスメニュー」 106 ページ](#)

添付ソフトウェアの紹介

本機には、以下の2種類のCDが付属しています。

- ソフトウェアディスク

収録されているソフトウェアの内容は、下表をご覧ください。

- Epson Edge Print ディスク

Epson Edge Print は、わかりやすい操作で容易に使えるソフトウェア RIP です。

インストール方法は、『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。

機能の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。

提供ソフトウェア

提供ソフトウェアは下表の通りです。

Windows 用は付属のソフトウェアディスクに収録されています。Mac やディスクドライブ非搭載のコンピューターをお使いのときは <https://epson.sn> からインストールしてください。

各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのオンラインヘルプ、または『ネットワークガイド』（オンラインマニュアル）を参照してください。

参考

プリンタードライバーは提供していません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。本機には、エプソン製ソフトウェア RIP 「Epson Edge Print」が別 CD で付属しています。

エプソンのホームページでは、本機対応のプラグインソフトウェアなどを紹介しています。

<https://www.epson.jp>

ソフトウェア名称	概要
Epson Edge Dashboard	インストール後は常駐ソフトとして働きます。Epson Edge Print に印刷設定ファイル（EMX ファイル）を引き渡したり更新したり、登録プリンターのステータスを通知したりします。 このほかに対応するエプソンプリンターに対して以下の管理が行えます。 • インターネットではエプソンが提供する、以下の様々な情報をスムーズに取得いただけます。 • 印刷設定ファイル（EMX ファイル） • プリンターファームウェアの更新情報（Epson Edge Dashboard から簡単にファームウェアのアップデートが行えます） • 付属のソフトウェアディスクやセットアップナビからインストールしたソフトウェアとマニュアルの更新情報（更新情報が届いたら EPSON Software Updater を起動して、簡単にアップデートが行えます。） • エプソンからのお知らせ • Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。 • コンピューターから簡単にメディア設定の設定や変更をしてプリンターに書き出せます。 🔗 「起動方法」 24 ページ 🔗 「終了方法」 24 ページ
EPSON Software Updater	インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルや Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print もアップデートできます。
Epson 通信ドライバー（Windows のみ）	Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print 使用時やコンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。
EpsonNet Config SE	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

内蔵ソフトウェア

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。

ソフトウェア名称機能	機能
Remote Manager	ネットワークの設定は Remote Manager から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。  「Remote Manager の使い方」 25 ページ

Epson Edge Dashboard の使い方

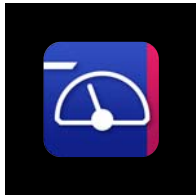
起動方法

Epson Edge Dashboard は Web アプリケーションです。

- 1** 次のどちらかの方法で起動します。

Windows

- デスクトップのタスクバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックして [Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard] の順にクリックします。

Mac

- デスクトップのメニューバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックして [Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- 2** Epson Edge Dashboard が起動します。

詳細は、Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。ただし、Epson Edge Dashboard は常駐アプリケーションですので動作は終了しません。

EPSON Software Updater の使い方

更新されたか確認してアップデート

- 1** 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- 本機とコンピューターが通信できている。

- 2** EPSON Software Updater を起動します。

Windows 8.1/Windows 8

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 8.1/Windows 8 以外

スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

Mac OS X

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考

Windows では、デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

- 3** アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで更新します。

以降は画面の指示に従ってください。

!重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのホームページで最新版のソフトウェアを確認してください。
<https://www.epson.jp>

アップデートの通知を受け取る

- 1 **EPSON Software Updater** を起動します。
- 2 **【確認の間隔設定】** をクリックします。
- 3 本機の **【間隔】** の欄で更新の確認を行う間隔を選択して **【OK】** をクリックします。

Remote Manager の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。

起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターで起動します。

- 1 本機の **IP アドレス**を確認します。
印刷可能な状態であることを確認します。
【Menu】ボタンを押して **【環境設定】** - **【ネットワーク設定】** - **【IP アドレス設定】** の順に選択します。
- 2 本機とネットワークで接続されているコンピューターで **Web ブラウザー**を起動します。
- 3 **Web ブラウザー**のアドレスバーに本機の **IP アドレス**を入力して、**【Enter】** または **【Return】** キーを押します。
書式 : <https://>本機の IP アドレス/
例 : <https://192.168.100.201/>

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

ソフトウェアの削除

！重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

Windows

Epson Edge Dashboard、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。

- 1 本機の電源を切り、コンピューターと接続しているケーブルを外します。
- 2 ソフトウェアをインストールしているコンピューターで【コントロールパネル】の【プログラム】 - 【プログラムのアンインストール】をクリックします。
- 3 削除するソフトウェアを選択して【アンインストールと変更】（または【変更と削除】）をクリックします。

以下を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。XXXXX には、型番の数字が入ります。
 - EPSON SC-SXXXXX Series Comm Driver プリンターアンインストール
【Epson Edge Dashboard】を選択すると、Epson Edge Dashboard を削除できます。
- 4 本機のアイコンをクリックして、【OK】をクリックします。
- 5 この後は、画面の指示に従ってください。

削除を確認するメッセージが表示されたら【はい】をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Mac

Epson Edge Dashboard の削除方法を説明します。

- 1 【Epson Edge Dashboard】を終了します。
- 2 【アプリケーション】 - 【Epson Software】 - 【Epson Edge Dashboard】 - 【Epson Edge Dashboard アンインストーラー】をダブルクリックします。

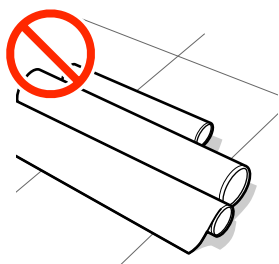
以降は画面の指示に従ってください。

基本の操作

メディアセット前のご注意

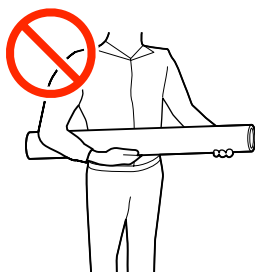
以下の点を守らずにメディアを取り扱くと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのまま直接メディアを床に置かない。
メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



メディアセット時のご注意

⚠ 注意

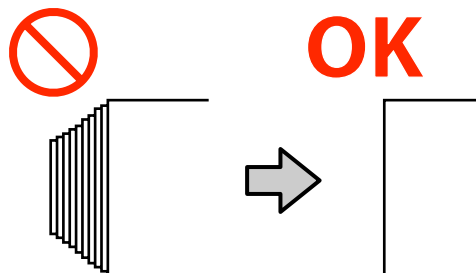
- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアは重いので、1人で運ばないでください。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろるように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。

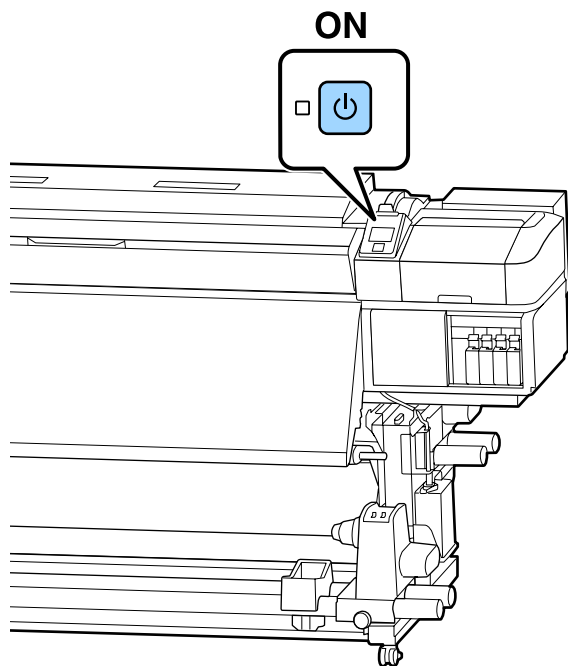


メディアのセット方法

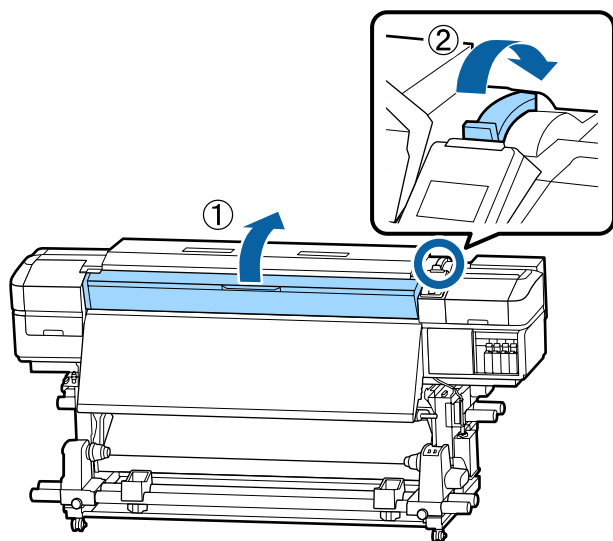
手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

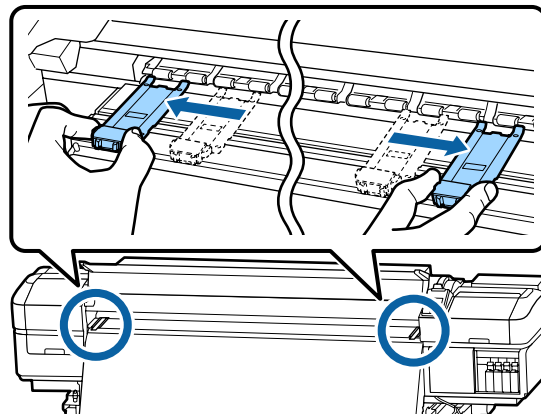
- 1 【】 ボタンを押して、画面に【メディアをセットしてください。】と表示されるまで待ちます。



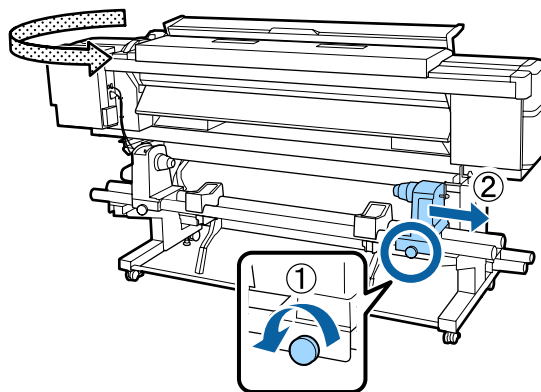
- 2 前面カバーを開けてからメディアセットレバーを倒します。



- 3 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左右端へ退避させます。

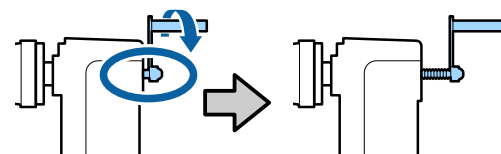


- 4

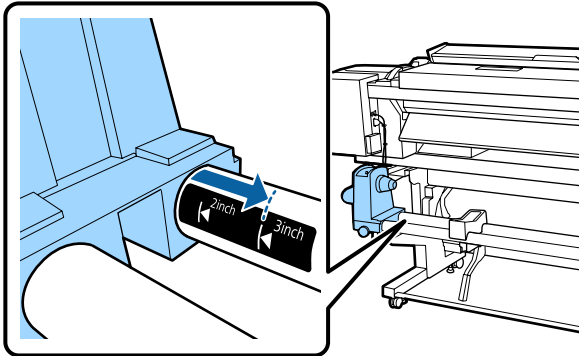


！重要

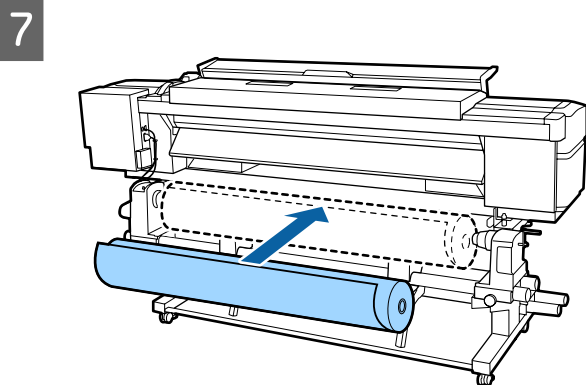
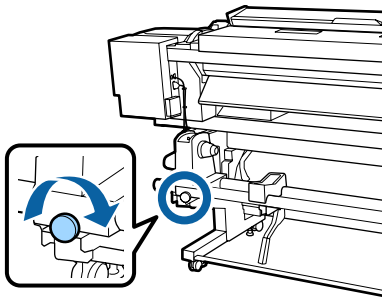
右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、ハンドルを回らなくなるまで、手前に回します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを正しく取り付けられません。



- 5** セットするメディアの紙管サイズに応じて、ロールホルダーをセット位置に移動します。



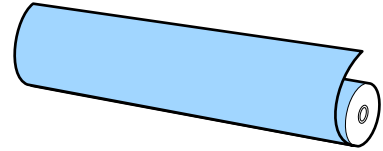
- 6** 固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



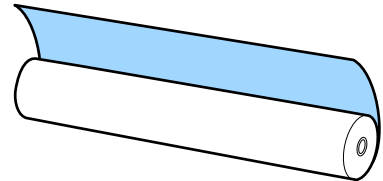
参考

メディアの巻き仕様により、ロールメディアの置き方が以下のように異なります。

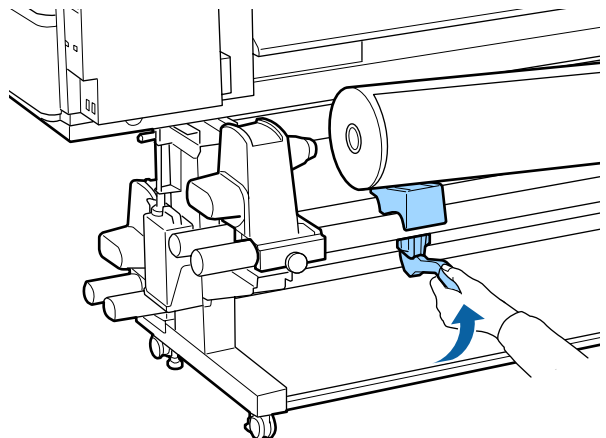
印刷面外巻き



印刷面内巻き

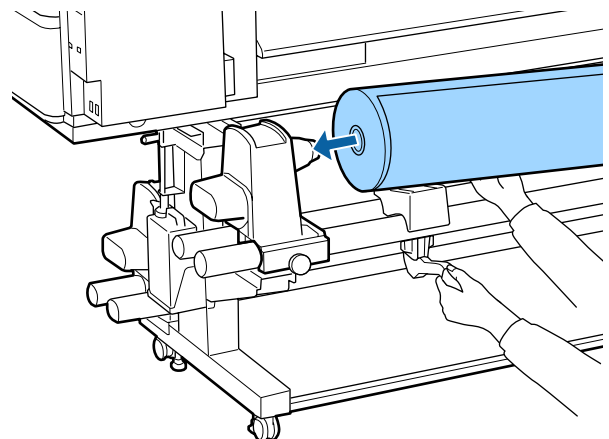


8



9

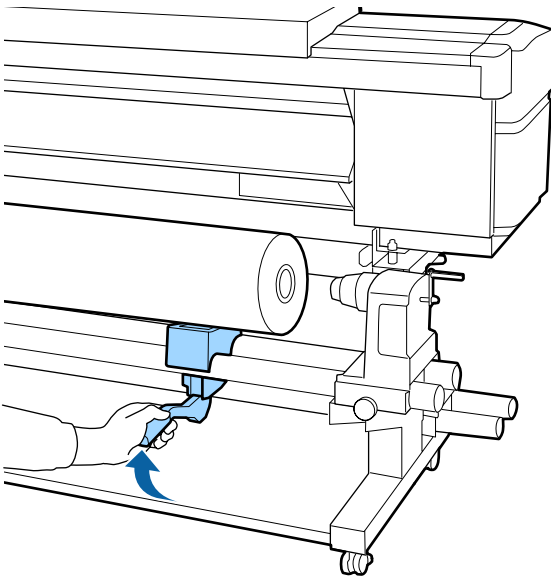
- メディアの紙管をロールホルダーにしっかり挿入します。



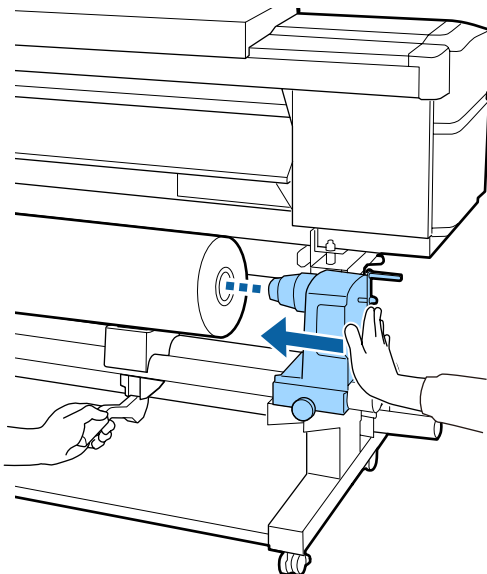
参考

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

10



11

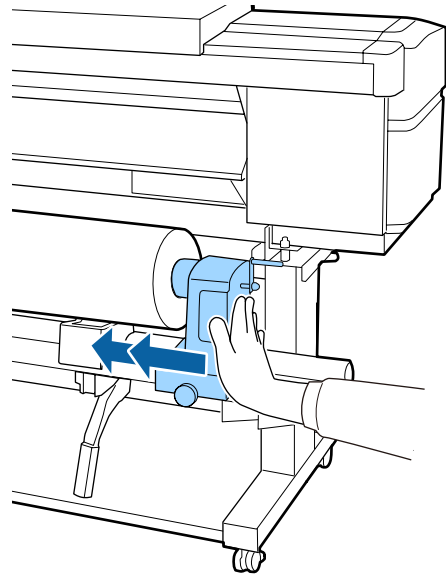


参考

ロールの外径が 140mm 未満のメディアは、リフトレバーで持ち上げてもロールホルダーに紙管部分が届きません。
手で補ってロールホルダーに紙管を挿入してください。

12

ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、2 回押し付けます。

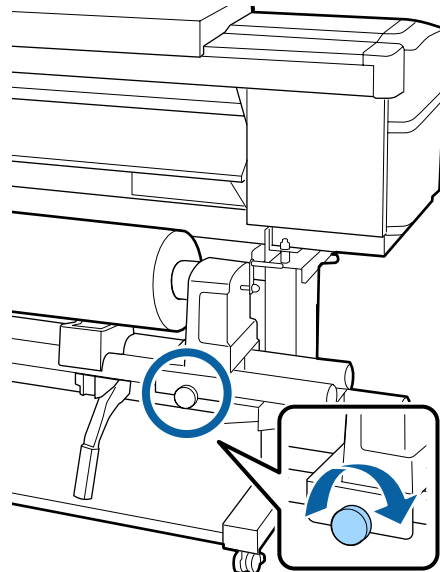


!重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア送りが正しく行えません。
このため、印刷結果にバンディングが生じることがあります。

13

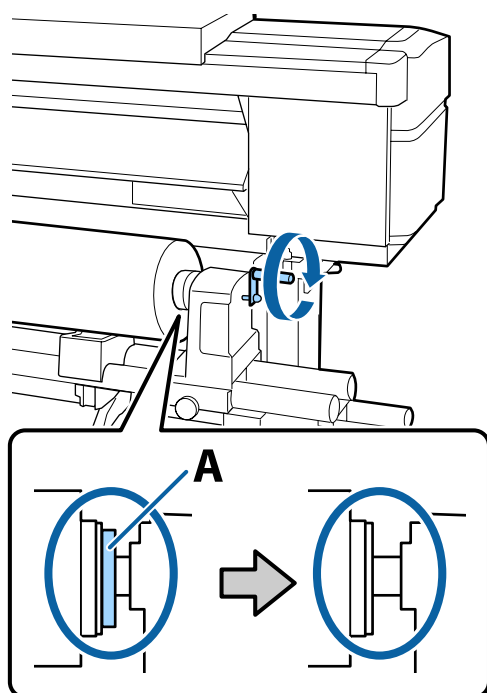
固定ネジは回らなくなるまできつく締めます。



！重要

- ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロールホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷品質低下の原因となります。
- ロールの左右の端がそろっていないときは、そろえ直してください。

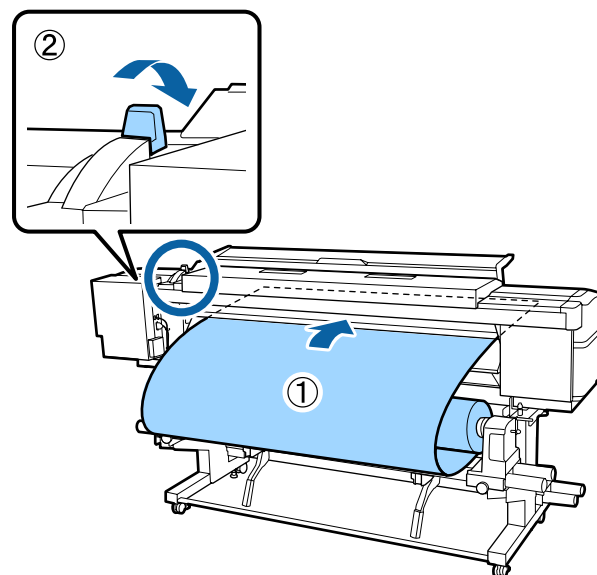
- 14** 以下の図の **A** の部分が完全に入り込むまでハンドルを回します。



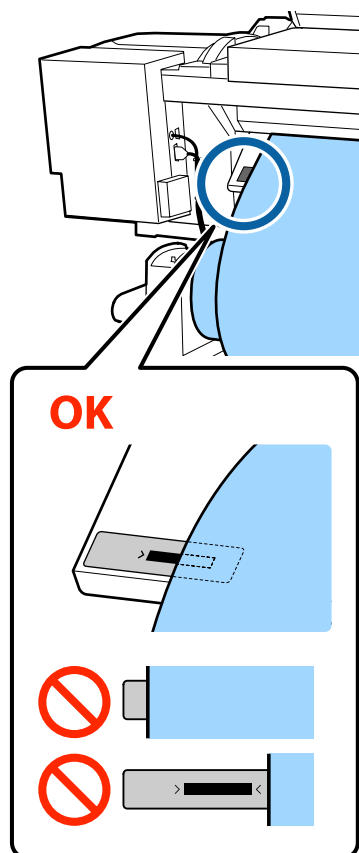
！重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないでください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損するおそれがあります。ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロールホルダー固定ネジを緩めて、手順 4 からやり直してください。

- 15** メディアを挿入口から **30cm** ほど挿入し、メディアアセットレバーを下げます。



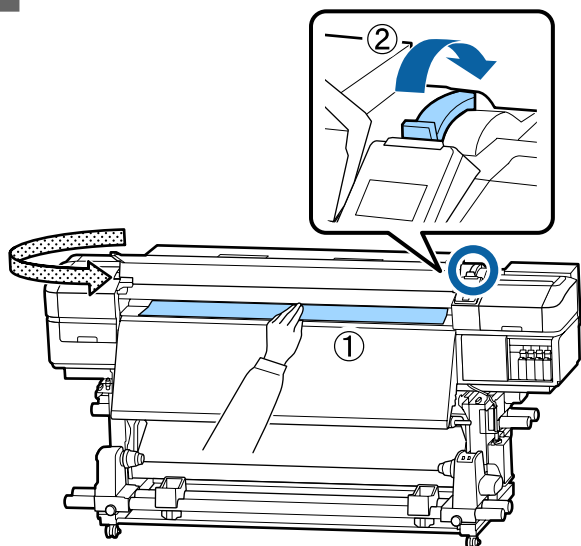
- 16** メディアの左端が下図の通り、ラベルの四角の範囲内を通っていることを確認します。



参考

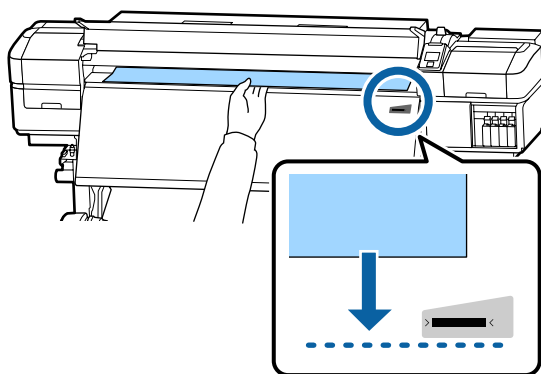
メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出しているときは、必ず手順 16 から逆順で手順 5 まで戻ってロールホルダーの位置を調整してください。メディアをセットした状態で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。

17

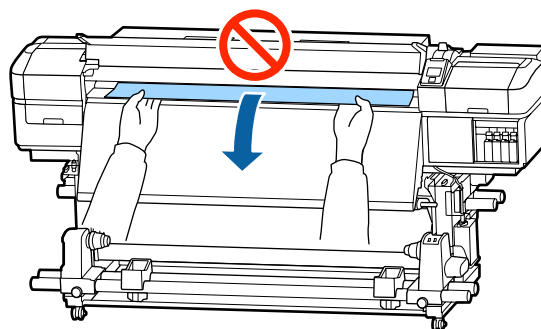


18

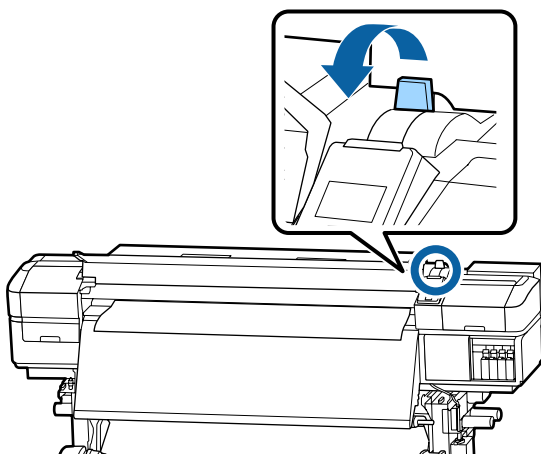
メディアの中央を片手で持って、アフターヒーター上のラベルの下端までまっすぐに引き出します。



メディアを両手で引き出さないでください。メディアが斜行・蛇行する原因となります。

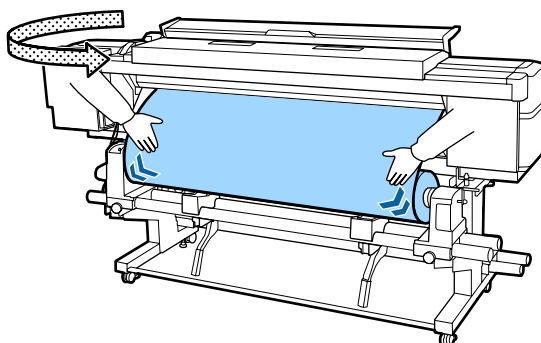


19



20

メディアの両端を軽くたたいて、左右で張りに違いがあるか確認します。

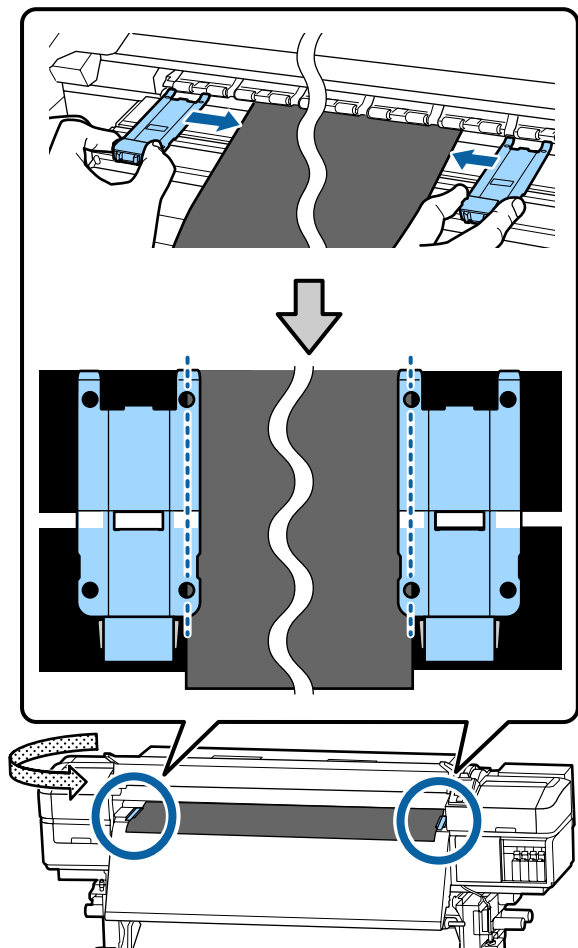


張りに違いがあるときは、メディアが歪んで取り付けられています。

本機正面に回り、メディアセットレバーを上げて、メディアの歪みを直してください。

歪みを直したら、メディアセットレバーを下げます。

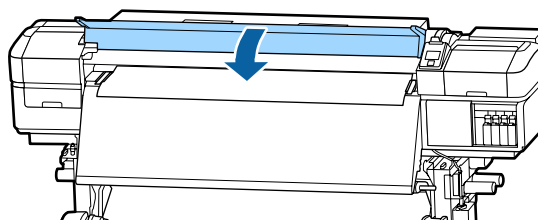
- 21** メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、メディア端の上まで移動します。メディア押さえ板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように合わせます。



！重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れるときはメディア押さえ板を使用しないでください。

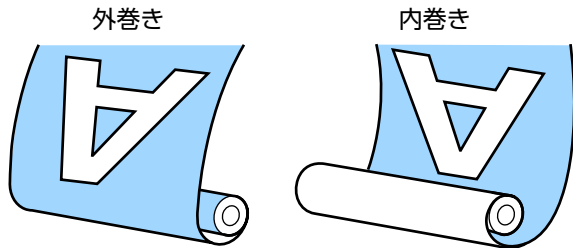
22



自動巻取りユニットの使い方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で巻き取ることができます。



外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。
内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

⚠ 注意

- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧ください。正しく作業してください。
メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。
- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

紙管の取り付け

準備

メディア幅よりも長い紙管を用意する。

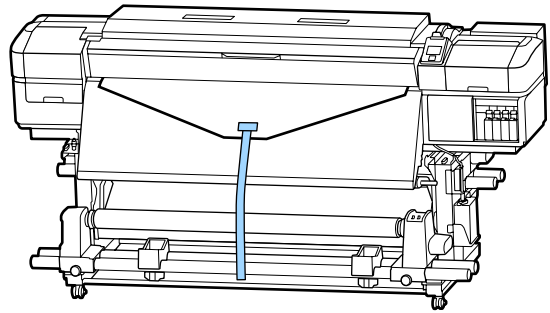
メディアが紙管からはみ出さずに正しく巻き取ることができます。

付属の紙テープを用意する。

以下のメリットがあるため、メディアを巻取り紙管に貼り付ける際に紙テープを使う方法を推奨しています。

- 左右の巻きすれ・メディアの蛇行を抑制できるため、ジョブごとの印刷長が安定する。
- メディアを無駄にしない。

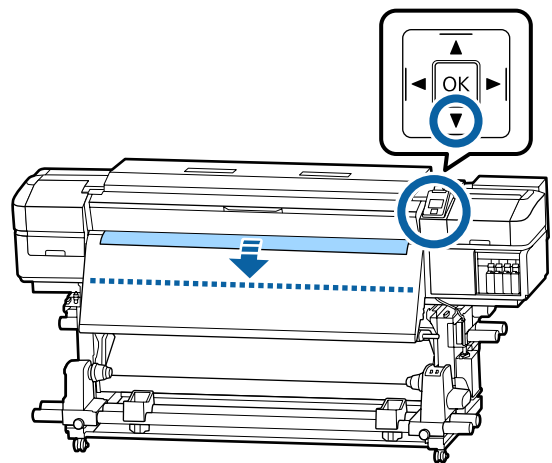
- 巻き取り後、メディアを紙管から簡単に取り外せる。



付属の紙テープが終了したときは、幅 20～25mm の市販の紙テープ（伸びにくく切れにくいもの）をお買い求めください。紙テープが手に入らないときは、メディアを幅 20～25mm、長さ約 70cm にカットしたもので代用できます。

取り付け方

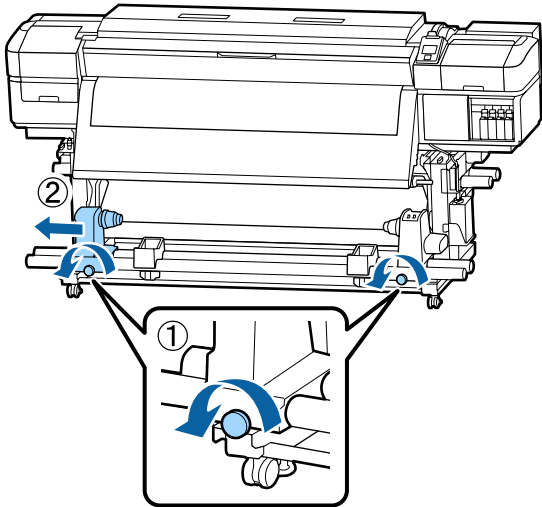
- 1 メディアの先端がアフターヒーターの中央に届くまで、【▼】ボタンを押し続けます。



！重要

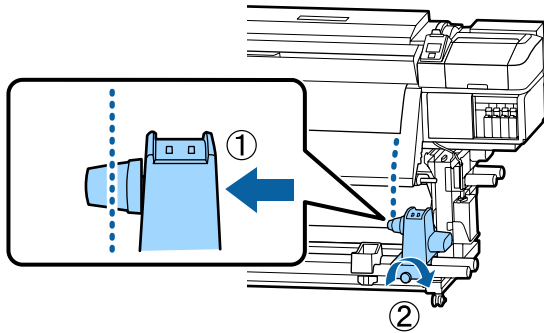
メディアは、必ず【▼】ボタンを押して送り出してください。手で引き出すと、巻き取り時にメディアがねじれる原因となります。

2



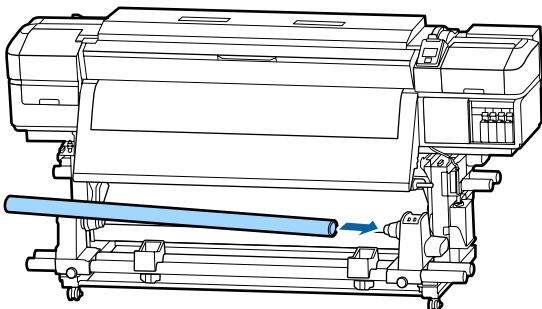
3

紙管ホルダーをメディア右端に合わせて、固定ネジを締めます。



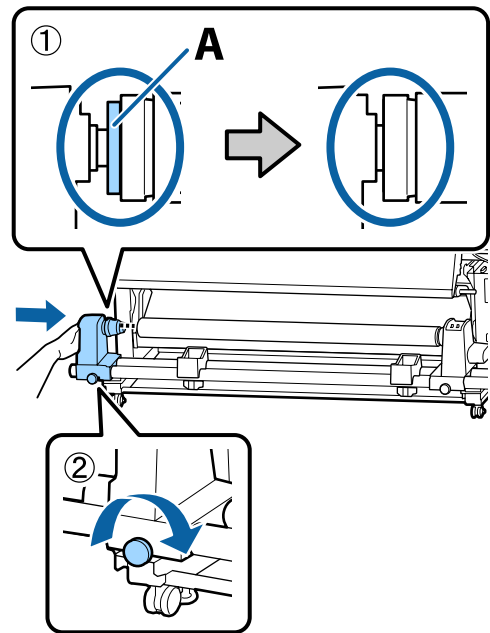
4

右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



5

図の A の部分が完全に入り込むまで押し付けて、固定ネジを締めます。

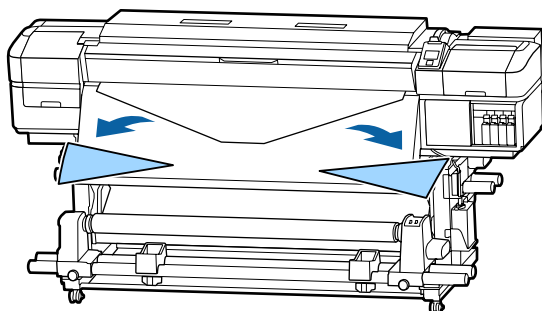
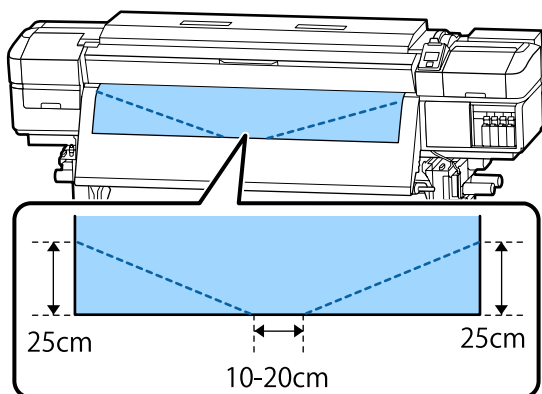


!重要

A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

- 6** メディアの中央を **10～20cm** 残して、左右とも高さ **25cm** 以上になるように角をカットします。

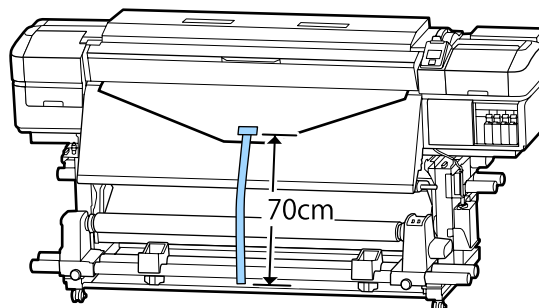
カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具合を防げます。



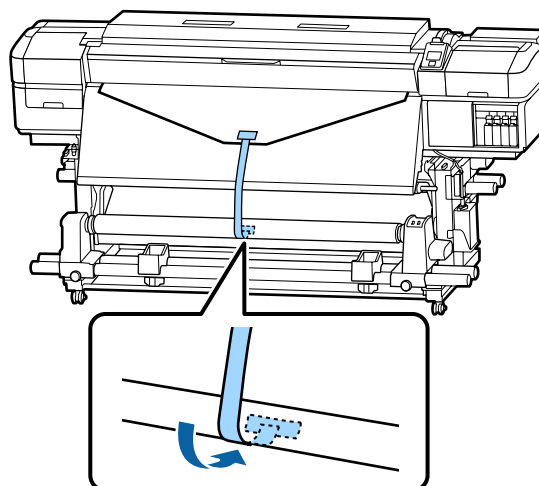
続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。
 外巻きで巻き取るとき ➡ [「外巻きでの巻き取り方」 36 ページ](#)
 内巻きで巻き取るとき ➡ [「内巻きでの巻き取り方」 39 ページ](#)

外巻きでの巻き取り方

- 1** 紙テープを長さ約 **70cm** にカットして、メディアの中央に市販の粘着テープで貼り付けます。



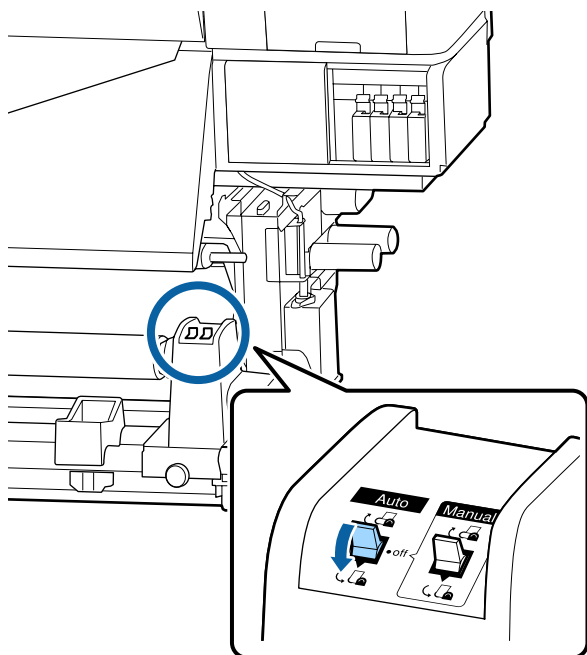
- 2** 紙テープをまっすぐ下に引っ張りながら、紙管の表側から裏側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。



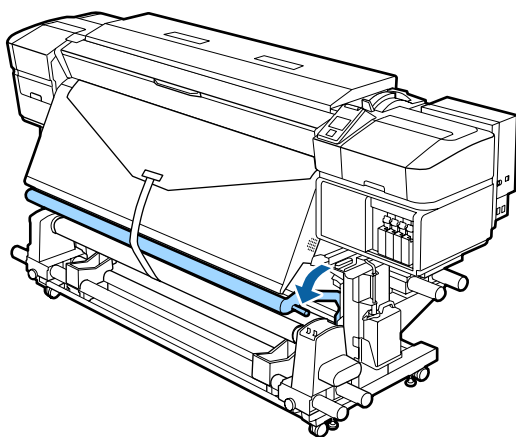
！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

3 Auto スイッチを にセットします。

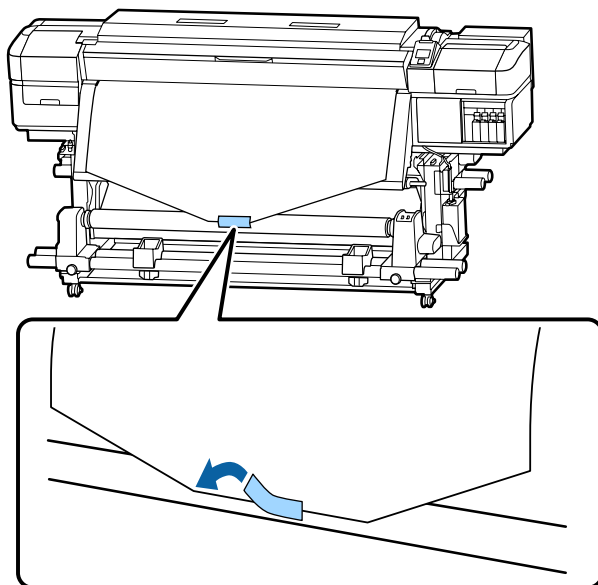


4 テンションバーが紙テープに軽く触れるまで倒します。



紙テープがないとき

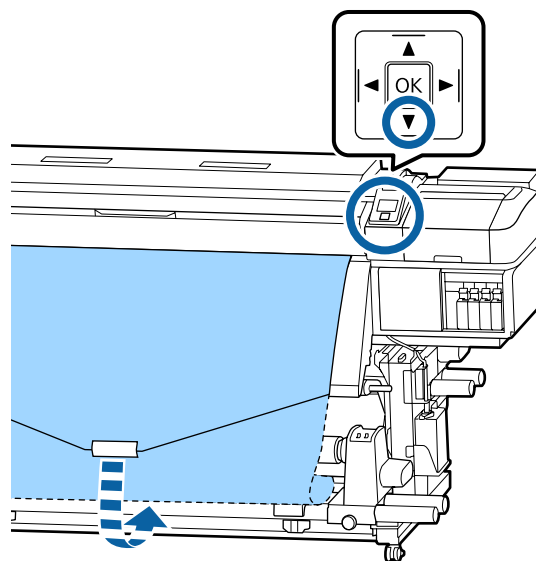
1 メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら、市販の粘着テープで巻き取り紙管に貼り付けます。



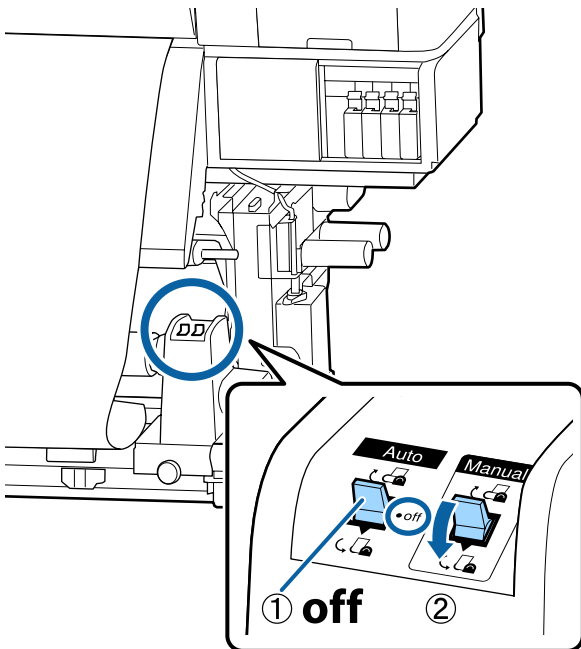
！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

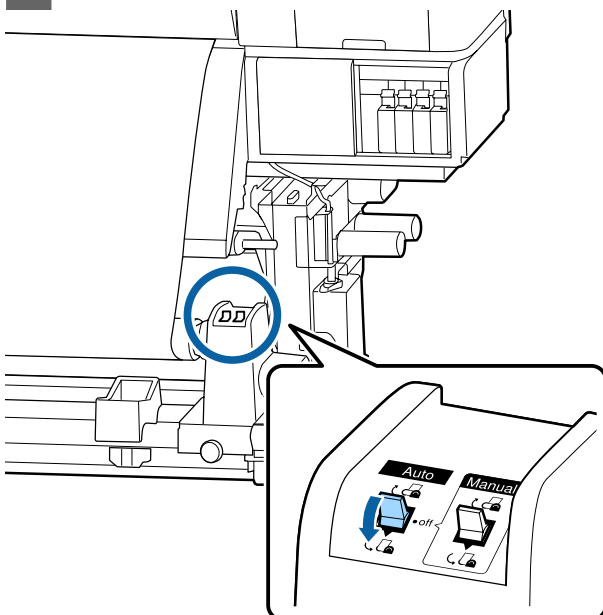
2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。



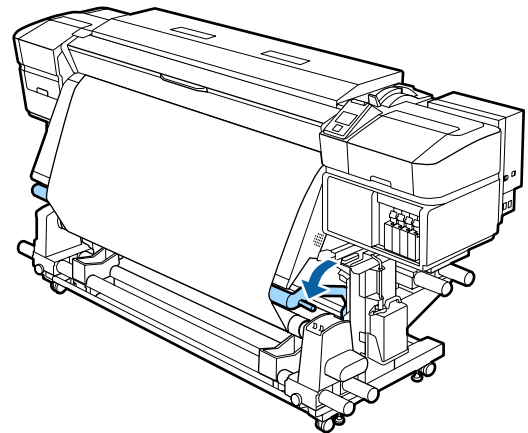
- 3** Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを  側に押し続け、メディアを紙管に1周巻き取らせます。



- 4** Auto スイッチを  にセットします。

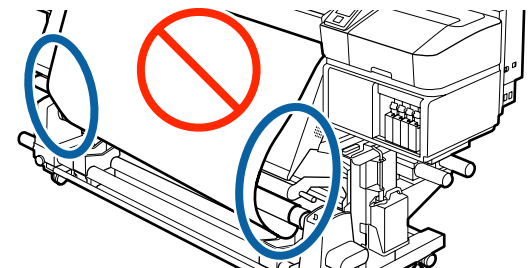


- 5** テンションバーがメディアに軽く触れるまで倒します。



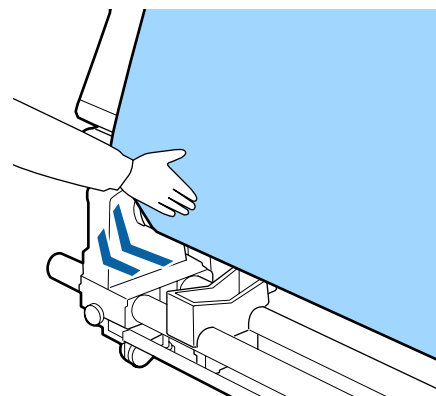
- 6** メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順1からやり直してください。

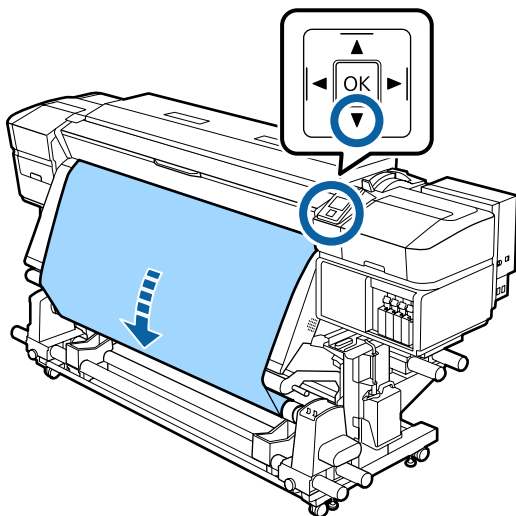


参考

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。



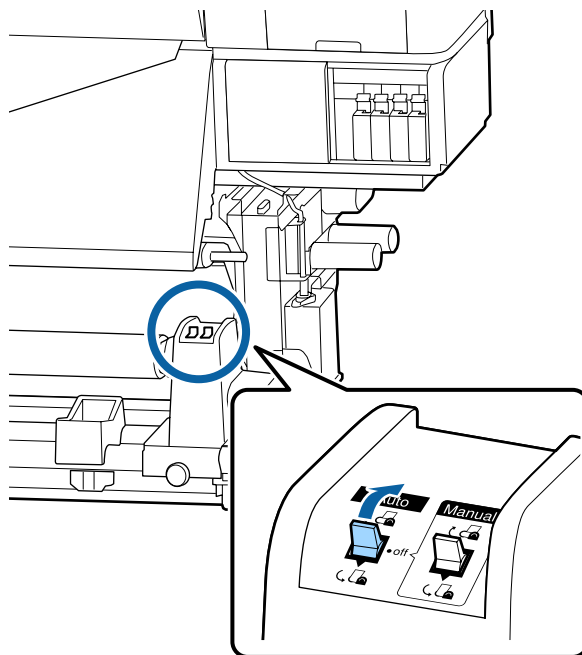
- 7 メディアが1～2周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



！重要

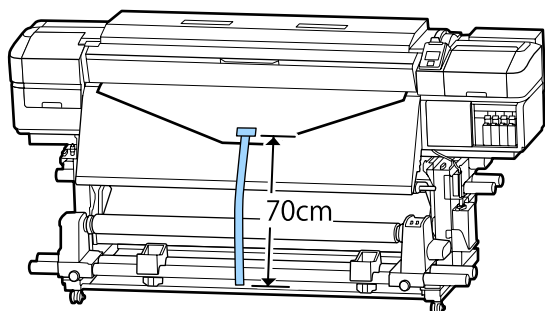
メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

- 3 Auto スイッチを  にセットします。

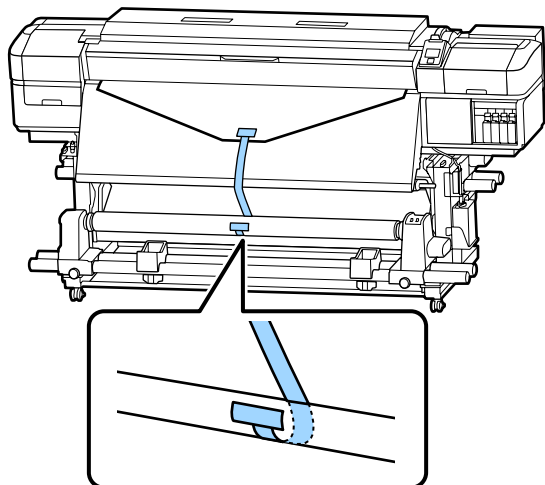


内巻きでの巻き取り方

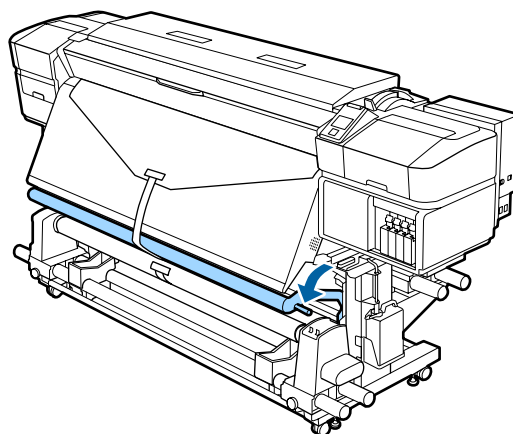
- 1 紙テープを長さ約 70cm にカットして、メディアの中央に市販の粘着テープで貼り付けます。



- 2 紙テープをまっすぐ下に引っ張りながら、紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。

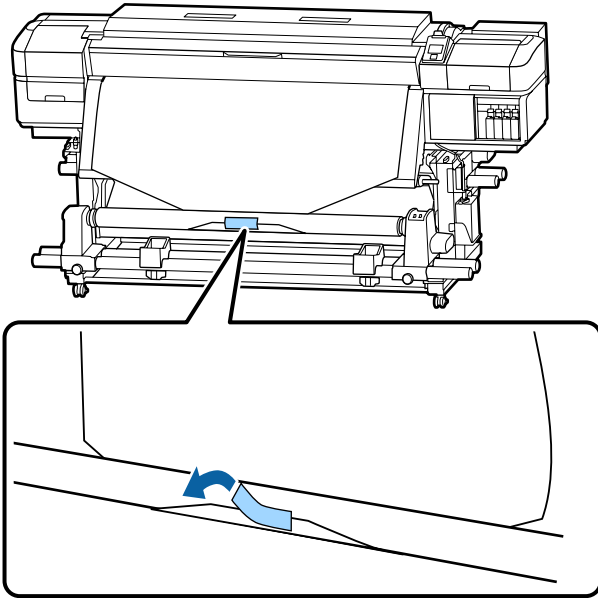


- 4 テンションバーが紙テープに軽く触れるまで倒します。



紙テープがないとき

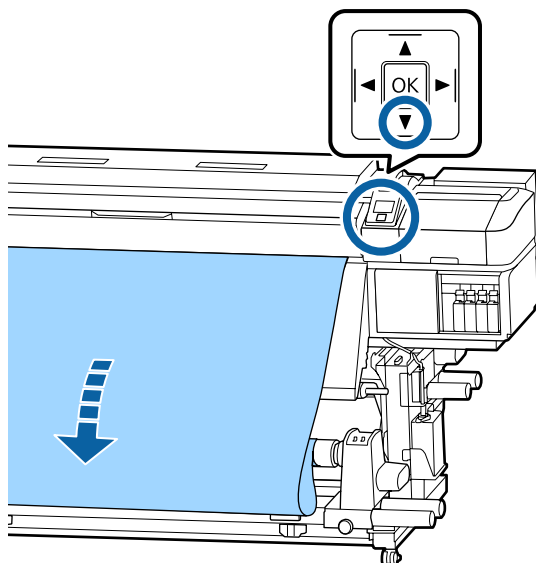
- 1 メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープで貼り付けます。



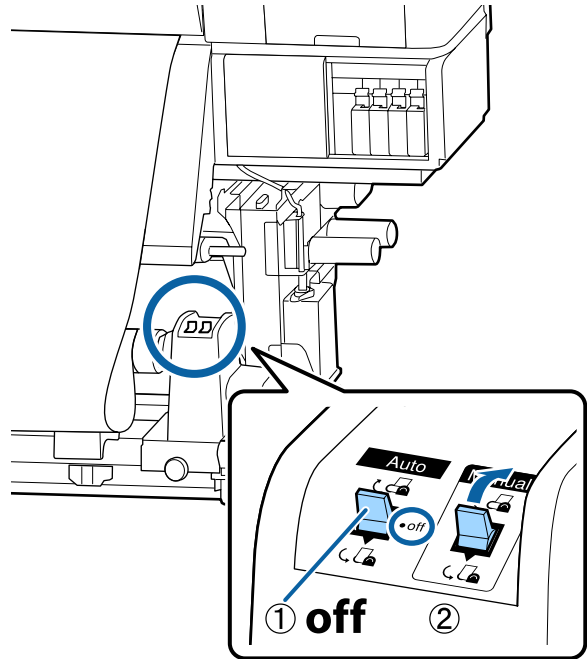
！重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼り付けてください。たるんだ状態で貼り付けると、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となります。

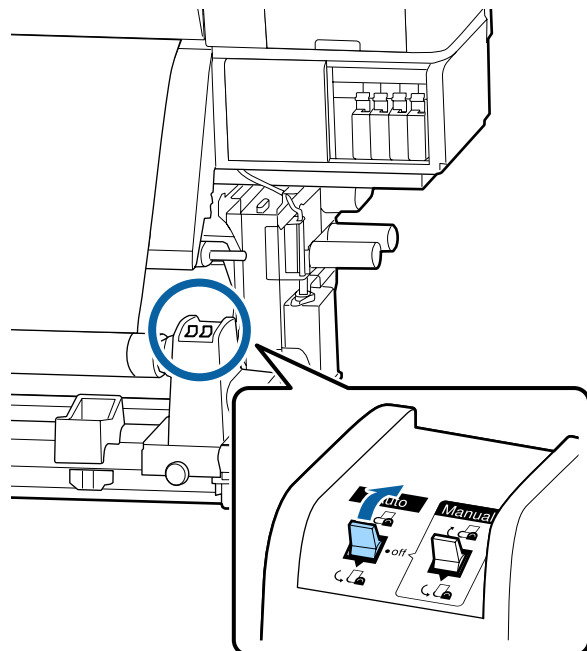
- 2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管 1 周分程度メディアを送り出します。



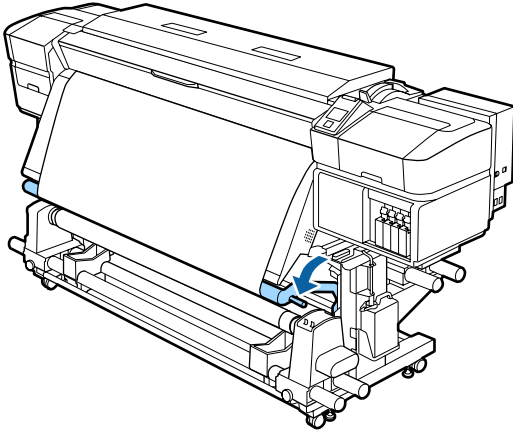
- 3 Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻き取らせます。



- 4 Auto スイッチを にセットします。

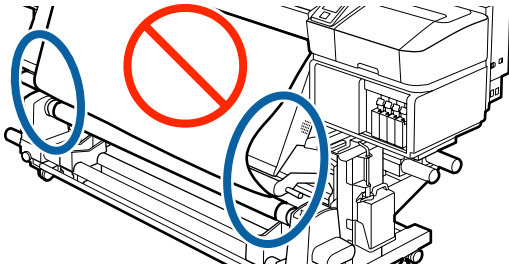


- 5** テンションバーがメディアに軽く触れるまで倒します。



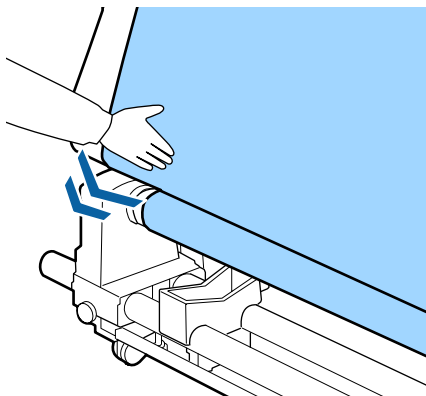
- 6** メディアが歪みなく取り付けられたか確認します。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが異なっていると、正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、手順 1 からやり直してください。

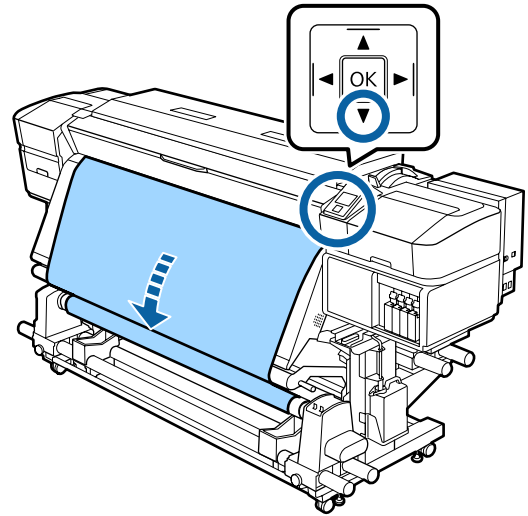


参考

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの違いを確認できます。



- 7** メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



セットしたメディアの設定

メディアのセットが終了したら、操作パネルの画面表示に従って、セットしたメディアに対する次の設定を行います。

1. メディア設定番号の選択

印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択します。



2. ロール巻き仕様選択

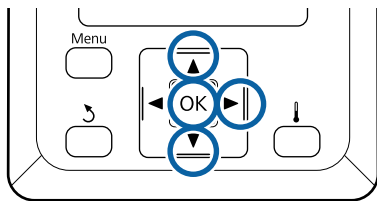
セットしたメディアロールの巻き仕様を選択します。



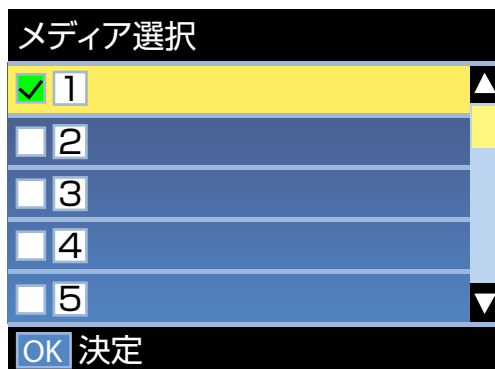
3. メディア長さを設定

セットしたメディアの長さを設定します。

以下の設定で使用するボタン



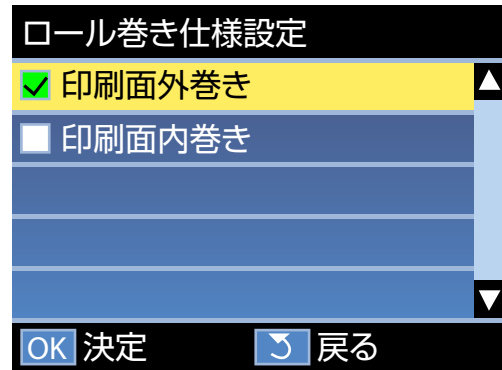
- 1 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、セットしたメディアの印刷設定が登録されているメディア設定番号を選択し、【OK】 ボタンを押します。



新規のメディアで、まだメディア設定がされていないときは、一旦未設定の番号を選択してメディアの給紙完了後に簡単メディア設定を実施してください。

🔗 [「新規にメディア設定を保存する」 43 ページ](#)

- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して、セットしたロールの巻き仕様を選択し、【OK】 ボタンを押します。



- 3 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示されます。
【▼】 / 【▲】 ボタンを押してメディアの全長を **1.0 ~ 100.0m** の範囲で設定し、【OK】 ボタンを押します。



メディア残量が印刷されているときは、その値を設定します。

【▶】 ボタンを押すと OFF を選択できます。OFF を選択すると、残量管理は行われません。

参考

残量管理設定-ON で有効になる 2 つの機能

以下の 2 つの機能で、印刷前におおよそのメディア残量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなります。

- メディア残量の表示
設定したメディアの長さとおおよそのメディア残量を推定し、操作パネルの画面に残量値を表示します。
- メディア残量警告
設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセージが表示されます。

しばらくして画面に印刷可能と表示されたら、印刷ができます。コンピューターから印刷するデータを送信してください。

新規にメディア設定を保存する

メディア設定方法の種類と概要

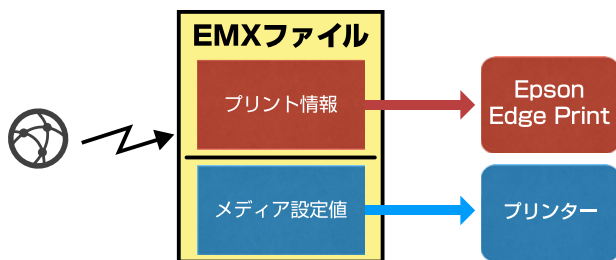
メディアには、印刷時に多量にインクが必要なもの、乾燥に時間がかかるものなど、それぞれ独自に特徴があり、その特徴に合った設定で印刷しないと、満足のいく印刷結果になりません。

お使いのメディアに最適な印刷をするためには、使用するメディアに適したメディア設定値とプリント情報をプリンターと RIP に登録する必要があります。しかし、メディアのサイズや特徴に合わせて最適な印刷ができるように、多数の設定を個々に行うのは大変です。

本機では、次のどちらかの方法でメディア設定値を簡単に素早く登録できます。

EMX ファイルを使ってメディア設定を保存する

EMX ファイルは、市販のメディアに適切に印刷するのに必要な以下の情報を 1 つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです。エプソンが提供しています。



提供ソフトウェアの Epson Edge Dashboard を使うと EMX ファイルのダウンロードと本機へのメディア設定値の登録が行えます。

Epson Edge Dashboard で EMX ファイルをダウンロードすると、付属の RIP (Epson Edge Print) に自動でプリント情報が登録されるため Epson Edge Print を使ってお使いのメディアに簡単に最適な印刷を行えます。

Epson Edge Dashboard でメディア設定値を本機に登録したときは、続けてメディア設定の最適化を行ってください。最適化は、お使いのメディアや本機の個体差を補正してお使いの組み合わせ (メディアとプリンター) で最適な印刷ができるようにします。

[「メディア設定の最適化 \(メディア調整\)」 46 ページ](#)

参考

Epson Edge Dashboard で EMX ファイルをダウンロードする手順や本機にメディア設定値を登録する手順は、Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

本機の設定メニューから [簡単メディア設定] を実行する

お手軽に印刷する際に適しています。セットしたメディアのタイプを選択すると本機にあらかじめ用意されている汎用のメディア設定値が保存されます。続けて、セットしたメディアの幅や自動巻取りユニットにセットしているかなど、状態に合わせて設定値を最適化するためのメディア調整が行われます。

簡単メディア設定を行った後は、付属の RIP (Epson Edge Print) にあらかじめ登録されている汎用のプリント情報を選択して印刷します。

メディア調整は、選択したメディアタイプによって動作が異なります。

【のり付き塩ビ】、【ターポリン】 選択時：[自動] / [手動] を選択可能

通常は [自動] を選択します。メディア調整パターンの印刷・読み取りをしながら、自動でメディア送りギャップの調整をします。

パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。

約 270mm

【フィルム】、【キャンバス】、【布】、【合成紙/その他】 選択時：手動メディア調整が実行される

印刷されたメディア調整パターンを目視で確認し調整値を入力して調整します。

パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。

メディア送り調整	約 130mm [布] 選択時は、 約 770mm
ギャップ調整	
SC-S40650 および SC-S80650/SC-S80650L/ SC-S60650/SC-S60650L の 1 ヘッドモード時	約 50mm* ¹
SC-S80650/SC-S80650L/ SC-S60650/SC-S60650L の 2 ヘッドモード時	約 70mm* ²

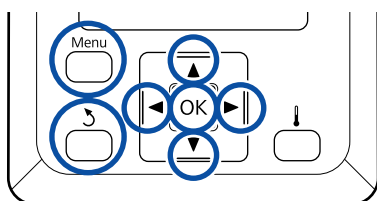
*1 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの
1 ヘッドモード時は、約 80mm

*2 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの
2 ヘッドモード時は、約 120mm

以降では、[簡単メディア設定] の手順を説明します。

簡単メディア設定の手順

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して **[Menu]** ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 2 [メディア管理] を選択して **[OK]** ボタンを押します。

- 3 **[▼]** / **[▲]** ボタンを押して [簡単メディア設定] を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

- 4 **[▼]** / **[▲]** ボタンを押して設定を保存するメディア番号を選択し、**[OK]** ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定内容が上書きされます。

- 5 設定名を登録します。

保存するメディア設定に名前を付けます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。

[▼] / **[▲]** ボタンを押すと、英数字・記号が順次表示されます。目的の英数字・記号が表示されたら **[▶]** ボタンを押して次の入力エリアにカーソルを移動させます。

間違えて入力したときは **[◀]** ボタンを押すと、1 つ前の文字が消去され再入力できます。

- 6 名前を入力し終わったら、**[OK]** ボタンを押します。

- 7 **[▼]** / **[▲]** ボタンを押してセットしたメディアに応じたメディアタイプを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

[のり付き塩ビ]、[ターポリン] 選択時は、手順 8 に進みます。

[のり付き塩ビ]、[ターポリン] 以外を選択したときは、メディア調整パターンの印刷が開始されます。手順 9 に進んでください。

- 8 **[▼]** / **[▲]** ボタンを押してメディア調整を自動/手動のどちらで行うかを選択し、**[OK]** ボタンを押します。

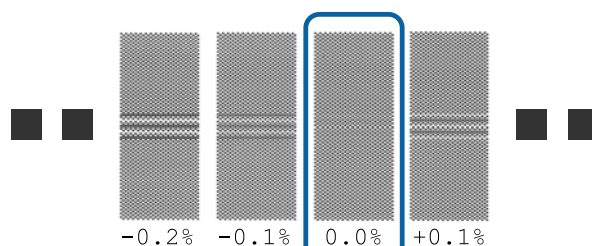
[自動] 実行時：調整パターンの印刷が開始されます。自動調整が終了すると簡単メディア設定が完了してステータス表示画面に戻ります。

[手動] 実行時：調整パターンの印刷が開始されます。パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されますので、次の手順に進みます。

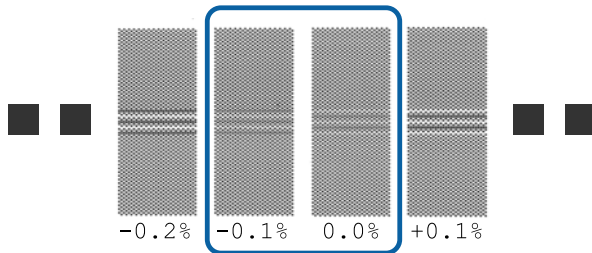
- 9 印刷された調整パターンを確認します。

【布】以外を選択したとき

A、B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやずれがないパターンを選びます。以下の場合には「0.0%」を選びます。



重なりやすれが同等のパターンが並んだときは、手順 10 で中間の値を入力します。以下の場合には「-0.05%」と入力します。



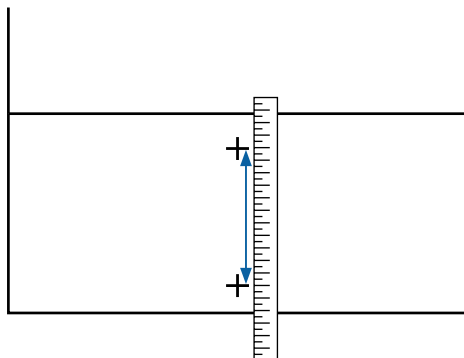
全ての調整パターンに重なりやすれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやすれが少ないパターンを選びます。

この場合は、以降の手順を行い簡単メディア設定終了後に改めてメディア送り調整の「500mm パターン印刷」を行ってください。🔗 [「メディア送り調整」47 ページ](#)

【布】 選択時

500mm パターンが印刷されます。

0.5mm まで測れるスケールを使って測ってください。



10 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

【布】 以外を選択したとき

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して手順 9 で A グループで選択したパターンの下に印刷されている値に設定して【OK】 ボタンを押します。

B も同様に設定します。

再び、調整パターンの印刷が始まり、パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されます。

【布】 選択時

手順 9 で測った値を設定して【OK】 ボタンを押します。

再び、調整パターンの印刷が始まり、パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されます。

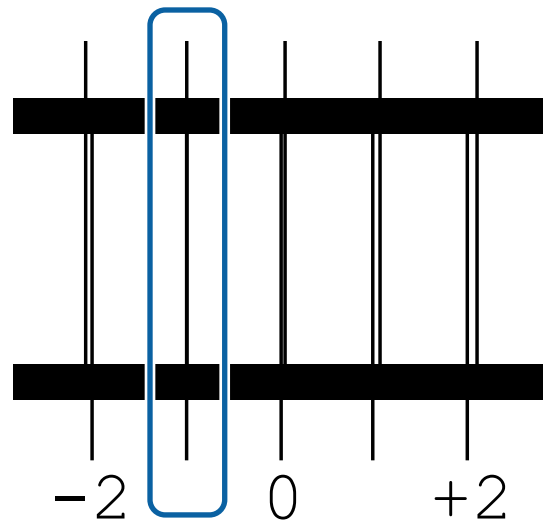
11 印刷された調整パターンを確認します。

モデル/状態	調整パターン
- SC-S40650 - SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L の 1 ヘッドモード時	A,B の 2 ブロック*1
SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L の 2 ヘッドモード時	A~F の 6 ブロック*2

*1 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの 1 ヘッドモード時は、A~D の 4 ブロック。

*2 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの 2 ヘッドモード時は、A~L の 12 ブロック。

いずれも、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを選択します。以下の場合には、「-1」を選びます。



12 数値入力を求める画面が表示されます。

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して手順 11 で確認した値に変更し、【OK】 ボタンを押します。

13 複数チェックパターンが印刷されたときは、チェックパターンの数だけ番号を選択して【OK】 ボタンを押します。

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して手順 11 で確認した値に変更し、【OK】 ボタンを押します。

最後の設定が終了すると、ステータス表示画面に戻ります。

登録後、【メディア設定変更】を行ったとき

登録後に【メディア設定変更】の【メディアタイプ】や【高度な設定】を行ったときは、【メディア調整】をやり直してください。

 [「メディア設定の最適化（メディア調整）」46 ページ](#)

メディア設定の最適化（メディア調整）

メディア設定の最適化（メディア調整）は、以下の場合に実行します。

Epson Edge Dashboard でメディア設定値を本機に登録したとき

Epson Edge Dashboard で、ダウンロードした EMX ファイルのメディア設定値を本機に登録したときは、お使いのメディアや本機の個体差を補正してお使いの組み合わせ（メディアとプリンター）で最適な印刷ができるように最適化を行います。

自動メディア調整を行っても印刷結果にバンディングや粒状感が見られるとき

【手動】を選択して【メディア調整】 - 【標準】と【ギャップ調整】を行ってください。

メディア設定を保存後に【高度な設定】を変更したとき

メディア調整時のご注意

本機にセットしたメディアに合わせて調整されます。

- 調整が必要なメディアを実際に印刷するときの状態で正しく本機にセットしてください。
自動巻取りユニットに取り付けて印刷するときは、メディア調整時も自動巻取りユニットにメディアを取り付けて行います。
- 必ず Epson Edge Dashboard でメディア設定値を本機に登録したとき、あるいは【メディア設定変更】で設定した名称を【メディア選択】で選択してください。

ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。

ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。
チェックパターンを印刷し目視で確認して、必要に応じてヘッドクリーニングをしてください。

 [「ノズルの目詰まりチェック」82 ページ](#)

のり付き塩ビ、ターポリンを選択しているとき

〔メディアタイプ〕で〔のり付き塩ビ〕または〔ターポリン〕を選択したメディアは、〔メディア調整〕の〔自動〕を行います。パターンを印刷しながら、メディア送り調整とギャップ調整が自動で行われます。パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。

約 270mm

- 1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態にメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

🔗 [「メディアのセット方法」28 ページ](#)

🔗 [「自動巻取りユニットの使い方」34 ページ](#)

- 2 **〔Menu〕** ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 3 **〔メディア管理〕** - **〔メディア設定変更〕** - **〔メディア調整〕** - **〔自動〕** の順に選択します。

- 4 **〔OK〕** ボタンを押すと自動調整が始まり、調整パターンが印刷されます。

調整が終了するまで、しばらくお待ちください。

のり付き塩ビ、ターポリン以外を選択しているとき

〔メディアタイプ〕で〔のり付き塩ビ〕または〔ターポリン〕以外を選択したメディアは、〔メディア送り調整〕と〔ギャップ調整〕を別々に行います。それぞれ、印刷されたパターンを目視で確認して調整します。

メディア送り調整

印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生するときにも行います。

〔標準〕と〔500mm パターン印刷〕のどちらかを選択して調整できます。

標準

通常は、こちらを選択して調整します。

〔メディアタイプ〕で〔布〕を選択したときは、表示されません。

500mm パターン印刷

キャンバスなど凸凹したメディアや布などにじみが多いメディアに印刷長を正確に印刷したいときの調整です。

パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安は、以下の通りです。

〔標準〕 実行時：約 130mm

〔500mm パターン印刷〕 実行時：約 770mm

設定手順

- 1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

🔗 [「メディアのセット方法」28 ページ](#)

🔗 [「自動巻取りユニットの使い方」34 ページ](#)

- 2 **〔Menu〕** ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 3 **〔メディア管理〕** - **〔メディア設定変更〕** - **〔メディア調整〕** - **〔手動〕** - **〔メディア送り調整〕** の順に選択します。

- 4 **〔▼〕 / 〔▲〕** ボタンを押して **〔標準〕** または **〔500mm〕** を選択します。

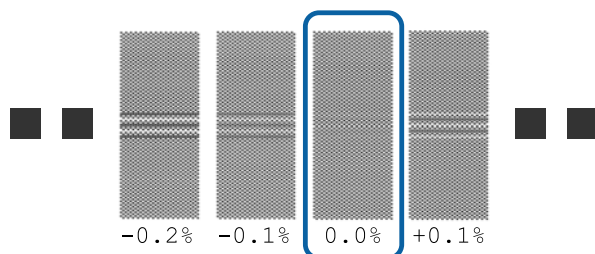
- 5 **〔OK〕** ボタンを押すと調整パターンが印刷されます。

印刷が終了するまでお待ちください。

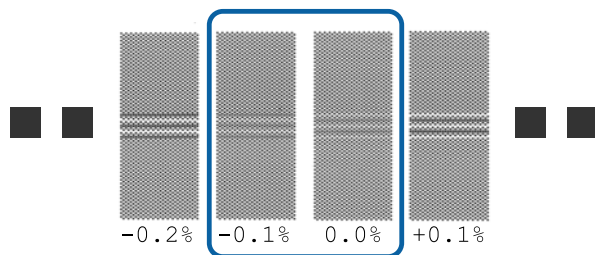
6 印刷された調整パターンを確認します。

【標準】を選択したとき

A と B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやすれがないパターンを選びます。以下の場合には「0.0%」を選びます。



重なりやすれが同等のパターンが並んだときは、手順 7 で中間の値を入力します。以下の場合には「-0.05%」と入力します。

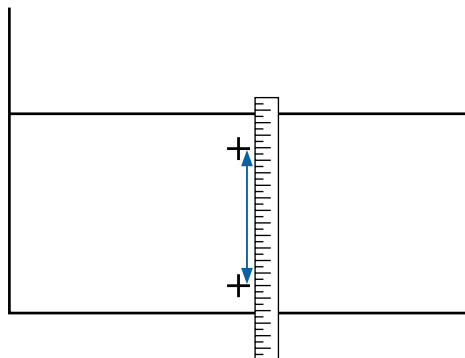


全ての調整パターンに重なりやすれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやすれが少ないパターンを選びます。

この場合は、以降の手順を行いメディア送り調整終了後に改めてメディア送り調整の【500mm パターン印刷】を行ってください。

【500mm パターン印刷】を選択したとき

0.5mm まで測れるスケールを使って測ってください。



7 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

【標準】を選択したとき

A、B それぞれ、選択したパターンの下に印刷されている値を設定して【OK】ボタンを押します。

【500mm パターン印刷】を選択したとき

手順 6 で測った値を設定して【OK】ボタンを押します。

設定が終了するとステータス表示画面に戻ります。

ギャップ調整

お使いのモデルや設定状態により、パターンの印刷で使用する最大メディア長の目安が以下の通り異なります。

モデル/状態	使用メディア長
- SC-S40650 - SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L の 1 ヘッドモード時	約 50mm ^{*1}
SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L の 2 ヘッドモード時	約 70mm ^{*2}

*1 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの 1 ヘッドモード時は、約 80mm

*2 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの 2 ヘッドモード時は、約 120mm

設定手順

1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

自動巻取りユニットを使用するときは、メディアを巻き取り紙管に取り付けてください。

[🔗 「メディアのセット方法」 28 ページ](#)

[🔗 「自動巻取りユニットの使い方」 34 ページ](#)

2 【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

3 【メディア管理】 - 【メディア設定変更】 - 【メディア調整】 - 【手動】 - 【ギャップ調整】の順に選択します。

- 4** 【OK】ボタンを押すと調整パターンが印刷されます。

印刷が終了するまでお待ちください。

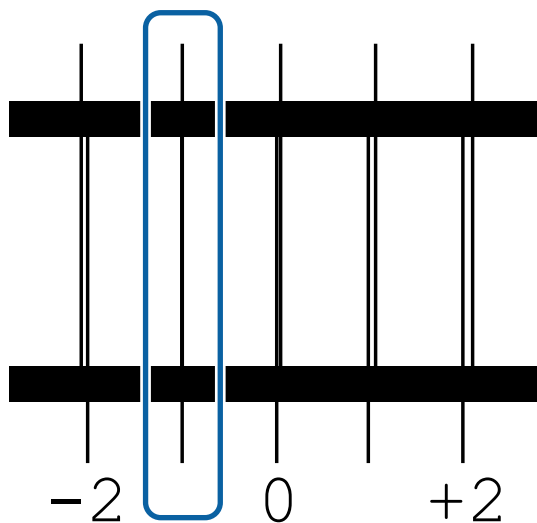
- 5** 印刷された調整パターンを確認します。

モデル/状態	調整パターン
- SC-S40650 - SC-S80650/SC-S80650L/ SC-S60650/SC-S60650L の 1 ヘッドモード時	A,B の 2 ブロック*1
SC-S80650/SC-S80650L/ SC-S60650/SC-S60650L の 2 ヘッドモード時	A~F の 6 ブロッ ク*2

*1 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの 1 ヘッドモード時は、A~D の 4 ブロック。

*2 SC-S80650/SC-S80650L に MS をセットした 10 色モードの 2 ヘッドモード時は、A~L の 12 ブロック。

いずれも、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを選択します。以下の場合、「-1」を選びます。



- 6** 数値入力を求める画面が表示されます。

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して手順 5 で確認した番号を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 7** 複数チェックパターンが印刷されたときは、チェックパターンの数だけ番号を選択して【OK】ボタンを押します。

最後の色の設定が終了すると、メディア設定変更のメニューに戻ります。

巻き取ったメディアの取り外し方

メディアを交換するときは、以下の順番で作業をしてください。

- 1.メディア残量を印刷する。（メディア残量管理 ON 時）**



- 2.メディアをカットする。**



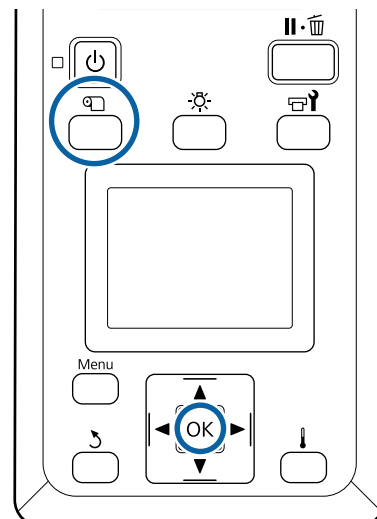
- 3.メディアを取り外す。**

メディア残量の印刷

取り外すメディアの残りの長さを印刷しておき、次回このメディアをセットするときに印刷を見てメディア長さを入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。[残量管理設定] を [OFF] にしているときには残量印刷はできません。

メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



- 1** 印刷可能状態であることを確認します。

2 【】 ボタンを押し、[メディア残量管理] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

3 [メディア残量印刷] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

4 【OK】 ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

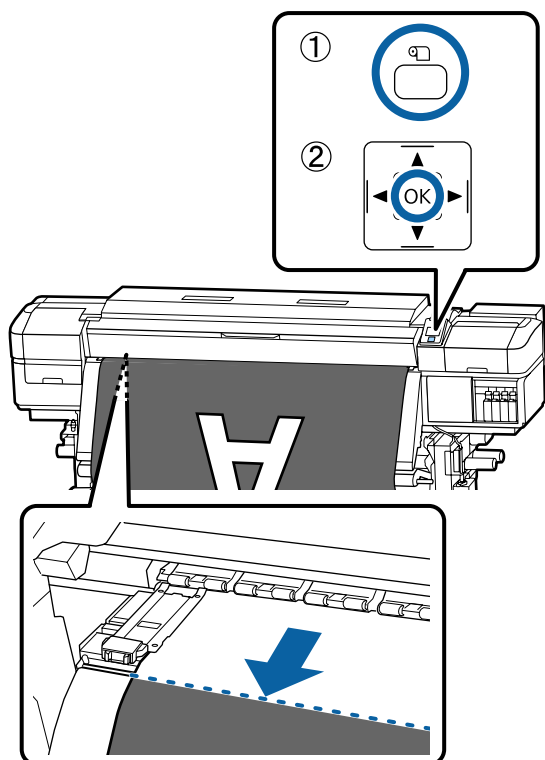
メディアのカット

⚠ 注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指を切らないように注意してください。

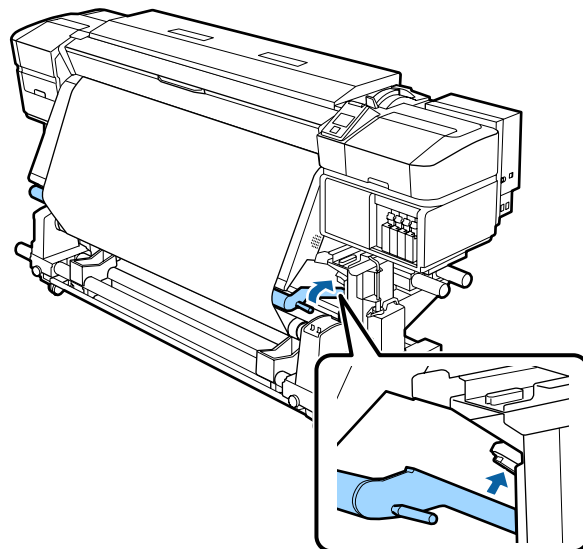
1 【】 ボタンを押し、[カット位置まで送る] を選択し、【OK】 ボタンを押します。

印刷終端がカット位置（カッター溝）まで送られます。



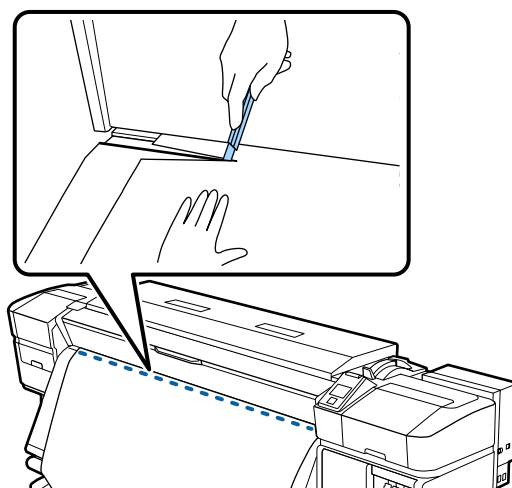
メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷部分が未印刷のロール側に残るように、【▲】 ボタンを押してカッター溝より向こう側に戻します。

2 自動巻取りユニットを使用しているときは、テンションバーを起こします。



3 カッターを垂直に持ち、カッターの刃がカッター溝の側面にしっかり沿うように移動させます。

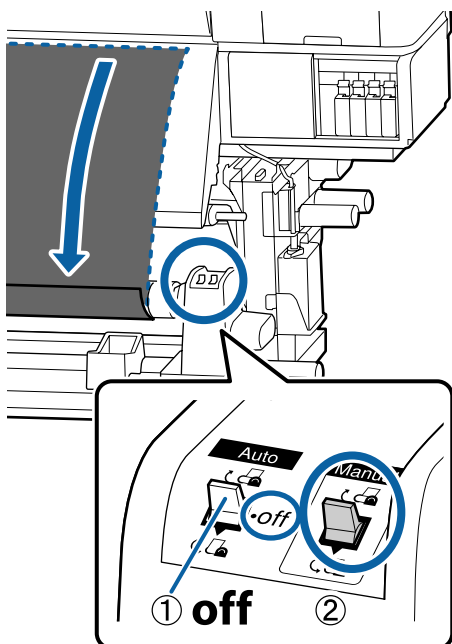
手が前面カバーに当たり、うまく作業ができないときは前面カバーを開けてカットしてください。



! 重要

メディアをカットしたときは、メディアが前面カバーの内側で盛り上がり、メディア押さえ板から外れたりしていないことを確認してから印刷してください。

- 4** **Auto** スイッチを **Off** にします。巻き取りの巻き仕様に応じて **Manual** スイッチを操作して、切り離したメディアを最後まで巻き取ります。



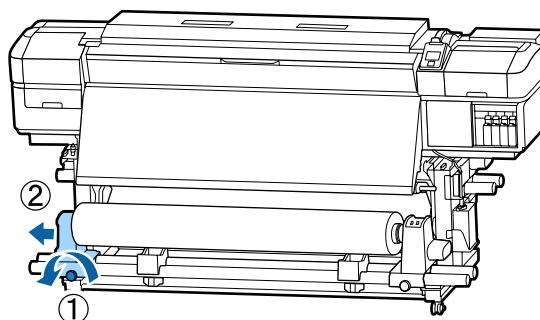
メディアの取り外し

⚠ 注意

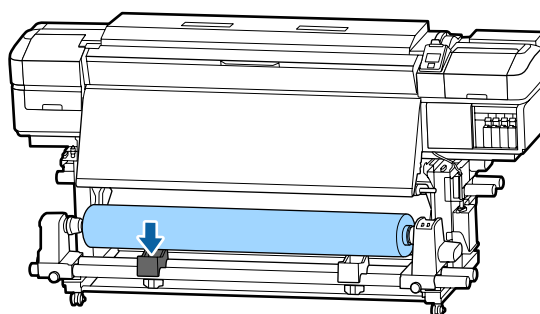
- 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2 人以上で行ってください。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。
メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがあります。

- 1** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの左側を下から支えます。

- 2** 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。

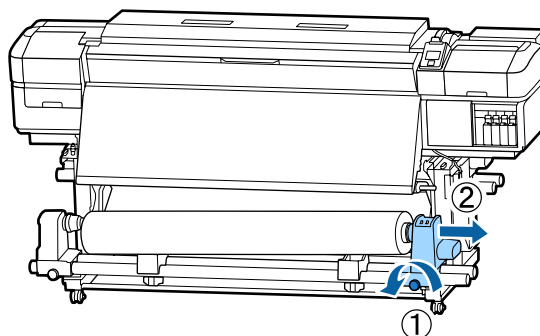


- 3** ロールをロールサポート上に降ろします。

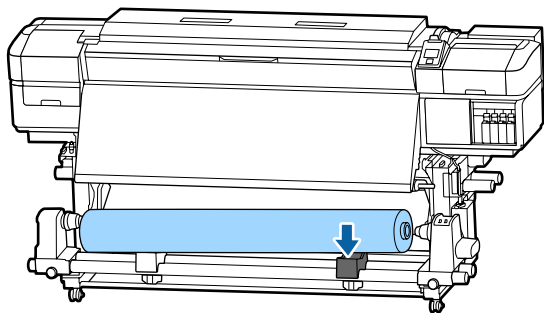


- 4** 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの右側を下から支えます。

- 5** 右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを引き抜きます。



- 6 ロールをロールサポート上に降ろします。



- 7 背面の搬送ユニットのメディアは、セットしたときと逆の手順で取り外します。

印刷前の確認

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートするに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

インク残量の確認

印刷途中でインクが限界値以下になったときは、対象のインクカートリッジ/インクパックを交換すれば印刷を続行できます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。あらかじめ、大量に印刷することがわかっているときは事前に残量が残りに少ないインクカートリッジ/インクパックを新品に交換しておくことをお勧めします。取り出したインクカートリッジ/インクパックは再装着して使用できません。

インク残量は画面のアイコンで確認できます。☞「画面の見方」14 ページ

インクカートリッジの交換 ☞「交換方法」70 ページ

インクパックの交換 ☞「交換方法」73 ページ

WH/MS のかくはん (SC-S80650/SC-S80650L で 10 色モード選択時)

WH/MS は、他の色よりも沈降しやすい特性があります。毎日の印刷業務開始前にインクカートリッジ/インクパックを取り出して 5 秒間に 15 回程度、よく振ってください。

インクカートリッジの振り方 ☞「かくはんの方法」69 ページ

インクパックの振り方 ☞「かくはんの方法」71 ページ

チェックパターン印刷

チェックパターン印刷を行うと、ノズルの目詰まりをチェックができます。

チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

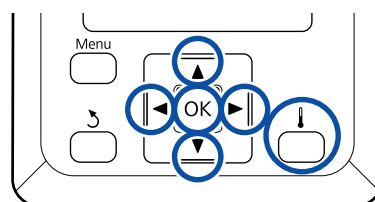
チェックパターンの印刷 ☞「チェックパターンの印刷方法」83 ページ

ヘッドクリーニング ☞「ヘッドクリーニング」84 ページ

印刷途中に設定を変更する

ヒーターの温度や乾燥設定を変更したいとき

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷の途中で【!】ボタンを押します。

【ヒーター/乾燥設定】メニューが表示されます。

- 2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して設定を変更する項目を選択して【OK】ボタンを押します。

- 3 設定値を変更します。

【ヒーター温度設定】選択時

- ① 【▶】 / 【◀】 ボタンを押してヒーターの種類を選択します。表示の左からプリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターです。
- ② 目的のヒーターを選択後、【▼】 / 【▲】 ボタンを押すと温度が変わります。

【乾燥ファン設定】選択時

【▼】 / 【▲】 ボタンを押して項目を選択します。

- 4 【OK】ボタンを押すと、現在選択しているメディア設定の設定が更新され、ヒーター/乾燥設定メニューに戻ります。

- 5** 【↵】ボタンを押すと、メニューを終了してステータス表示画面に戻ります。

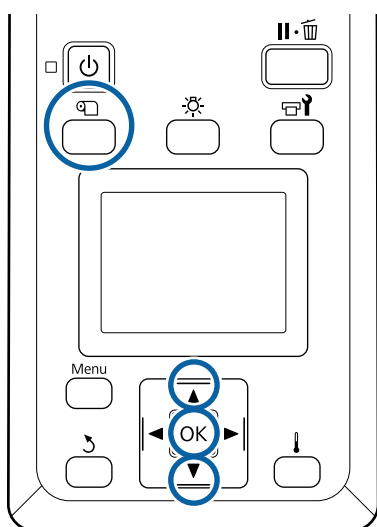
参考

室温などにより、設定したヒーター温度になるまでに時間がかかることがあります。

バンディングを補正したいとき

印刷中にバンディングを補正したいときは、メディア送り調整を行います。

以下の設定で使用するボタン



- 1** 印刷の途中で【↵】ボタンを押します。

現在の調整値が表示されます。

- 2** 【▼】 / 【▲】ボタンを押して値を変更します。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので＋方向に調整します。

逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので－方向に調整します。

- 3** 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときは、さらに【▼】 / 【▲】ボタンを押して値を変更します。

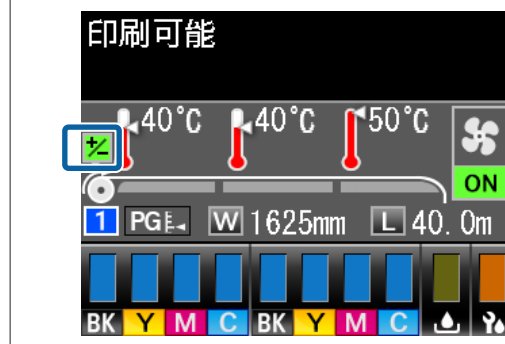
現在選択しているメディア設定の［メディア送り調整］の設定値が更新されます。

- 4** 【OK】ボタンを押すとステータス表示画面に戻ります。

参考

設定を変更すると、操作パネルの画面に下図のアイコンが表示されます。アイコンは、以下の操作を行うと消えます。

- ［メディア送り調整］をやり直す。
- ［設定初期化］を実行する。



目的の印刷が終了したら、設定メニューで［メディア調整］を行うことをお勧めします。

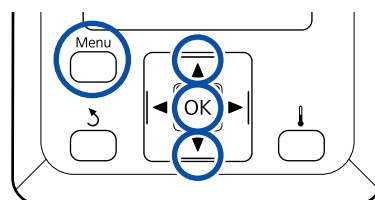
🔗 [「メディア設定の最適化（メディア調整）」46 ページ](#)

インクやワイパーユニットの残量を詳細に確認したいとき

印刷中に以下を詳細に確認したいときは残量表示で確認します。

- インク残量
- 廃インクボトルの空き容量
- ワイパーユニットの残量

以下の設定で使用するボタン



- 1** 印刷の途中で【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 2** 【▼】 / 【▲】ボタンを押して［プリンタステータス］を選択し、【OK】ボタンを押します。

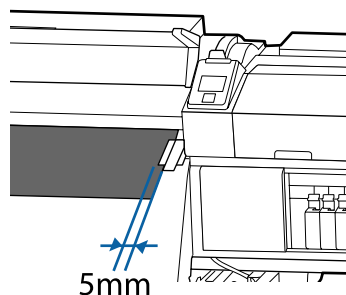
- 3 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して確認する項目を選択し、【OK】 ボタンを押します。
- 4 現在の状態がアイコンで表示されます。
- 5 確認後【OK】 ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

印刷可能領域

本機が認識するメディア左端・右端は、メディア幅検出の設定により以下の通り異なります。

メディア幅検出 [ON] : セットしたメディアの左右端を本機が自動検出します。

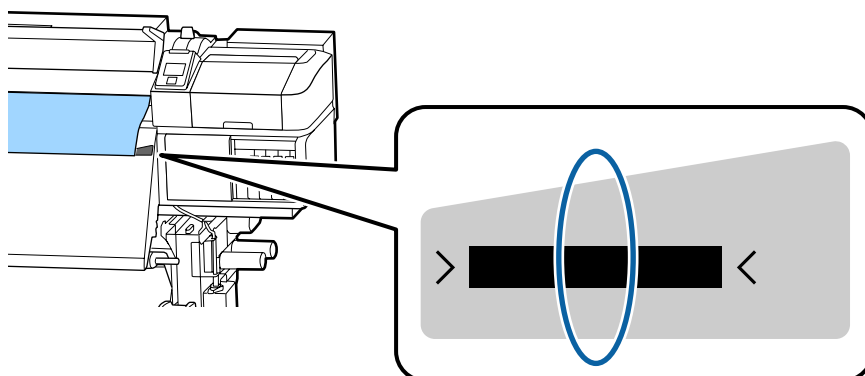
メディア押さえ板を取り付けたときは、メディアの左右両端から 5mm 内側をメディア端と認識します。



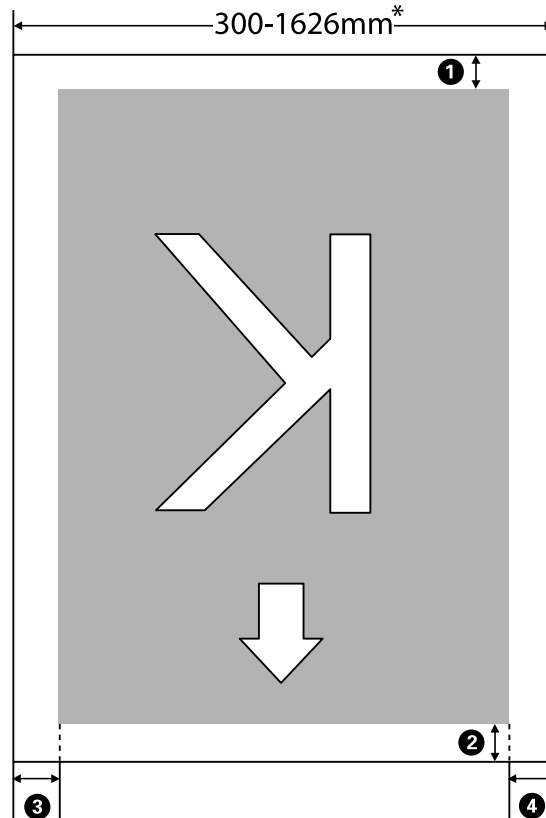
メディア押さえ板を正しく装着していないと、メディア端が正しく検出されません。

🔗 [「メディアのセット方法」28 ページ](#)

メディア幅検出 [OFF] : アフターヒーター上のラベル (下図) の黒い四角の中央をメディア右端基準位置と認識します。メディア左端は、セットしているメディアの幅にかかわらず右端基準位置から 1626mm (64 インチ) の位置と認識します。



下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。



* メディア幅検出の設定が [OFF] のときは、セットしているメディアの幅にかかわらず 1626mm (64 インチ)

①～④ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
① 後端*1	RIP で設定可能です。メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm に、設定値が 17mm 以上のときは 17mm になります。	5～17mm
② 先端*1	RIP で設定可能です。メディアセット時は、メディアを引き出した長さにより異なります。連続印刷時は、RIP で設定した余白が付加されますが、メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm になります。	5 mm以上
③ 左端*2、*3	本機の設定メニューのサイドマージン（左）で設定した値です。メーカー設定値は 5mm です。	3～25mm
④ 右端*2、*3	本機の設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン（右）で設定した値の合計値です。メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン（右）が 5mm です。	3～825mm

*1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

*2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

*3 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。

- メディア押さえ板を取り付けるときは、余白を 10mm 以上に設定してください。それ以下に設定すると、メディア押さえ板の上に印刷されることがあります。
- 印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

参考

メディア幅検出を [OFF] に設定しているときは、以下の点を守らないと、メディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

- 印刷データ幅がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。
- メディアを右端基準位置より左側にセットするときは、[印刷開始位置] の設定をメディアをセットした位置に合わせてください。

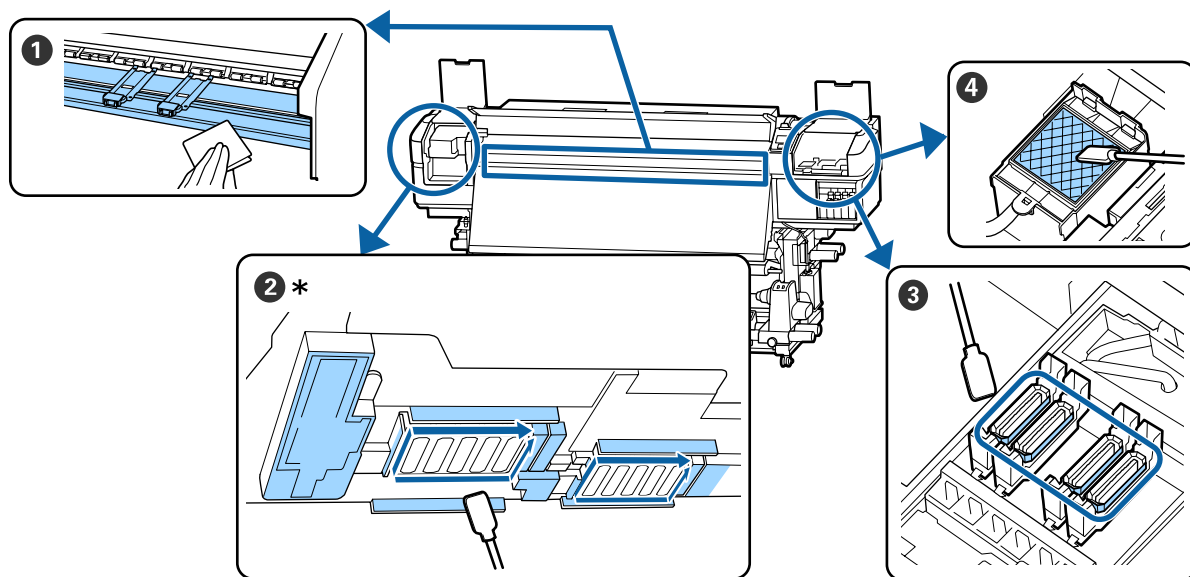
🔗 [「プリンター設定メニュー」 104 ページ](#)

メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

清掃箇所と実施時期

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。



* SC-S40650 のプリントヘッドは右側のみ。

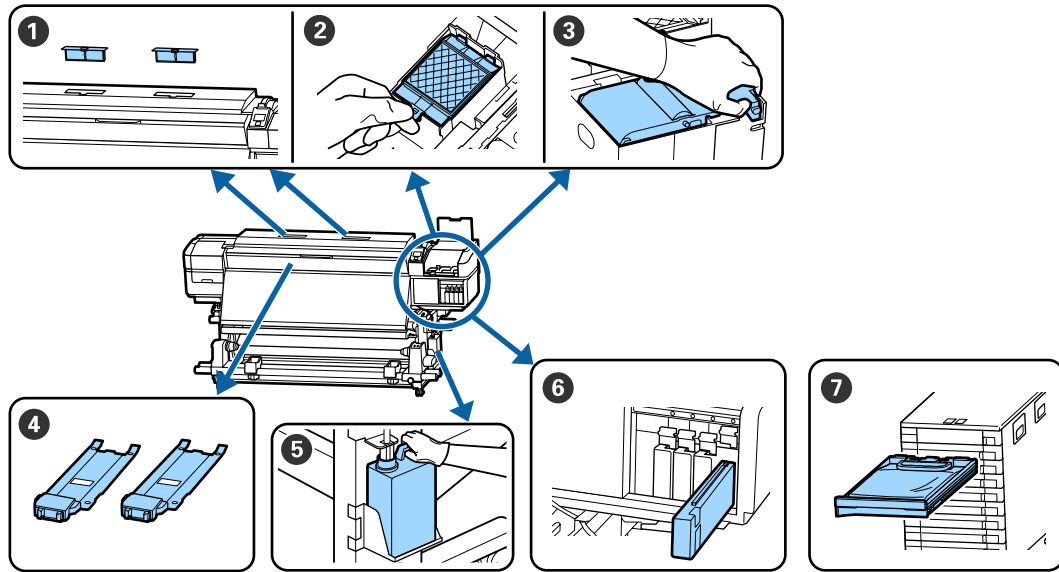
実施時期	清掃箇所
毎日の作業開始時	① プラテンヒーター・メディア押さえ板 「毎日の清掃」 62 ページ
1 ヶ月に 1 回以上	② プリントヘッド周辺 ③ キャップ ④ フラッシング用吸収材（汚れているとき） 「定期清掃の仕方」 63 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル

！重要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。

使用環境や使用メディアによっては、定期清掃の回数を増やしてください。

消耗品の箇所と交換時期



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき	① エアフィルター ② フラッシング用吸収材 ③ ワイパーユニット 🔗 「メンテナンスパーツの交換」 77 ページ ⑤ 廃インクボトル 🔗 「廃インク処理」 74 ページ
操作パネルの画面にインク残量が限界値以下のエラーが表示されたとき	⑥ インクカートリッジ (SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650) 🔗 「交換方法」 70 ページ ⑦ インクパック (SC-S80650L/SC-S60650L) 🔗 「交換方法」 73 ページ
変形したり破損したりしたとき	④ メディア押さえ板 🔗 「メディア押さえ板の交換」 80 ページ

その他のメンテナンス

実施時期	実施事項
SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 使用時 • 3 週間に 1 度 • 毎日の印刷業務開始前（WH/MS のみ）*	インクカートリッジのかくはん  「かくはんの方法」 69 ページ
SC-S80650L/SC-S60650L 使用時 • インクユニットの LED ランプが青色点滅しているとき（3 週間に 1 度） • 毎日の印刷業務開始前（WH/MS のみ）*	インクパックのかくはん  「かくはんの方法」 71 ページ
• ノズルが目詰まりしているか確認したいとき • 目詰まりしている色を確認したいとき • 水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき	ノズルの目詰まりチェック  「ノズルの目詰まりチェック」 82 ページ
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき	ヘッドクリーニング  「ヘッドクリーニング」 84 ページ
本機を長期間使用しない（電源を切る）とき	長期保管前メンテナンス  「長期間保管するときの事前メンテナンス」 86 ページ
（SC-S80650/SC-S80650L のみ） • 使用する特色を変更するとき（WH <= => MS） • 10 色モード <= => 9 色モードに変更するとき	カラーモード切り替え  「カラーモード切り替え（SC-S80650/SC-S80650L のみ）」 88 ページ
印刷結果にローラー汚れが付くとき	加圧ローラー  「加圧ローラーの清掃」 89 ページ
本機内部が見えにくくなったと感じるとき	前面カバー内側面  「前面カバー内側面の清掃」 89 ページ
操作パネルの画面に注油を促すメッセージが表示されたとき	キャリッジ軸に付属のグリスを塗る  「キャリッジ軸へのグリスの塗布」 90 ページ

* SC-S80650/SC-S80650L で 10 色モード選択時

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクカートリッジ/インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。

🔗 [「消耗品とオプション」 119 ページ](#)

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

保護メガネ（市販品）

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

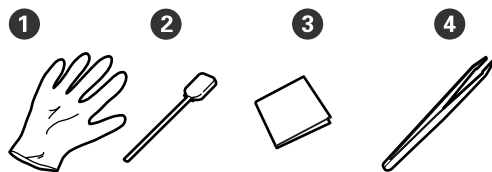
マスク（市販品）

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

メンテナンスキット（本製品付属）

清掃全般で使用します。

以下の部品がセットで入っています。



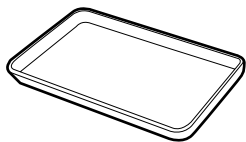
- ① 手袋（12 枚）
- ② クリーニング棒（20 本）
- ③ クリーンルーム用ワイパー（100 枚）
- ④ ピンセット（1 個）

インククリーナー（本製品付属）

インク汚れを拭き取るときに使います。

使い方 🔗 [「インククリーナーの使い方」 63 ページ](#)

金属トレイ（本製品付属）



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したインククリーナーを置くのに使います。

！重要

使用済みのクリーニング棒などを本機の上に直接置くとインククリーナーの性質上、変形のおそれがあります。

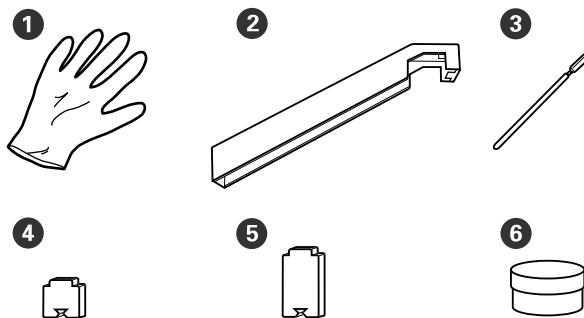
柔らかい布（市販品）

本機内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお勧めします。

注油キット（本製品付属）

キャリッジ軸にグリスを塗布する際に使用します。

以下の部品がセットで入っています。



- ① 手袋（16 枚）
- ② グリス注油ツール（1 個）
- ③ クリーニング棒（8 本）
- ④ パッド A（16 個）
- ⑤ パッド B（16 個）
- ⑥ グリス（2 個）

作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って行ってください。

⚠ 注意

- インクカートリッジ、インクパック、クリーニングカートリッジ、クリーニングインクパック、インククリーナー、グリス、廃インクは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクや廃インク、インククリーナー、グリスが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
 - 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
 - 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 - 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- 廃インクボトルの交換やインククリーナーを使った作業の後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- プrintヘッド周辺やキャップ周辺などの清掃に水やアルコールを使わないでください。インクと水、アルコールが混ざると固まります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

毎日の清掃

プラテンヒーター上やメディア押さえ板に毛羽ゴミやホコリ、インクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。

きれいな状態で印刷が行えるように、毎日の作業開始前に清掃することをお勧めします。

⚠ 注意

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

! 重要

内部の清掃には、インククリーナーを使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグは2つとも抜きます。

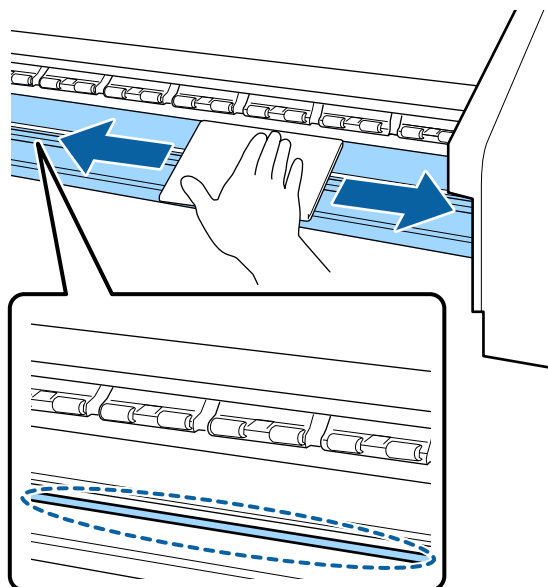
外付け乾燥ファン装着時は、外付け乾燥ファンの電源プラグも抜いてください。

- 2 電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

- 3 前面カバーを開けます。

- 4** 水に浸してよく絞った柔らかい布で、プラテンヒーターに付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれいに取り除いてください。



- 5** 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。

！重要

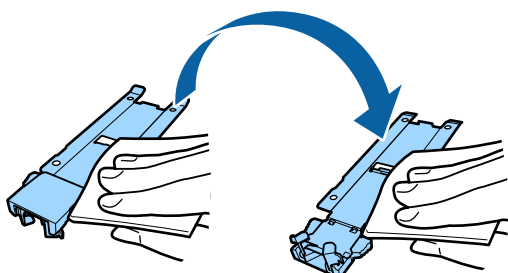
のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのりが固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの原因になることがあります。

のり付きメディアを使用したとき・インクが付着したとき

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてください。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 [☞「メディア押さえ板の交換」80ページ](#)



定期清掃の仕方

定期清掃は、以下の順番で行います。

プリントヘッドの移動



プリントヘッド周辺の清掃



キャップ周辺の清掃

！重要

1 ヶ月間清掃をしていないと、操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかに定期清掃を行ってください。

【[☞](#)】 ボタンを押してヘッドメンテナンスを行ってください。】

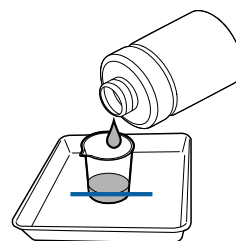
インククリーナーの使い方

インククリーナーは、マニュアルで指示した清掃箇所に限り使用してください。部品が傷つくため、指示のない箇所ではインククリーナーを使わないでください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

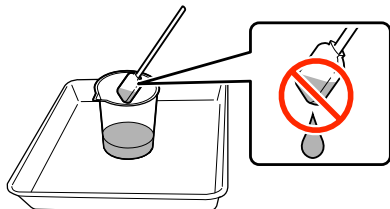
[☞「作業時のご注意」62ページ](#)

- 1** インククリーナーに付属の容器を金属トレイに載せてインククリーナーを約 10ml 注ぎます。



2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染み込ませるときも、容器に注いだインククリーナーを使用してください。

！重要

- 一度清掃に使ったインククリーナーを使わないでください。汚れたインククリーナーを使うと、かえって汚れが付着します。
- 使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。

📄「使用済み消耗品の処分」82 ページ

- インククリーナーは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- インククリーナー使用後は、必ず蓋を閉めてください。確実に蓋をししないとインククリーナーが漏れたり、揮発したりするおそれがあります。

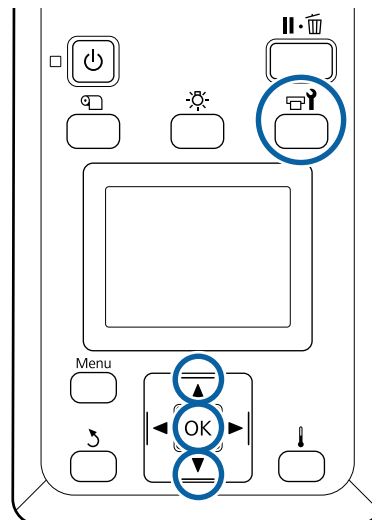
プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

！重要

プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン



1 電源が入っていることを確認し、【】 ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ヘッドメンテナンス】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

3 【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【定期清掃】を選択し、【OK】 ボタンを押します。

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

参考

プリントヘッド移動後、10 分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。【OK】 ボタンを押して清掃を継続してください。更に 10 分経過すると、再びブザーが鳴ります。

！ご確認

メンテナンス作業開始から
10分経過しました。
作業終了後にクリーニングを
行ってください。

OK 閉じる

プリントヘッド周辺の清掃

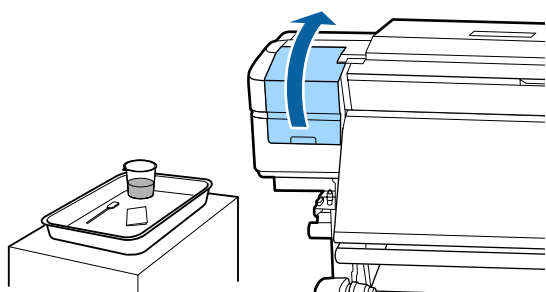
プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の手順で清掃してください。

SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L にはプリントヘッドが2つあります。両方のプリントヘッド周辺を清掃してください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

🔗 [「作業時のご注意」 62 ページ](#)

- 1 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、左側のメンテナンスカバーを開けます。



- 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

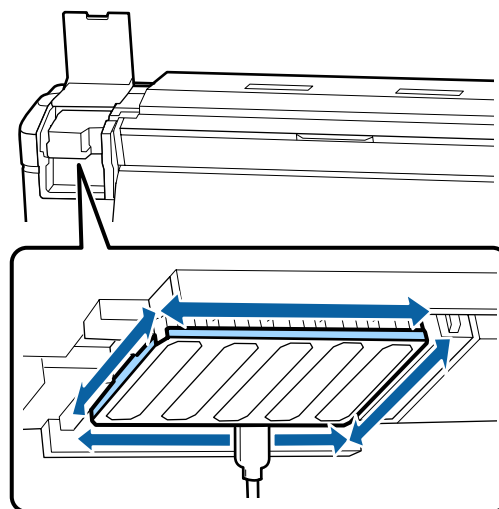
クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

🔗 [「インククリーナーの使い方」 63 ページ](#)

！重要

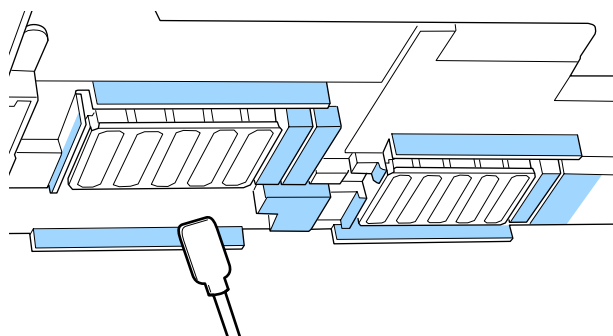
- クリーニング棒は、1 手順ごとにインククリーナーですすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いたときは、クリーンルーム用ワイパーで拭き取ってください。

- 3 矢印部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

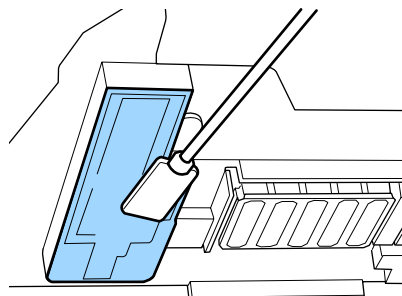


- 4 図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

SC-S40650 のプリントヘッドは右側のみです。



- 5 図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



- 6 左側のメンテナンスカバーを閉めます。

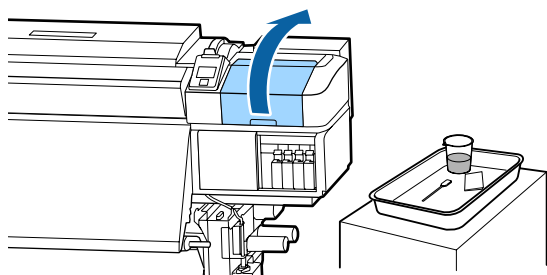
キャップ周辺の清掃

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ 「作業時のご注意」 62 ページ

キャップの清掃

- 1 右側のメンテナンスカバーを開けます。



- 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

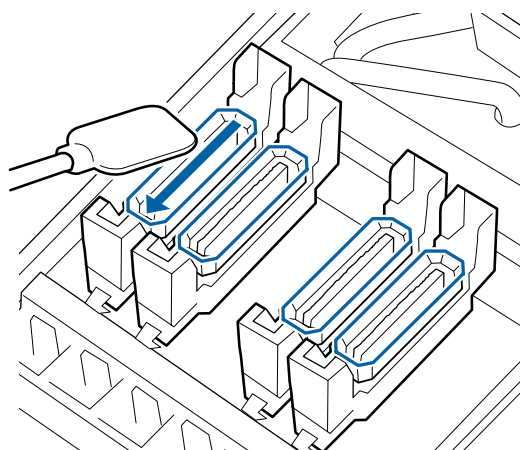
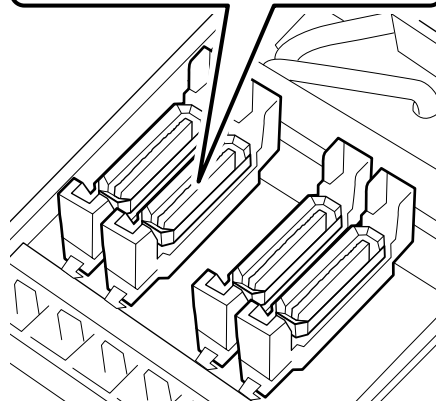
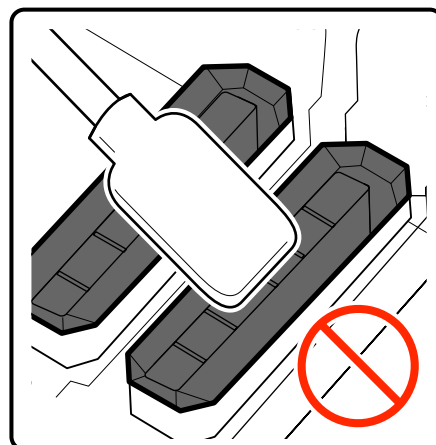
☞ 「インククリーナーの使い方」 63 ページ

- 3 クリーニング棒を平らにして、全てのキャップのフチを拭き取ります。

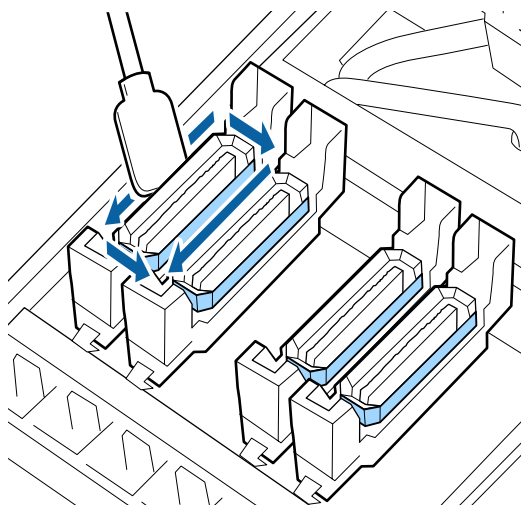
SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L にはキャップが2ブロックあります。全てのキャップを清掃してください。

！重要

ピンセットやクリーニング棒でキャップのフチや周囲を強く押さえたり、内側に触れたりしないでください。部品が変形して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。



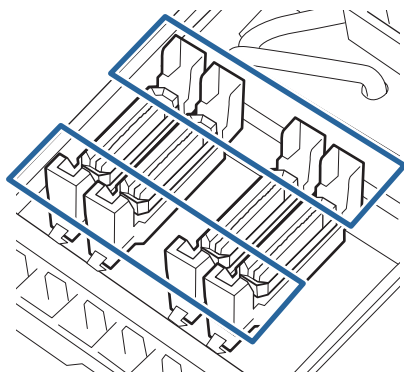
- 4** クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外周を拭き取ります。



キャップ清掃時に点検する箇所

キャップ清掃時は、以下の点を確認してください。

- キャップの前後にあるガイド部にインクが固着していないか。



- ガイド部にインクが膜のように付いていないか。
- キャップ内側に毛羽ゴミが付着していないか。
- フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付着していないか。

汚れていないとき：清掃終了です。

☞ 「清掃の終了」 69 ページ

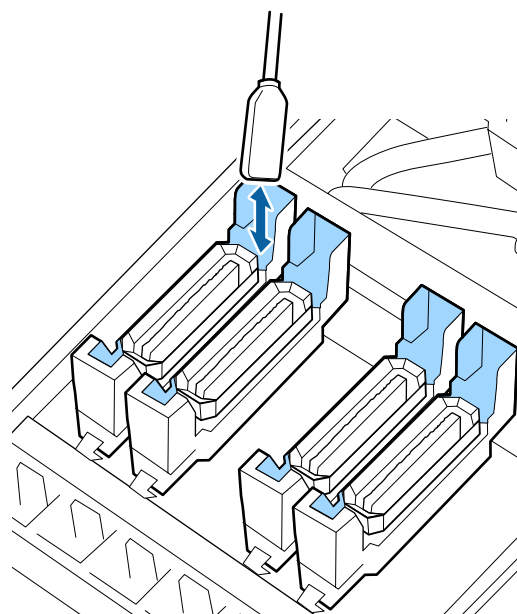
汚れているとき：次項をご覧になり必要な清掃を行います。

ガイド部にインクが固着しているとき

- 1** クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

☞ 「インククリーナーの使い方」 63 ページ

- 2** ガイド部にインククリーナーを塗って拭き取ります。

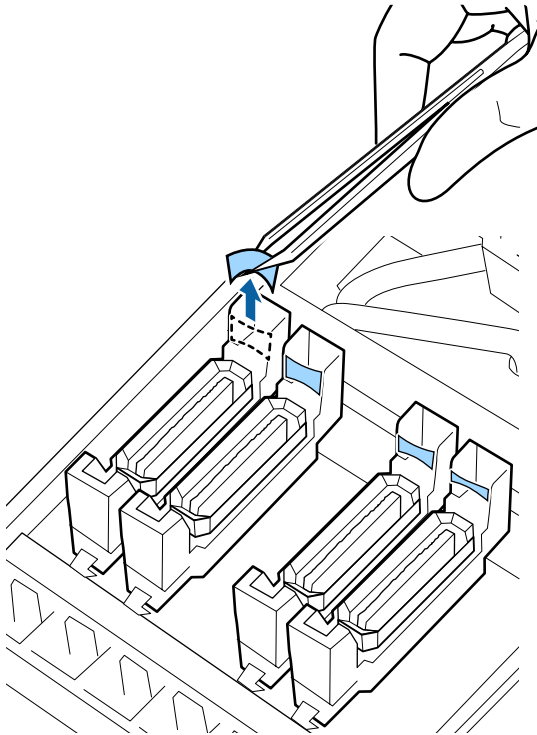


他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

☞ 「清掃の終了」 69 ページ

ガイド部にインクが膜のように付いているとき

固着したインクが膜のようになってクリーニング棒で取りきれないときは、ピンセットで取り除きます。

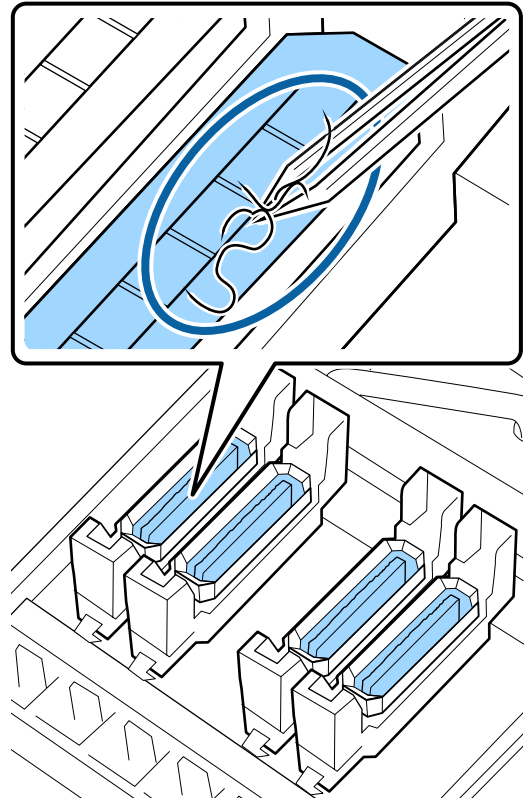


他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

☞ 「清掃の終了」 69 ページ

キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付いているとき

クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてください。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

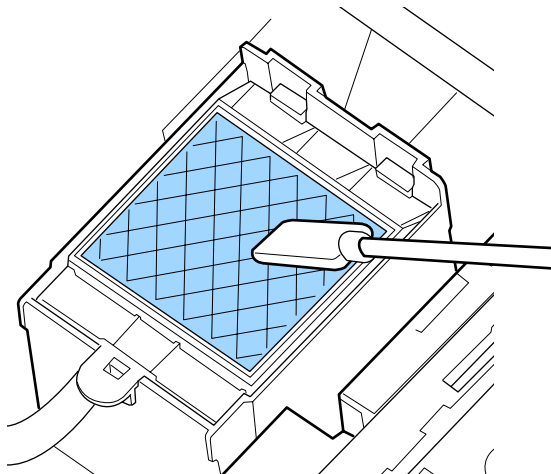
☞ 「清掃の終了」 69 ページ

フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付いているとき

クリーニング棒の先端で毛羽ゴミやホコリを取り除きます。

！重要

表面の金具を変形させないようにしてください。変形すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。

☞ [「清掃の終了」 69 ページ](#)

清掃の終了

清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを閉めて、【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終了します。

続いて印刷するときは、ノズルチェックを行ってください。

☞ [「チェックパターンの印刷方法」 83 ページ](#)

使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリーンルーム用ワイパーの廃棄 ☞ [「使用済み消耗品の処分」 82 ページ](#)

インクカートリッジのかくはんと交換（SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650）

かくはんの方法

かくはんのタイミングと回数

！重要

本機のインクカートリッジは、インク特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。

新品に交換するとき、および本機に装着後も定期的に取り外してインクカートリッジをかくはんしてください。

• 交換時

新品を袋から取り出してよく振ってください。

振る回数はインクの色によって異なります。

OR、WH、MS	15 秒間に 50 回程度
OR、WH、MS 以外の色	5 秒間に 15 回程度

• 毎日の印刷業務開始前（WH/MS のみ）

WH/MS は、他の色よりも沈降しやすい特性があります。毎日の印刷業務開始前にインクカートリッジを取り出して以下の回数、よく振ってください。

5 秒間に 15 回程度

24 時間以上インクカートリッジが振られないと、以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかにインクカートリッジを取り出して振ってください。

【MS/WH カートリッジを取り出して振ってください。】

• 3 週間に 1 度（WH/MS を除く各色）

インクカートリッジを本機に装着後も定期的に取り出してよく振ってください。

5 秒間に 15 回程度

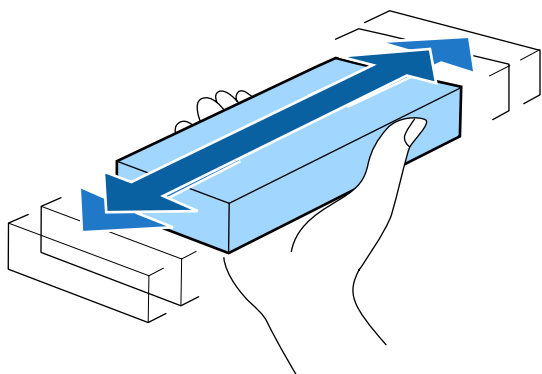
振り方

- 1 本機の電源が入っていることを確認してインクカートリッジを取り出します。

交換時は、新品を袋から取り出します。

- 2 水平方向に両側約 5cm の振りで、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。

OR、WH、MS は、交換時に限り 15 秒間に 50 回程度、よく振ります。



交換方法

1 色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

！重要

WH/MS インク使用時は、[✖インク量限界値以下] と表示されたら、速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。

インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

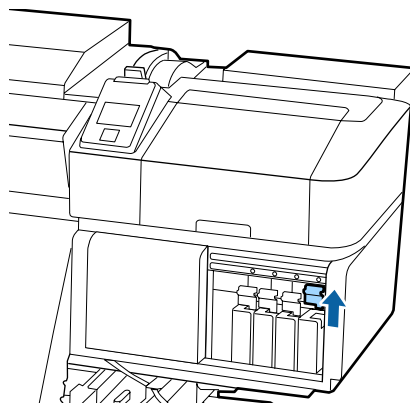
印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。インクカートリッジとクリーニングカートリッジの交換は、以降の手順で行います。

！重要

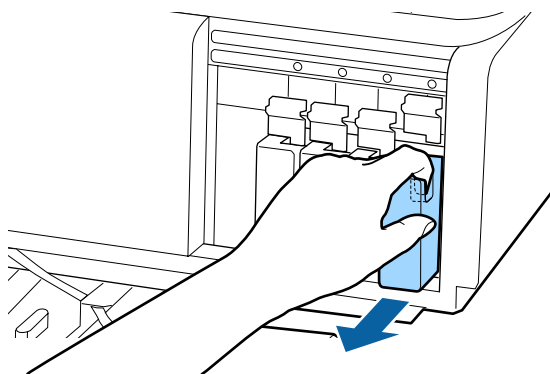
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- 1 本機の電源が入っていることを確認します。

- 2 交換するインクカートリッジのロックレバーを引き上げます。



- 3 インクカートリッジ上部のくぼみに指をかけて、まっすぐに引き抜きます。

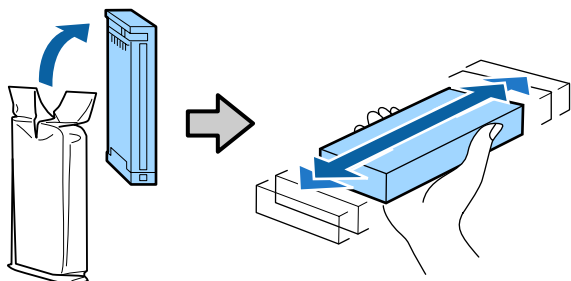


！重要

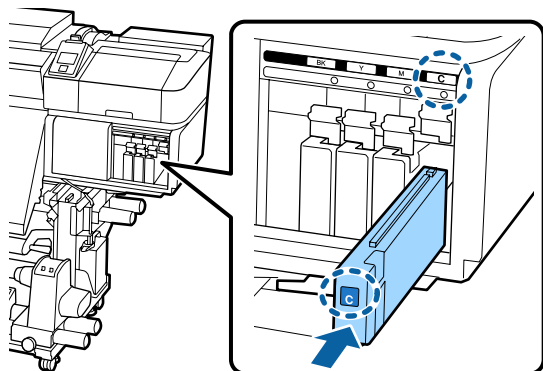
取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

- 4** 水平方向に両側約 5cm の振りで、5 秒間に 15 回程度、よく振ります。

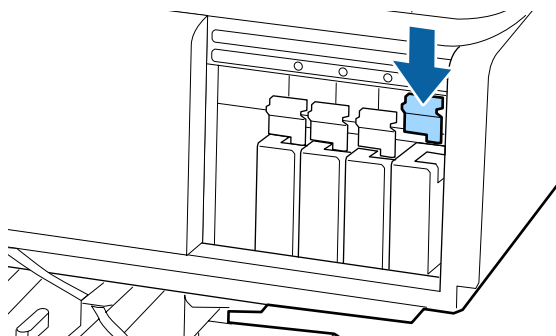
OR、WH、MS は 15 秒間に 50 回程度、よく振ります。



- 5** インクカートリッジと本機に貼付のラベルの色を合わせて、奥まで差し込みます。



- 6** ロックレバーを下げてロックします。



別の色のインクカートリッジも交換するときは、手順 2～手順 6 を行います。

！重要

カートリッジは、全スロットに装着してください。全スロットに装着していないと印刷できません。

廃棄 ♻️ 「純正カートリッジの回収」 82 ページ

インクパックのかくはんと交換 (SC-S80650L/SC-S60650L)

かくはんの方法

かくはんのタイミングと回数

！重要

本機のインクパックは、インク特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすいです。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。新品に交換するとき、およびインクユニットに装着後も定期的に取り外してインクパックをかくはんしてください。

• 交換時

振る回数はインクの色によって異なります。

OR、WH、MS	25 秒間に 25 回程度
OR、WH、MS 以外の色	5 秒間に 5 回程度

• 毎日の印刷業務開始前 (WH/MS のみ)

WH/MS は、他の色よりも沈降しやすい特性があります。毎日の印刷業務開始前にインクパックを取り出して以下の回数、よく振ってください。

5 秒間に 5 回程度

24 時間以上かくはんされない状態が続くと、以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかにトレイを取り出してかくはんしてください。

〔(MS/) WH インクパックを取り出して振ってください。〕

• 3 週間に 1 度 (WH/MS を除く各色)

LED ランプが青色点滅しているトレイを取り出してかくはんしてください。印刷品質を保つために青点滅した状態で使い続けしないでください。

5 秒間に 5 回程度

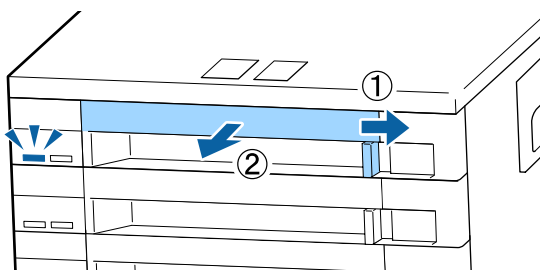
振り方

- 1 本機の電源が入っていることを確認してインクユニットからかくはん対象のトレイを引き出します。

LED ランプが青点滅しているのがかくはんが必要なインクパックです。

！重要

トレイを取り出すときは、トレイ底面に手を添えてください。片手で作業をすると、トレイを引き抜いたときに重さでトレイが落下し破損するおそれがあります。



参考

トレイを引き出した際は、インクパックのインク供給孔を確認してください。写真のようにインクが垂れたり、インクが底面にたまったりしているときは、クリーニング棒で拭き取ってください。

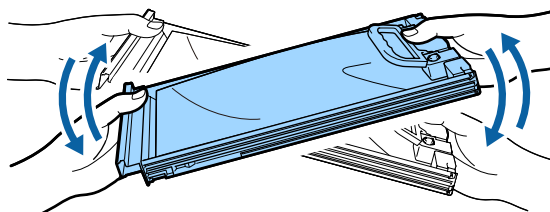


拭き取る際は、インク供給孔に触れないでください。



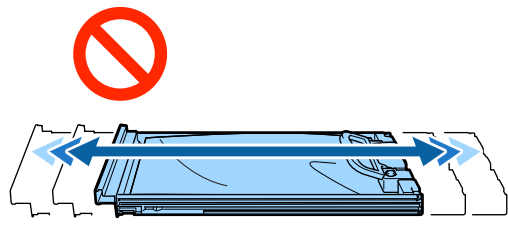
- 2 インクパックがトレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ります。

OR、WH、MS は、交換時に限り 25 秒間に 25 回程度、よく振ります。



！重要

インクパックがセットされたトレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



交換方法

1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

！重要

WH/MS インク使用時は、[インク量 限界値以下] と表示されたら、速やかに新しいインクパックと交換してください。

インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

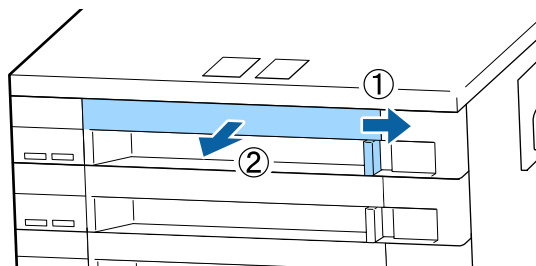
インクパックとクリーニングインクパックの交換は、以降の手順で行います。

！重要

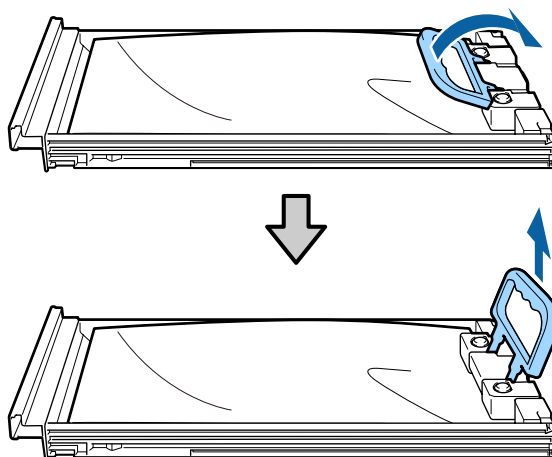
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 インクユニットから交換するインクパックが入っているトレイを引き出します。



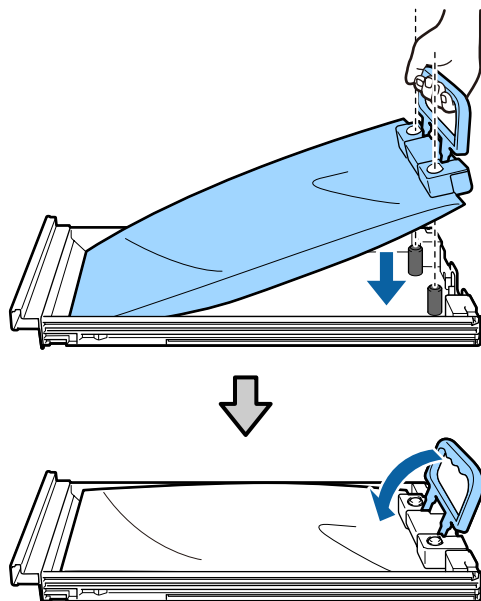
3 インクパックをトレイから取り外します。



！重要

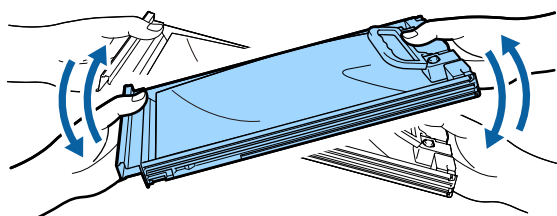
取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

- 4** 新しいインクパックをトレイにセットしてハンドルを倒します。

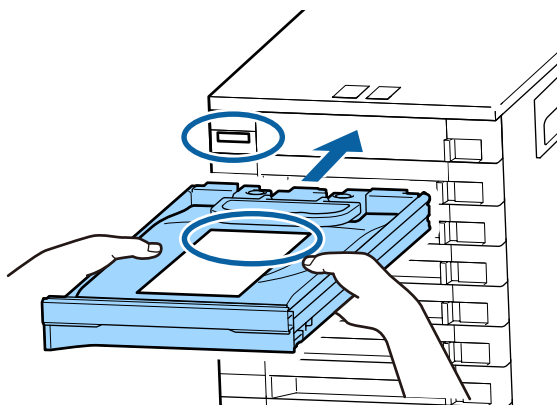


- 5** インクパックがトレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 **60 度** の角度で **5 秒間に 5 回程度**、よく振ります。

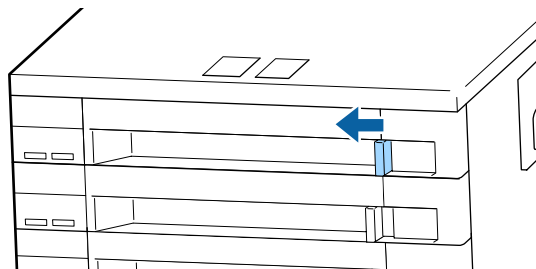
OR、WH、MS は 25 秒間に 25 回程度、よく振ります。



- 6** インクパックとインクユニットに貼付のラベルの色を合わせてトレイを奥まで押し込みます。



- 7** ロックスイッチを左に動かしてロックします。



別の色のインクパックも交換するときは、手順 2～手順 7 を行います。

！重要

全トレイにインクパックをセットしてインクユニットに装着してください。インクパックがセットされていないトレイやインクユニットに装着されていないトレイが 1 色でもあると印刷できません。

廃棄 ☞ 「廃棄」 82 ページ

廃インク処理

準備と交換時期

【空の廃インクボトルを準備してください。】と表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼働などのため、この段階で廃インクボトルを交換するときは、設定メニューから「廃インクボトル交換」を実施して交換作業を行ってください。[廃インクボトル交換] を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。

メンテナンスメニュー ☞ 「メンテナンスメニュー」 106 ページ

廃インクカウンター ☞ 「廃インクカウンターについて」 75 ページ

！重要

印刷中や本機が以下の動作を実行中は、画面の指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

- ヘッドクリーニング
- ヘッド洗浄
- インクリフレッシュ
- 長期保管前メンテナンス

【空の廃インクボトルと交換して、**OK**を押してください。】と表示されたとき

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法 ➡ [「廃インクボトルの交換」75 ページ](#)

廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。【空の廃インクボトルと交換して、**OK**を押してください。】のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューの【廃インクボトル交換】を実行してください。

メンテナンスメニュー ➡ [「メンテナンスメニュー」106 ページ](#)

！重要

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

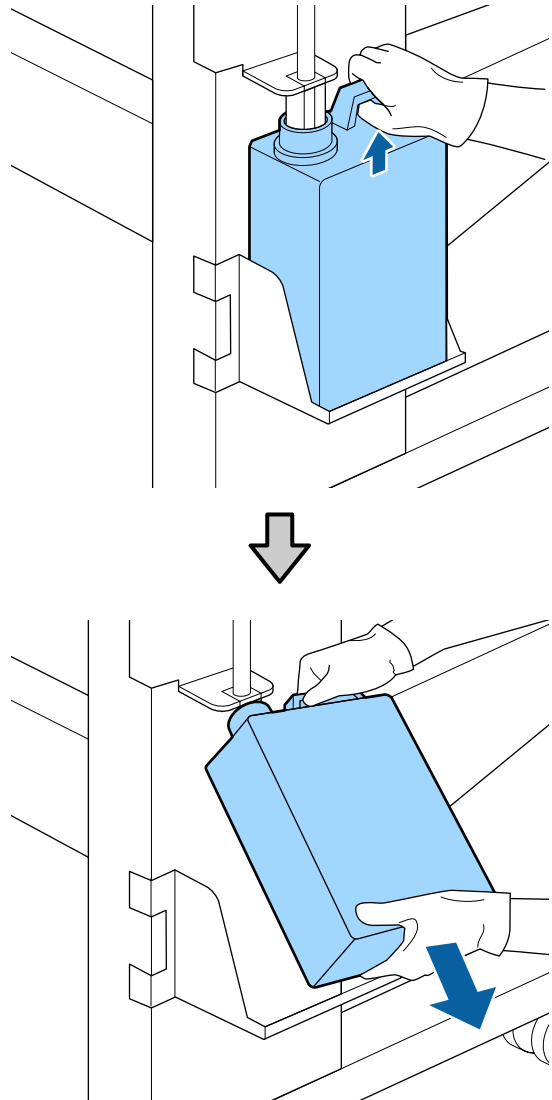
廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

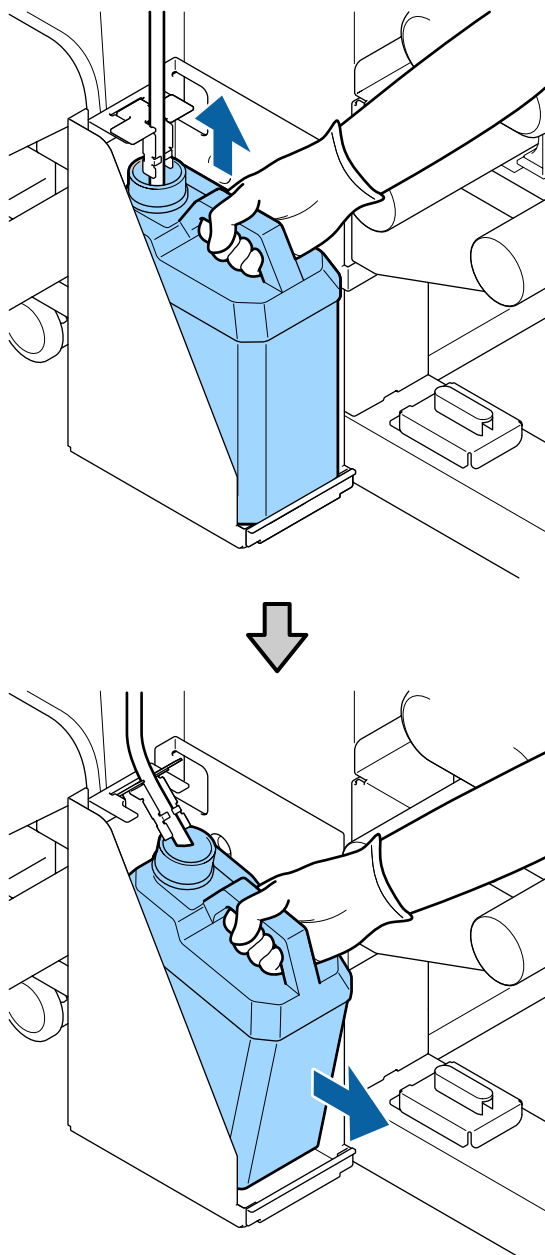
➡ [「作業時のご注意」62 ページ](#)

- 1 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。

SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650



SC-S80650L/SC-S60650L



- 2** 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

！重要

新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。

- 3** 【OK】ボタンを押します。

- 4** 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されていることを確認します。【OK】ボタンを押すと、廃インクカウンターがクリアされます。

！重要

必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

参考

廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下の点に留意してください。

- 移し替える側の容器は、PE 製をお使いください。
- 本製品に付属のそそぎ口を廃インクボトルの口に取り付けて廃インクを移してください。
- 慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれたり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて火気のない場所で保管してください。

使用済み廃インクと廃インクボトルの廃棄  **「廃棄」**
82 ページ

メンテナンスパーツの交換

準備と交換時期

【メンテナンスパーツの交換時期が近づきました】と表示されたとき

直ちに新しいメンテナンスパーツキットを手元に用意してください。

夜間稼働などのため、この段階で交換するときは、設定メニューから【メンテナンスパーツ交換】を実施して交換作業を行ってください。【メンテナンスパーツ交換】を実施せずに交換すると、メンテナンスパーツカウンターが正しく働かなくなります。

メンテナンスメニュー  [「メンテナンスメニュー」106ページ](#)

！重要

メンテナンスカウンターについて

本機は、メンテナンスカウンターで使用量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。

【メンテナンスパーツ交換時期】のメッセージに従って新しいメンテナンスパーツと交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、設定メニューから【メンテナンスパーツ交換】を実行してください。

メンテナンスメニュー  [「メンテナンスメニュー」106ページ](#)

【メンテナンスパーツ交換時期】と表示されたとき

メンテナンスパーツキットに付属のパーツを全て交換してください。交換しないと印刷できません。

交換用のメンテナンスパーツキットは、必ず本機専用のものをお選びください。

 [「消耗品とオプション」119ページ](#)

メンテナンスパーツキットには、以下のパーツが入っています。メンテナンスパーツは同時にまとめて交換してください。

- ワイパーユニット (1 個)
- フラッシング用吸収材 (1 個)
- エアフィルター (2 個)

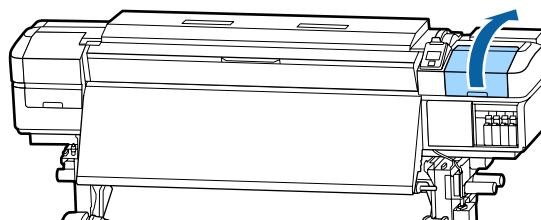
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

 [「作業時のご注意」62ページ](#)

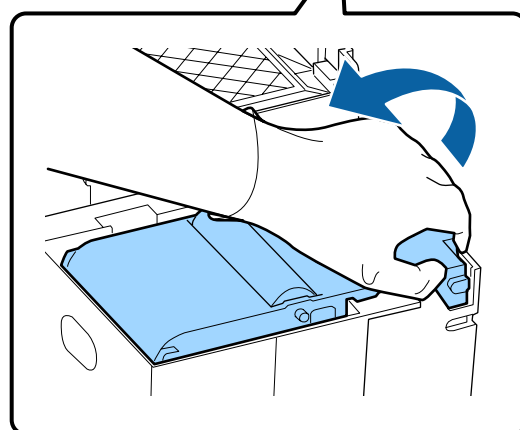
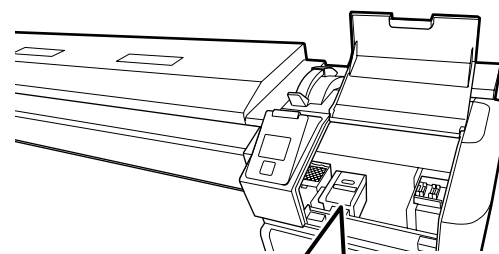
メンテナンスパーツの交換方法

1 メッセージの指示に従って【OK】ボタンを押します。

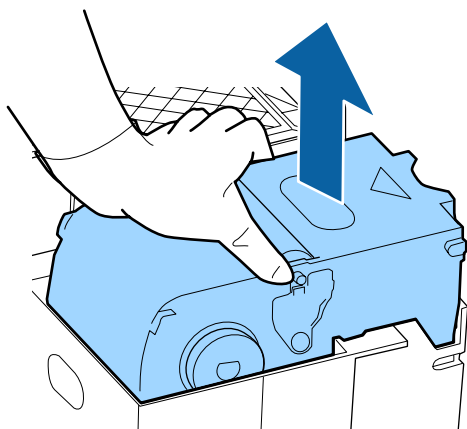
2 プリントヘッドが左側に移動したことを確認して、右側のメンテナンスカバーを開けます。



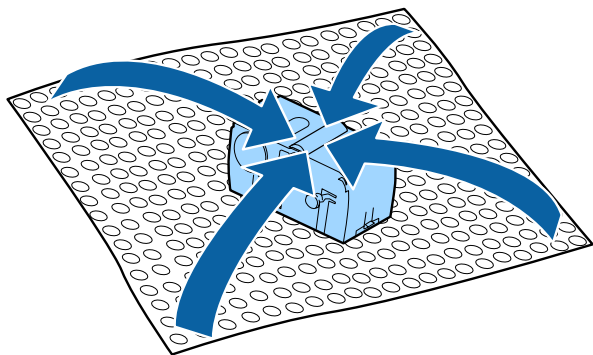
3 ワイパーユニットの奥のくぼみに指を掛けて、少し手前に引き上げます。



- 4 まっすぐに持ち上げて取り外します。

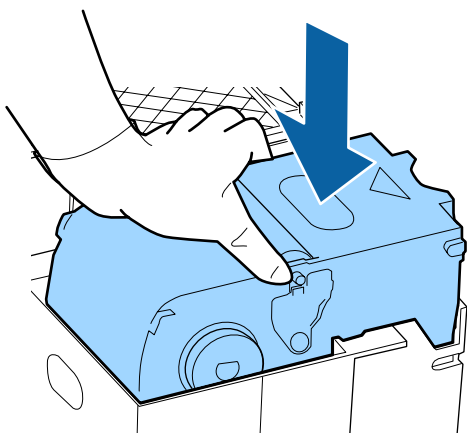


- 5 使用済みのワイパーユニットは、インクが周りに付かないように、新品のワイパーユニットを包んでいた緩衝材で包みます。



- 6 新品のワイパーユニットを取り付けます。

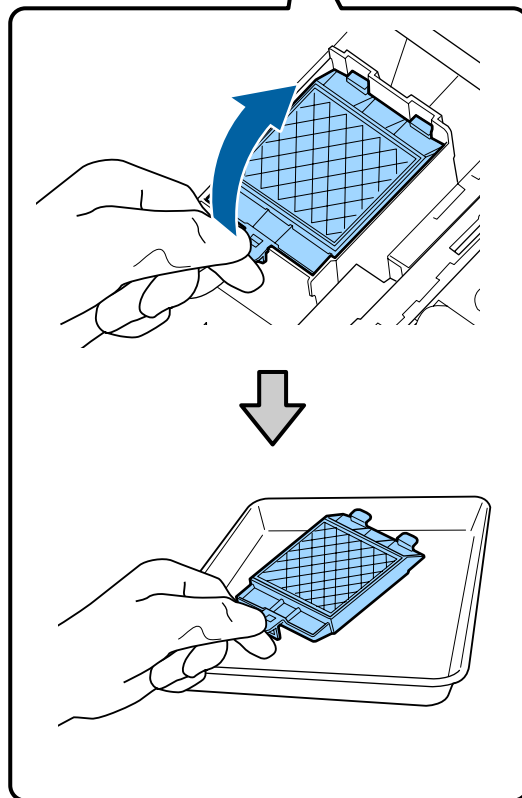
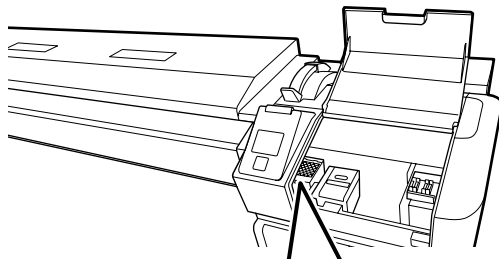
取り付け部に載せて、カチッと音がするまで押し込みます。



- 7 ワイパーユニットの交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。

- 8 フラッシング用吸収材は、つまみを持って引き上げて取り外します。

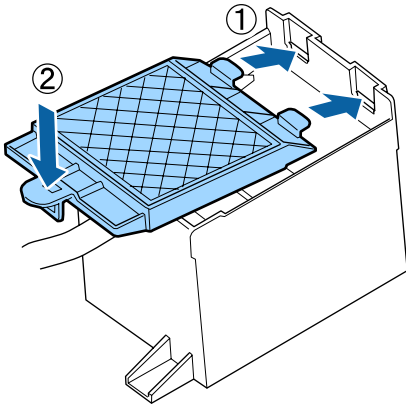
取り外したフラッシング用吸収材は、インクが周りに付かないように金属トレイに載せてください。



！重要

取り外した使用済のフラッシング用吸収材は、廃棄するまで金属トレイに載せておいてください。本機の上などに直接置くとインクの性質上、除去が困難な汚れが付くことがあります。

- 9** 新品のフラッシング用吸収材の 2 本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。

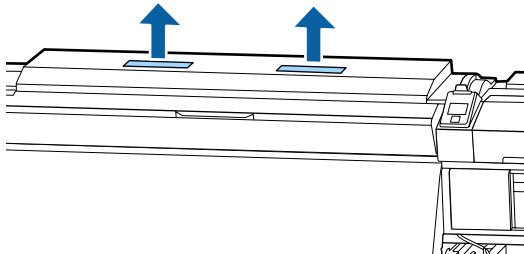


- 10** フラッシング用吸収材の交換が終了したら、【OK】ボタンを押します。

- 11** 新品のエアフィルターを 2 個とも袋から取り出します。

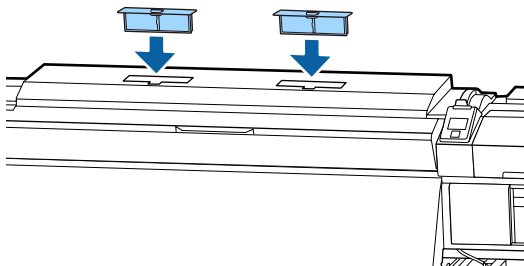
- 12** エアフィルターのつまみを持ち、真上に引き上げます。

エアフィルターは両側とも交換します。



- 13** 取り外したエアフィルターを新品のエアフィルターが入っていた袋に入れます。

- 14** 新品のエアフィルターを挿入します。



- 15** エアフィルターが装着されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。

！重要

エアフィルターは必ず取り付けてください。
取り付けずに本機を使用すると、ミストでセンサーが劣化して印刷結果のズレや本機の故障の原因になります。

- 16** メンテナンスカバーを閉めて【OK】ボタンを押します。

- 17** 画面に確認のメッセージが表示されます。内容を確認して、[はい] を選択し【OK】ボタンを押します。

使用済みメンテナンスパーツの廃棄 「廃棄」 82 ページ

メディア押さえ板の交換

付属のメディア押さえ板が変形したり破損したりしたときは、必ず新品と交換してください。

交換用のメディア押さえ板については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。

☞「お問い合わせ先」132 ページ

！重要

変形したり破損したりしたメディア押さえ板を使い続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。

交換方法

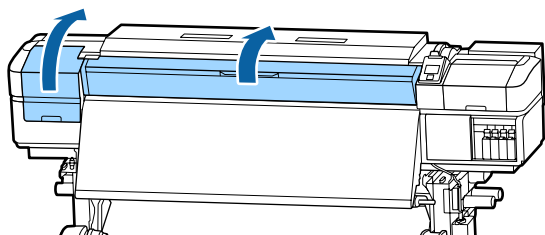
- 1 メディアを取り外してから、本機の電源を切ります。画面の表示が消えたのを確認して電源プラグをコンセントから抜きます。

☞「巻き取ったメディアの取り外し方」49 ページ

電源プラグは2つとも抜きます。

外付け乾燥ファン装着時は、外付け乾燥ファンの電源プラグも抜いてください。

- 2 電源プラグを抜いたあと1分程放置して左側のメンテナンスカバーと前面カバーを開けます。

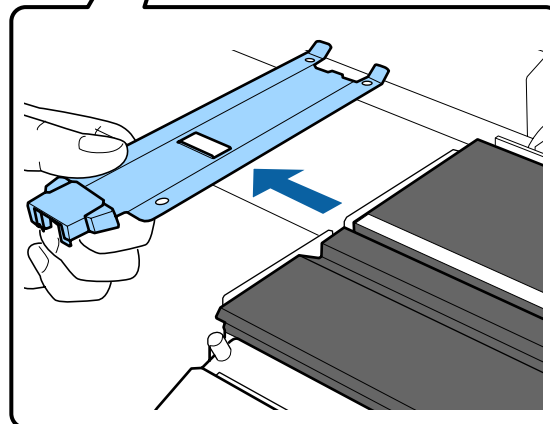
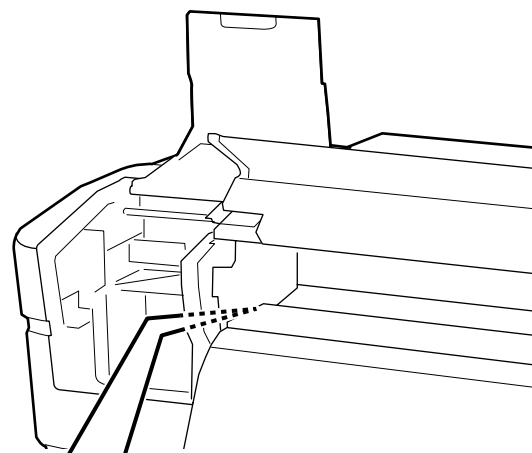
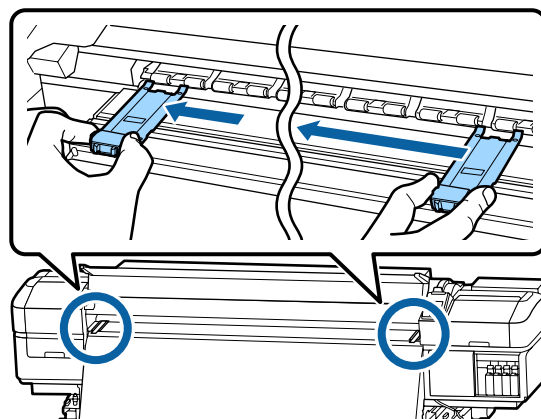


- 3 メディア押さえ板のツマミを、両側から押さえたままプラテンの左端に移動して取り外します。

右側のメディア押さえ板を交換するときは、左側を取り外してから右側を取り外します。

！重要

メディア押さえ板は、必ずプラテンの左端から取り外してください。右端から取り外すと、メディア押さえ板が本機の内部に落下して不具合の原因となります。



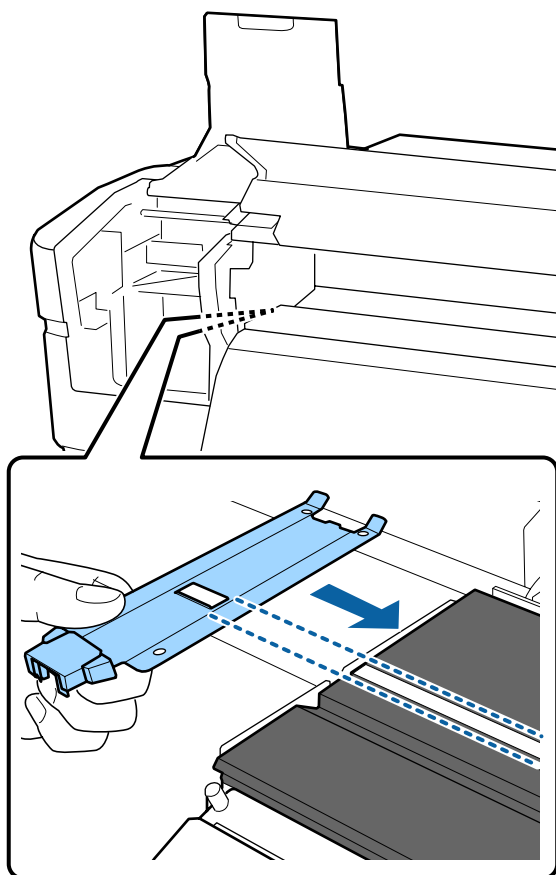
- 4 プラテンの左端から新品のメディア押さえ板を挿入します。

！重要

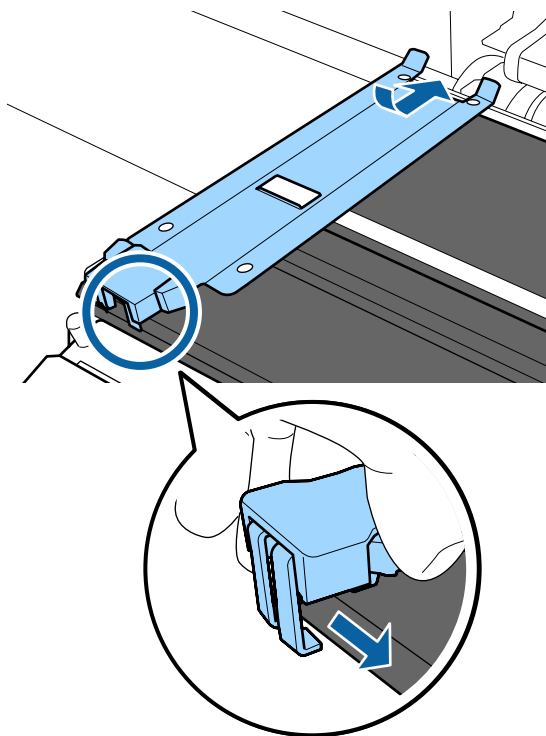
メディア押さえ板を右端から挿入することはできません。

挿入する際は、以下の2点を確認しながら行います。

- ① プラテン上の白線とメディア押さえ板の白線が一直線になるように位置を合わせます。

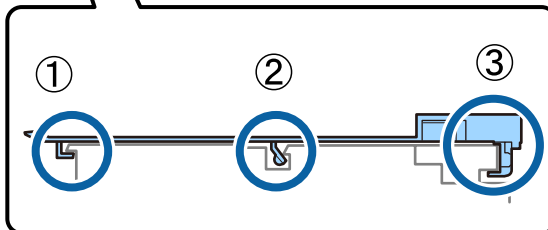
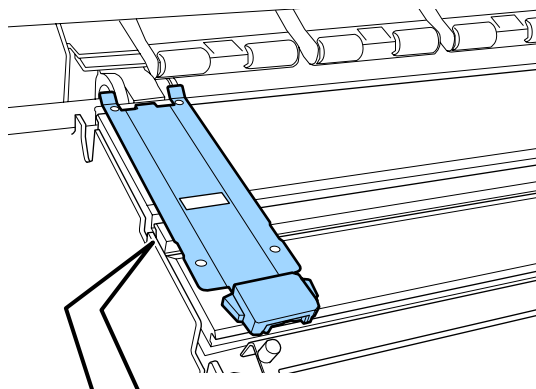


- ② 金属板の先端をプラテンに押し当てながら、プラテン手前の角にツメを引っ掛けます。



- 5 メディア押さえ板の裏面の3箇所のツメが下図のように確実に引っ掛かり、プラテンとの間に隙間なく装着されていることを確認します。

- ① 先端のツメ: プラテン奥の角
- ② 四角い穴の裏側のツメ: 白線の手前の溝
- ③ ツマミの裏側のツメ: プラテン手前の角

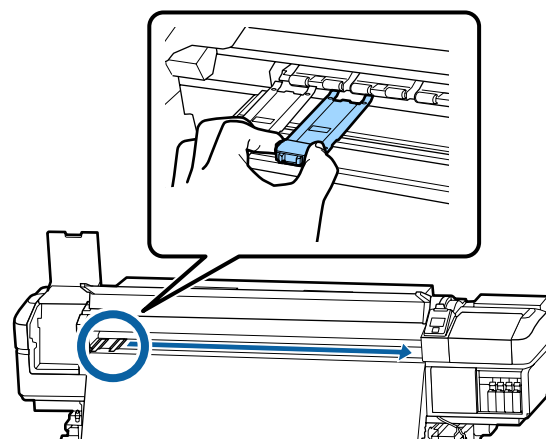


!重要

ツメが正しく引っ掛かっていない箇所があるときは、手順3に戻って取り付け直してください。そのまま使用すると、ヘッドが破損するおそれがあります。

- 6 メディア押さえ板のつまみを両側から押さえたまま、プラテンの左端と右端へ移動します。

つまみを放すと、メディア押さえ板が固定されます。



- 7 左側のメンテナンスカバーと前面カバーを閉めます。

使用済み消耗品の処分

純正カートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジ、クリーニングカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

廃棄

使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- クリーンルーム用ワイパー
- インククリーナー
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ワイパーユニット
- フラッシング用吸収材
- エアフィルター
- 印刷後のメディア
- 空のインクパック

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシートは、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりをチェックしてから印刷することをお勧めします。

目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の3通りの方法があります。

任意にチェックパターンを印刷する

印刷の前に目詰まりがないか確認したいときや印刷結果にスジやムラが見られるときなど必要に応じてチェックパターンを印刷します。印刷されたチェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。チェックパターンの印刷方法は、以下をご覧ください。

🔗 [「チェックパターンの印刷方法」 83 ページ](#)

セットしているメディア幅によっては、一度パターン印刷した余白にパターンを並べて印刷できるのでメディアの使用量を節約できます。

- 51 インチ以上～64 インチ未満のとき：右側、中央、左側の最大3回まで並べて印刷できます。
- 34 インチ以上～51 インチ未満のとき：右側と左側に2回まで並べて印刷できます。
- メディア幅 34 インチ未満のときと [メディア幅検出] を [OFF] に設定しているとき：並べて印刷できません。

ページ間ノズルチェック - 自動ノズルチェック

自動でノズル抜けをケアしながら連続して印刷する際に便利な機能です。

設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、目詰まりがないかチェックします。

目詰まりがなければ、印刷を継続します。

目詰まりを確認すると、自動的にヘッドクリーニングとチェックパターンの印刷を行い、目詰まりが解消されたかチェックします。この動作を2回繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷を継続するか確認するメッセージを表示します。

🔗 [「プリンター設定メニュー」 104 ページ](#)

参考

自動ノズルチェックは、以下のメディアや環境では実行できません。チェックパターンを印刷して、目視でノズルの目詰まりを確認してください。

- 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。
- 設定メニューの【プラテンギャップ】を【2.5】に設定しているとき。
- 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。遮光して再度実行してください。
- SC-S80650/SC-S80650L（10色モード時）のWH/MS部分WH/MS以外の色に対しては自動ノズルチェックできませんが、WH/MSを使った印刷時はチェックパターンを印刷してノズルチェックすることをお勧めします。

ページ間ノズルチェック - チェックパターン印刷

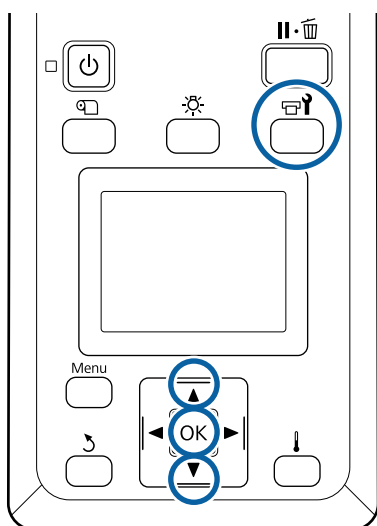
【自動ノズルチェック】が正しく働かないメディアを使用しているときや、【自動ノズルチェック】は時間がかかると感じるときに便利なノズル抜けケア機能です。

設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンの印刷を挟んで次ページを印刷します。全ての印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠けがないかを判断します。

🔗 [「プリンター設定メニュー」104ページ](#)

チェックパターンの印刷方法

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して【🖨️】ボタンを押します。

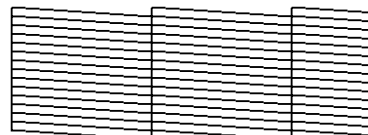
メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【ノズルチェック】を選択し、任意の印刷位置を選択して【OK】ボタンを押します。

チェックパターンが印刷されます。

- 3 必要に応じてメディアをカットして印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていません。

目詰まりしているときの例



チェックパターンが欠けているときは、ヘッドクリーニングを行ってください。

🔗 [「ヘッドクリーニング」84ページ](#)

！重要

必ず全色のノズルの目詰まりを解消してから使用を再開してください。再開後の印刷で使用しない色でも目詰まりしたまま使い続けると、目詰まりが解消できなくなります。

- 4 印刷が終了すると、設定メニューが終了します。

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングの種類

ヘッドクリーニングは、大きく以下の2つに分けられます。

任意にヘッドクリーニングを実施する。

印刷されたチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッドクリーニングを行ってから、再度チェックパターンを印刷して目詰まりがあるかを確認します。

ヘッドクリーニングは印刷の途中でも、印刷を一時停止（ポーズ）すれば行えます。ただし、印刷再開時に印刷物の色味が変わることがあります。

ヘッドクリーニングの実施方法は、以下をご覧ください。

🔗 [「ヘッドクリーニングの方法」84ページ](#)

自動メンテナンス機能

実際にノズルの目詰まりが起きる前に予防手段として定期的にヘッドクリーニングを実施する、便利な自動メンテナンス機能を2種類搭載しています。

• 定期クリーニング

メディア設定に応じた最適なタイミングで自動で定期的にヘッドクリーニングを行う以外に、印刷距離や印刷ページ数を設定して定期的に実行できます。

定期クリーニング頻度 🔗 [「メディア設定変更」101ページ](#)

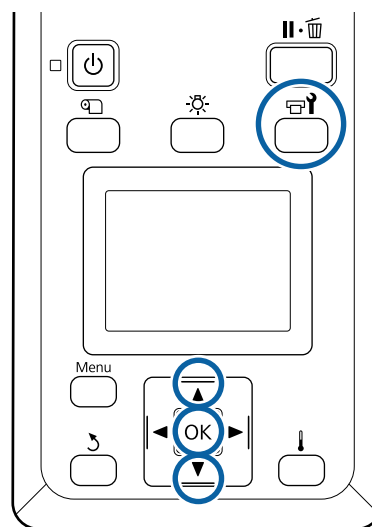
• [ページ間ノズルチェック] - [自動ノズルチェック]

設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、目詰まりがないかチェックします。目詰まりを確認すると、自動的にヘッドクリーニングとチェックパターンの印刷を行い、目詰まりが解消されたかチェックします。目詰まりが解消されれば、印刷を継続します。この動作を2回繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷を継続するか確認するメッセージを表示します。

🔗 [「プリンター設定メニュー」104ページ](#)

ヘッドクリーニングの方法

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して【】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

印刷中にクリーニングをするときは、【】ボタンを押します。

- 2 【】 / 【】ボタンを押して【クリーニング】を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 3 クリーニングのレベルを選択して【OK】ボタンを押します。

ヘッドクリーニングには、3段階のレベルがあります。

最初は、[クリーニング (弱)] を実施します。実施後、印刷したチェックパターンにかすれや欠けがあるときは [クリーニング (中)] を、それでも解消されないときは [クリーニング (強)] を実施してください。

- 4 クリーニングを行うノズル列の指定方法を選択します。

[クリーニング (弱)] を選択したときは、[全列クリーニング] のみです。

【全列クリーニング】

印刷されたチェックパターンを確認したとき、全てのパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。選択後は、手順 6 に進みます。

【Head1】 / 【Head2】

SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ表示されます。

印刷したチェックパターンで片方のプリントヘッドにだけかすれや欠けがあるときに選択します。選択後は、手順 6 に進みます。

【クリーニングする列を選択】

印刷したチェックパターンで特定の番号（ノズル列）のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

5 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。

- ① 【▼】 / 【▲】 ボタンを押してかすれや欠けがあるパターンの番号が含まれているノズル列を選択し、【OK】 ボタンを押します。
- ② ヘッドクリーニングするノズル列を全て選び終わったら選択を決定し実行を選択して【OK】 ボタンを押します。

6 ヘッドクリーニングが開始されます。

ヘッドクリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。

手順 1 で印刷を一時停止（ポーズ）してヘッドクリーニングをしたときは、ヘッドクリーニングが終了すると印刷が再開されるので、印刷結果でノズルの目詰まりが解消されたことを確認します。

7 チェックパターンを印刷して目詰まりを確認するときは、【▼】 / 【▲】 ボタンを押して【ノズルチェック】を選択し【OK】 ボタンを押します。

すでにチェックパターンを印刷したメディアの余白にチェックパターンを印刷するときは、印刷開始位置が加圧ローラーの位置にくるまで【▲】 ボタンを押してメディアを戻してください。

【終了】を選択して【OK】 ボタンを押すと、設定メニューが終了します。

数回ヘッドクリーニングを行ってもノズルの目詰まりが解消されないとき

プリントヘッド周辺が汚れているおそれがあります。以下を実施してください。

- ① 設定メニューから【自動ヘッドメンテナンス】を実施する。

☞ [「メンテナンスメニュー」 106 ページ](#)

①を行っても目詰まりが解消されないときは②を行います。

- ② 定期清掃を実施する。

☞ [「定期清掃の仕方」 63 ページ](#)

②を行っても目詰まりが解消されないときは③を行います。

- ③ 設定メニューから【ヘッド洗浄】を実施する。

☞ [「メンテナンスメニュー」 106 ページ](#)

長期間保管するときの事前メンテナンス

事前メンテナンス実施タイミング

本機を長期間使用しない（電源を切る）ときは、必ず事前メンテナンスを実施してください。

長期間保管メンテナンスを行わずに長期間使用しないときは、7日に1度は電源を入れてください。

！重要

事前メンテナンスをせずに放置すると、プリントヘッドのノズルの目詰まりが解消できなくなります。

お使いの機種により、以下の通り事前メンテナンスが必要となる時期が異なります。

SC-S40650/SC-S60650/SC-S60650L

事前メンテナンスでは、別売のクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパック（CL）を下表の本数使います。

期間の目安	CL 数
1 ヶ月以上	SC-S40650: 4 本 SC-S60650: 8 本 SC-S60650L: 8 パック

SC-S80650/SC-S80650L

WH/MS インクはインクの特性上、放置できる期間はおおよそ 6 日です。

使用しない期間が 13 日以下のときは、WH/MS インクに対してだけ事前メンテナンスを実施します。

2 週間以上、使用しないときには全色に事前メンテナンスが必要です。事前メンテナンスでは、別売のクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパック（CL）を下表の本数使います。

10 色モード時

期間の目安	対象色	CL 数
7～13 日	WH/MS	SC-S80650: 2 本 SC-S80650L: 2 パック

期間の目安	対象色	CL 数
2 週間以上	全色（全列）	SC-S80650: 10 本 SC-S80650L: 10 パック

9 色モード時

期間の目安	対象色	CL 数
2 週間以上	全色（全列）	SC-S80650: 10 本 SC-S80650L: 10 パック

！重要

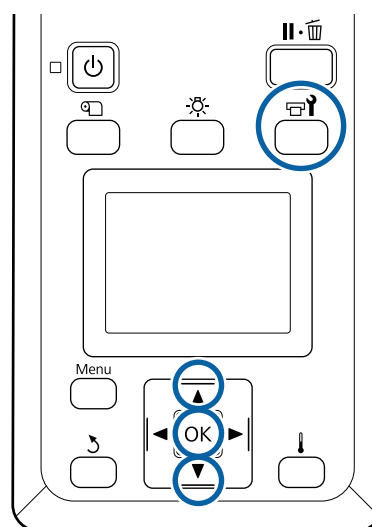
WH/MS インクに対してのみ［長期保管前メンテナンス］を実施した後で［全列］に変更するには、本機の電源を入れて WH/MS インクを充填してから再び［長期保管前メンテナンス］を実施してください。

事前メンテナンスの方法

！重要

インクや洗浄液の残量が足りないとき機能を実行できないことがあります。残量が残り少ないときは、念のためお手元に新品のカートリッジ/インクパックをご用意ください。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して【】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【▲】ボタンを押して[その他のメンテナンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 3 【▼】 / 【▲】ボタンを押して[長期保管前メンテナンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 4 [全列]を選択して【OK】ボタンを押します。

SC-S80650/SC-S80650L (10 色モード) で、使用しない期間が 13 日以下のときには装着しているインクに応じて [WH] または [MS] を選択して【OK】ボタンを押します。

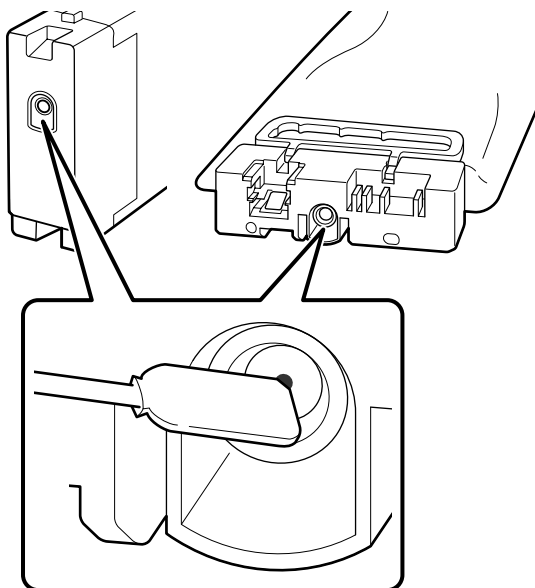
- 5 以降は、画面の指示に従ってカートリッジ/インクパックを差し替えます。

取り外したインクカートリッジ/インクパックは、インク供給孔部に付着しているインクを清掃してから保管してください。

清掃方法

下図の通り、付属のメンテナンスキットのクリーニング棒の角をインク供給孔の穴の部分に軽く当ててインクを吸着させます。インクを拭き取る必要はありません。

混色を防ぐために各色ごとに新しいクリーニング棒を使用してください。クリーニング棒は、強く押し当てたり動かしたりしないでください。



本機および取り外した使用途中のインクカートリッジ/インクパックは、以下の注意点を守って保管してください。

 「使用しないときのご注意」 19 ページ

 「インクカートリッジ/インクパック取り扱い上のご注意」 19 ページ

使用を再開するとき

！重要

使用を再開するときは、本機にインクを充填します。取り外したインクカートリッジ/インクパックを使用して充填するときは、念のためお手元に新品のインクカートリッジ/インクパックをご用意ください。

電源を入れて、画面の指示に従ってください。

再開後、初めて印刷するときは、ノズルチェックを行って目詰まりがないことを確認してください。

 「チェックパターンの印刷方法」 83 ページ

カラーモード切り替え (SC-S80650/ SC-S80650L のみ)

本機は、必要に応じて以下の通りカラーモードを切り替えられます。

- 10 色モード (WH) <= => 10 色モード (MS)
- 10 色モード (WH) <= => 9 色モード
- 10 色モード (MS) <= => 9 色モード

切り替え時の留意点

カラーモード切り替えにかかる時間や準備するものは、以下の通りです。

所要時間：最大約 1 時間

切り替えが完了するまでの所要時間は、現在のカラーモードによって異なります。

準備するもの：

- 使用する特色を変更するとき (WH <= => MS)
変更後の色のインクカートリッジ/インクパック 1
クリーニングカートリッジ/クリーニングインク
パック 1

参考

特色を変更するとき、色の混合を避けるためにインク流路内のインクを廃棄して洗浄液で流路内を洗浄してから変更後の特色に切り替えます。

- 9 色モードにするとき
クリーニングカートリッジ/クリーニングインク
パック 1
- 10 色モードにするとき
使用する色のインクカートリッジ/インクパック 1

！重要

セットしているクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパックや OR/WH/MS インクカートリッジ/インクパックの残量が少ないと、切り替え作業が実行できないことがあります。

- インクカートリッジ/インクパックの残量表示に  が表示された直後であれば実行できますが、 [インク量 限界値以下] のエラー状態になると実行できません。
- 残量が少ないときは、念のためお手元に新品のカートリッジ/インクパックを用意して作業を開始してください。

10 色 → 9 色切り替え時期の目安

WH/MS インクを使った印刷を下表の期間まったく行わないときは、9 色モードに変更すると WH/MS インクの消費を節約できます。

本機は、印刷以外にも自動インク循環などで定期的にインクを消費します。

おおよそ 3 ヶ月*以上使用しないとき

* 期間は、以下の使用条件を想定したときの目安です。

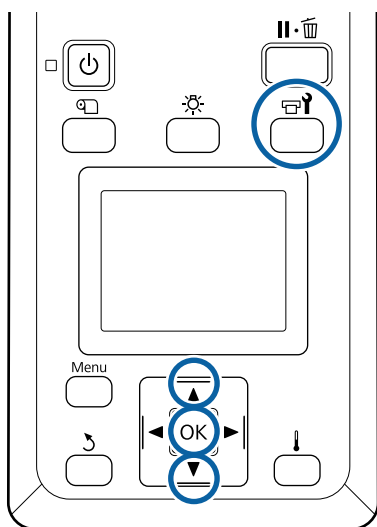
- 常時電源を入れたままで使用
- 1 ヶ月の稼働日：20 日間

！重要

特色インクを使用しない期間が、表に記載の期間より短いときは、モード切り替え時に消費するインク量の方が多くなるのでお勧めしません。

カラーモード切り替えの手順

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して【コピー】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【▲】ボタンを押して【その他のメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 3 【▼】 / 【▲】ボタンを押して【カラーモード切り替え】を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 4 【▼】 / 【▲】ボタンを押して任意のモードを選択し、【OK】ボタンを押します

以降は、画面の指示に従ってカートリッジ/インクパックの差し替えを行ってください。

取り外した使用途中のインクカートリッジ/インクパックは、以下の注意点を守って保管してください。

☞「インクカートリッジ/インクパック取り扱い上のご注意」19 ページ

前面カバー内側面の清掃

前面カバーの内側面は、インクミスト等で汚れます。汚れたまま使い続けると、内部が見えにくくなります。汚れたら以下の手順で清掃してください。

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

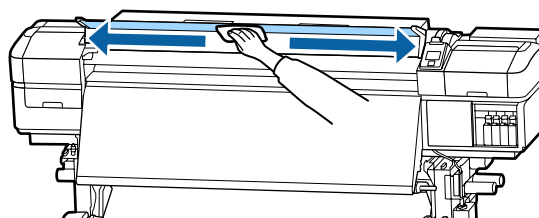
電源プラグは2つとも抜きます。

外付け乾燥ファン装着時は、外付け乾燥ファンの電源プラグも抜いてください。

- 2 電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

- 3 前面カバーを開けます。

- 4 水に浸してよく絞った柔らかい布で、前面カバー内側に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き取ります。



水拭きだけで落ちない汚れは、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭き取ってください。

加圧ローラーの清掃

加圧ローラーがインクミスト等で汚れたまま使い続けると、印刷時にローラー汚れが付くことがあります。ローラー汚れが付くときは以下の手順で清掃してください。

- 1 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

電源プラグは2つとも抜きます。

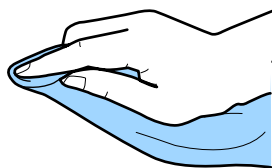
外付け乾燥ファン装着時は、外付け乾燥ファンの電源プラグも抜いてください。

- 2 電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

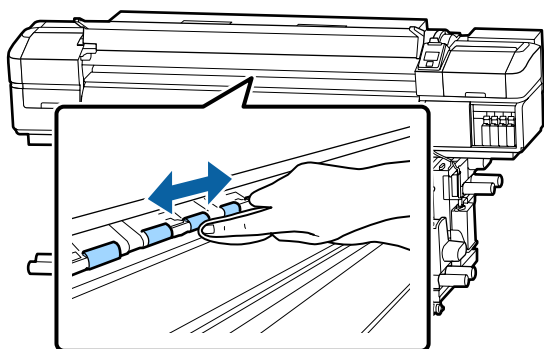
- 3 前面カバーを開けます。

- 4 メディアセットレバーを上げます。

- 5 水に浸してよく絞った柔らかい布を図のように指の上部にかからないように巻き付けます。

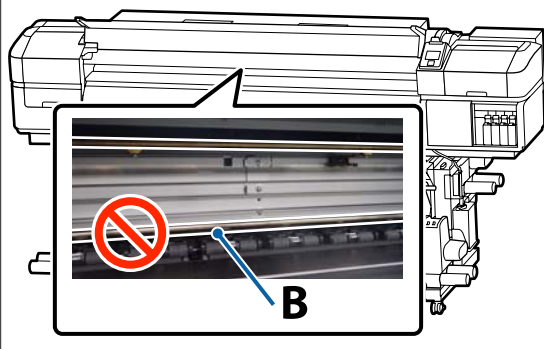


- 6 印刷時にローラー汚れが付く箇所の加圧ローラーの側面を布で拭き取ります。



！重要

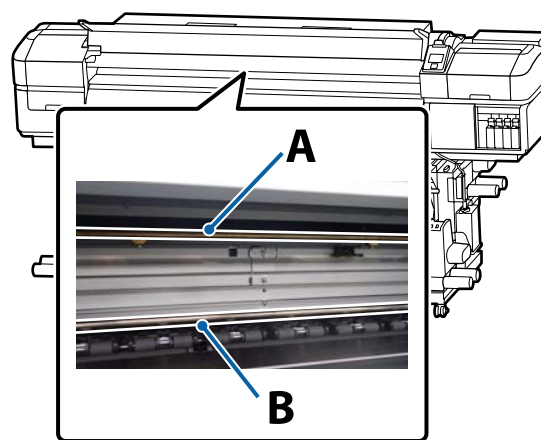
布や指が図の B の軸に触れないように拭いてください。
軸に布や指が触れると印刷時にエラーが生じることがあります。



キャリッジ軸へのグリスの塗布

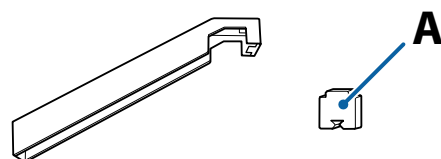
操作パネルの画面に「注油時期です。マニュアルを参照し専用のグリスを塗ってください」と表示されたときは、できるだけ早く以降の手順で、キャリッジ軸にグリスを塗ります。

キャリッジ軸の位置と使用パッド

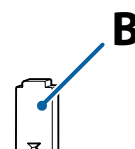


キャリッジ軸は、A 軸と B 軸の 2 本あります。本製品に付属の注油キットを使って両方の軸にグリスを塗ります。軸によって以下の通りグリスを塗布する用具が異なります。

キャリッジ軸 A



キャリッジ軸 B

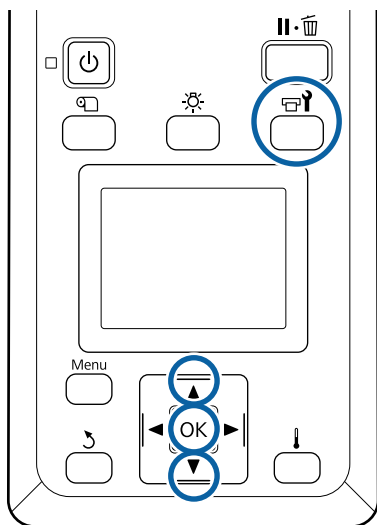


作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

🔗 [「作業時のご注意」62 ページ](#)

キャリッジ軸 A への注油手順

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認して【】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

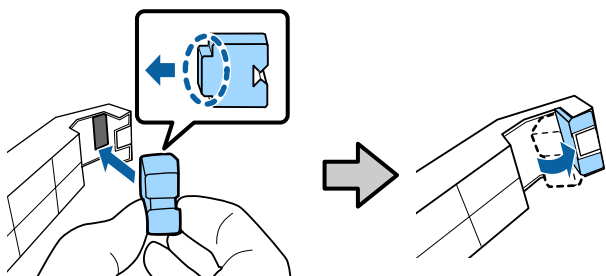
- 2 【】ボタンを押して【その他のメンテナンス】を選択し、【OK】ボタンを押します。

- 3 【】ボタンを押して【キャリッジ軸注油】を選択し、【OK】ボタンを押します。

「注油キットをお手元にご用意ください。続行しますか？」と表示されます。注油キットがあることを確認してください。

- 4 【】ボタンを押して【はい】を選択し、【OK】ボタンを押します。

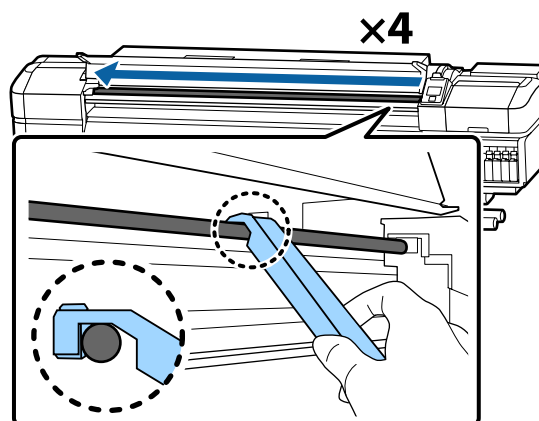
- 5 グリス注油ツールの四角い穴にパッド A（新品）の凸部を差し込み、しっかり押し込んで固定します。



- 6 前面カバーを開けます。

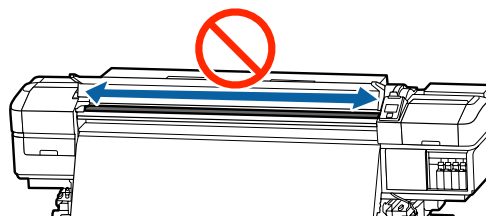
- 7 キャリッジ軸 A の裏側にツールのパッド部分をしっかりと当てて、軸の右端から左端に滑らせるように移動して汚れを拭き取ります。

この動作を 4 回繰り返します。



！重要

ツールは往復させないでください。
往復させるとプリントヘッド側にゴミが移動して故障の原因になります。



- 8 ツールから汚れたパッドを取り外します。

- 9 ツールに新品のパッド A を取り付けます。

- 10 新品のクリーニング棒でグリス容器内を 10 回程かき混ぜて、なじませます。

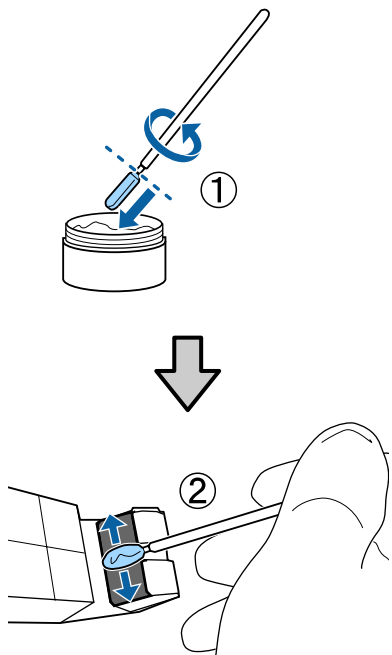
- 11 クリーニング棒の先端を容器のフチに押し付けて、余分なグリスを落とします。

！重要

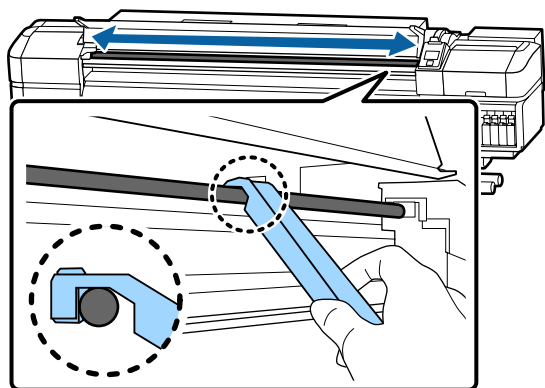
余分なグリスを落とさないと、プラテン上にグリスが落ちてメディアが汚れるおそれがあります。

12 以下の手順で、ツールに付けたパッドにクリーニング棒でグリスを塗り付けます。

- ① クリーニング棒の先端が全て隠れるまで容器に差し入れ、2～3回転させて引き上げると適量のグリスが付きます。
- ② ツールのパッド部分にグリスを塗り付けます。



13 手順 7 と同様にツールのパッド部分を当てて、2 往復してグリスを塗ります。

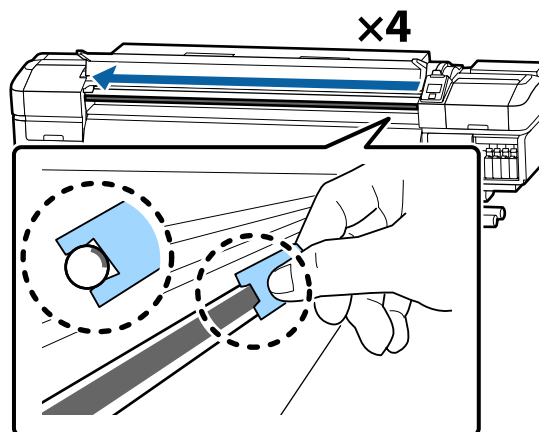


続いて、キャリッジ軸 B にグリスを塗ります。

キャリッジ軸 B への注油手順

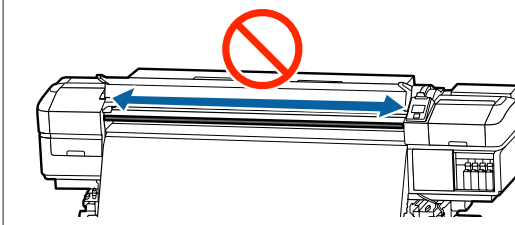
1 新品のパッド B を図のように軸のグレーの部分にしっかりと押し当てて、軸の右端から左端に滑らせるように移動して汚れを拭き取ります。

この動作を 4 回繰り返します。



！重要

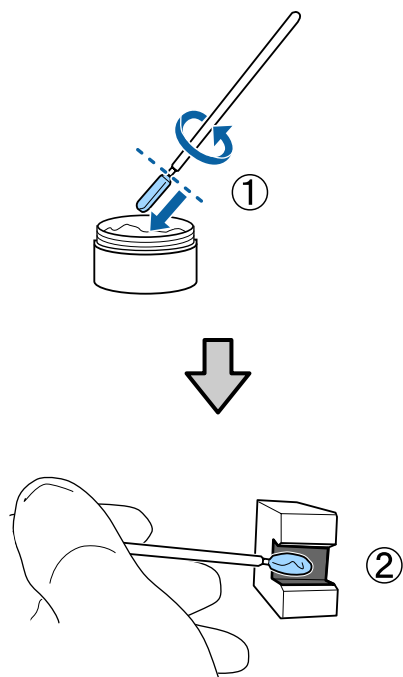
パッド B は往復させないでください。
往復させるとプリントヘッド側にゴミが移動して故障の原因になります。



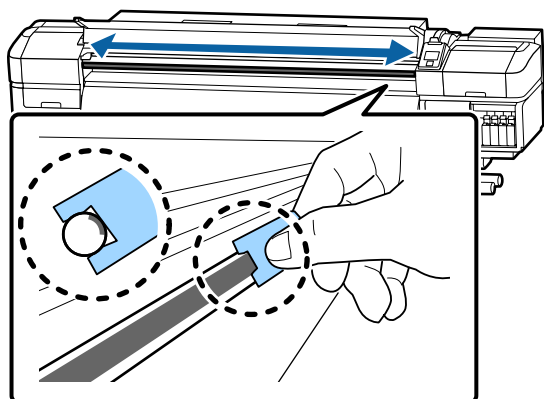
2 新品のパッド B に以下の手順でグリスを塗り付けます。

手順 1 で使用したパッド B を使い回さずに、必ず新品と交換してください。

- ① クリーニング棒の先端が全て隠れるまで容器に差し入れ、2～3回転させて引き上げると適量のグリスが付きます。
- ② 新品のパッド B にグリスを塗り付けます。



- 3** 手順 **1** と同様にパッド **B** を押し当てて、2 往復してグリスを塗ります。



- 4** 前面カバーを閉めて【OK】ボタンを押します。
キャリッジが往復します。

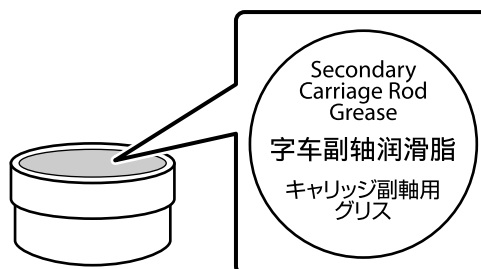
- 5** グリス注油ツールから汚れたパッドを取り外して、グリス注油ツールとグリスを一緒に保管します。

使用済みのパッド、クリーニング棒などグリス付着物の廃棄

🔗 [「使用済み消耗品の処分」82 ページ](#)

グリス保管時のご注意

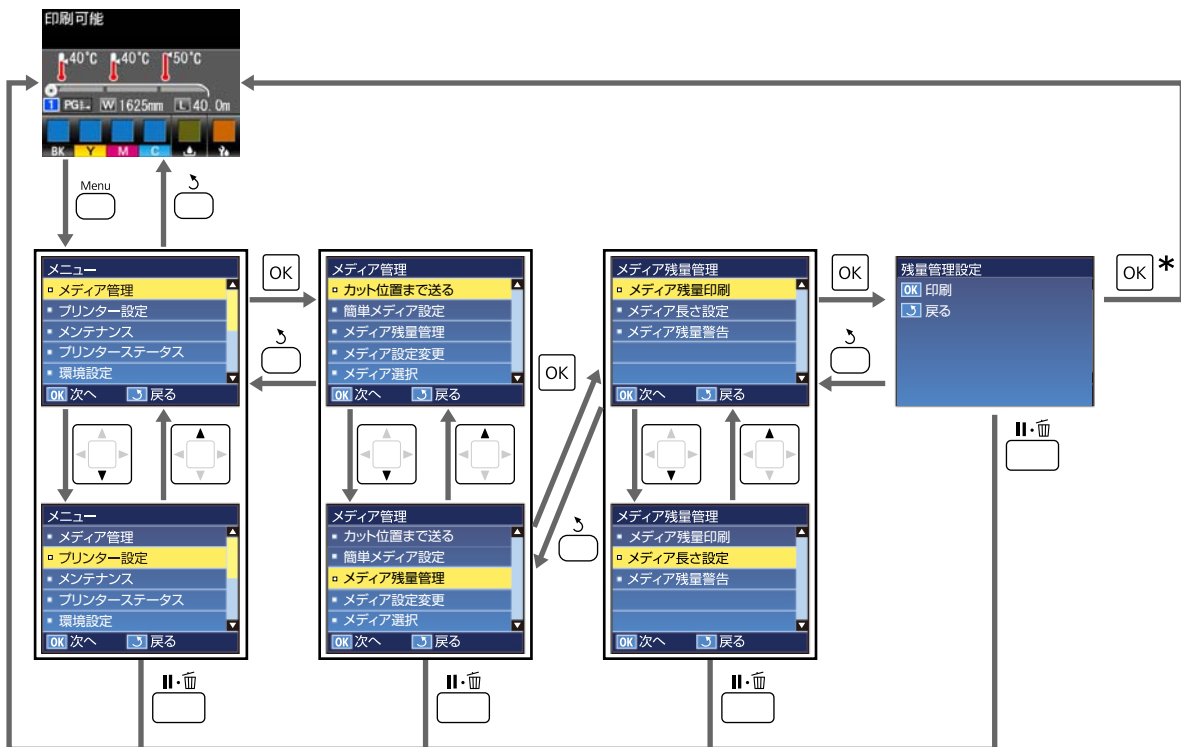
- 使用後は、グリスに異物が入らないように必ず蓋をしてください。
- 蓋を上に向けた状態で、直射日光を避けて常温で保管してください。



操作パネルのメニューの使い方

メニューの操作

メニューの操作は以下の通りです。



* 項目を選択して【OK】ボタンを押すと印刷や調整が実行される場合は、その処理が終了するとステータス表示画面に戻ります。

通常は、項目を選択して【OK】ボタンを押すと、選択を確定してひとつ前の画面に戻ります。

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

メディア管理

各項目の詳細 [🔗 「メディア管理メニュー」 100 ページ](#)

* 1 : SC-S80650L/SC-S60650L のみ対応

設定項目		設定値
カット位置まで送る		印刷終端をカッター溝まで送る
簡単メディア設定		新規メディア設定の簡単登録
メディア残量管理		
	メディア残量印刷	印刷
	メディア長さ設定	OFF、1.0 ～ 100.0m
	メディア残量警告	1～15m
メディア設定変更		
	現在の設定	
	1～30（メディア設定番号）	
	設定名の登録	22 文字以内（半角英数字・記号）
	メディアタイプ	のり付き塩ビ、ターポリン、フィルム、キャンバス、布、合成紙/その他
	メディア調整	
	自動	印刷
	手動	
	メディア送り調整	標準、500mm パターン印刷
	ギャップ調整	印刷
	高度な設定	
	ブラテンギャップ	1.6、2.0、2.5
	ヒーター/乾燥設定	
	ヒーター温度設定	プリヒーター/ブラテンヒーター：OFF、30℃～50℃ アフターヒーター：OFF、30℃～55℃
	パスごとの乾燥時間	0～10 秒
	印刷後の乾燥送り	モード 1、モード 2、OFF
	乾燥ファン設定	ON、OFF
	メディアテンション	Lv1、Lv2、Lv3、Lv4
	吸着力	0～10

操作パネルのメニューの使い方

設定項目				設定値			
			ヘッド移動量		データ幅、プリンター全幅		
			重ね描き回数		OFF、2～8 回		
			メディア送り速度制限		ON、OFF		
			加圧ローラー荷重		弱、中、強		
			斜行補正動作		ON、OFF		
			巻き取り動作*1		標準、強め		
			定期クリーニング頻度				
			自動				
			マニュアル設定				
				距離			
					長さを入力		1～100
					実行タイミング		ページ間、印刷中
					クリーニングレベル		弱、中、強
				ページ			
					ページ間隔		1～100
					クリーニングレベル		弱、中、強
		設定初期化				はい、いいえ	
メディア選択					1 ～ 30（メディア設定番号）		

プリンター設定

各項目の詳細  「プリンター設定メニュー」 104 ページ

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1：SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ対応

設定項目		設定値
余白設定		
	サイドマージン（右）	3～25mm
	サイドマージン（左）	3～25mm
印刷開始位置		0～800mm
メディア検出設定		
	メディア幅検出	ON、OFF
	メディア終端検出	ON、OFF
	斜行エラー検出	ON、OFF
メディア交換後の印刷動作		継続、打ち切り
ページ間ノズルチェック		
	OFF	-
	チェックパターン印刷	1～10
	自動ノズルチェック	1～10
照明設定		自動、手動
ヘッドモード*1		2 ヘッドモード、Head1、Head2
スリープモード移行時間		15～240 分
プリンター設定初期化		はい、いいえ

メンテナンス

各項目の詳細  「メンテナンスメニュー」106 ページ

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1：SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ対応、*2：SC-S80650/SC-S80650L のみ対応、

*3：SC-S60650/SC-S60650L のみ対応

設定項目		設定値
ノズルチェック		印刷 （設定項目に表示されるメニューは、[メディア幅検出] の設定やセットしているメディア幅によって異なります。）
	印刷位置（右）	
	印刷位置（中央）	
	印刷位置（左）	
クリーニング		
	クリーニング（弱）	全列クリーニング
	クリーニング（中）	全列クリーニング、Head1 *1、Head2 *1、クリーニングする列を選択
	クリーニング（強）	
ヘッドメンテナンス		
	自動ヘッドメンテナンス	実行
	定期清掃	ヘッド移動
廃インクボトル交換		-
メンテナンスパーツ交換		-
その他のメンテナンス		
	インク循環 *2	実行
	インクリフレッシュ *2	実行
	ヘッド洗浄	XX/XX、Head1 XX/XX *3、Head2 XX/XX *3、Head1 全列 *3、Head2 全列 *3、全列 （XX にはインク色の略号が表示されます。）
	長期保管前メンテナンス	WH *2、MS *2、全列
	カラーモード切り替え *2	9 色、10 色（WH）、10 色（MS）
	キャリッジ軸注油	はい、いいえ

プリンターステータス

メニューの詳細 [「プリンターステータスメニュー」 108 ページ](#)

*1：SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 のみ対応

設定項目		設定値
残量表示		
	インク	状態を表示
	廃インクボトル	
	ワイパーユニット	
プリンターステータスの印刷*1		印刷
ファームウェアバージョン		XXXXXXXX,X_XX,XXXX

環境設定

メニューの詳細 [「環境設定メニュー」 108 ページ](#)

*1：SC-S80650L/SC-S60650L のみ対応

設定項目		設定値
ネットワーク設定		
IP アドレス設定		
	自動	-
	パネル	IP:000.000.000.000 - 255.255.255.255 SM:000.000.000.000 - 255.255.255.255 DG:000.000.000.000 - 255.255.255.255
ネットワーク設定の印刷		印刷
ネットワーク設定初期化		はい、いいえ
表示設定		
日時設定		年/月/日 時:分
表示言語/Language		日本語, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Chinese
単位設定		
	長さ単位	m、ft/in
	温度単位	℃、F
警告ブザー設定		ON、ON（継続）*1、OFF
印刷完了ブザー *1		ON、OFF
アラートランプ設定		ON、OFF
全設定の初期化		はい、いいえ

設定メニューの説明

メディア管理メニュー

メディア管理メニューは、【】 ボタンを押して直接呼び出すことができます。

*はメーカー設定値です。

カット位置まで送る

印刷終端をカット溝まで送り出します。

簡単メディア設定

メディアのサイズやタイプに合わせて最適な印刷ができるように、ウィザード形式でメディア設定を簡単に素早く登録できます。

 [「新規にメディア設定を保存する」 43 ページ](#)

メディア残量管理

設定項目	設定値	説明
メディア残量印刷	印刷	セットされているメディアを別のメディアと交換するときは、[メディア残量印刷] を行い交換するメディアに残量を印刷しておく、次回そのメディアをセットした際にメディア長さの設定が確実にできて便利です。
メディア長さ設定	OFF、1.0 ～ 100.0m (30*)	セットしたメディアの全長を 1.0 ～ 100.0m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。[OFF] を選択すると、以下の残量管理は行われません。 • 操作パネルの画面にメディア残量を表示 • メディア残量警告のメッセージを表示
メディア残量警告	1～15m (5*)	メディアの残量がどのくらいになったら、警告を表示するか、その値を 1～15m の範囲で設定します。設定は 1m 単位で行えます。

メディア設定変更

設定項目	説明
現在の設定	現在選択しているメディア設定の内容を変更するときは、[現在の設定] を選択します。特定のメディア設定を変更するときは、対象のメディア設定番号を選択します。
1～30（メディア設定番号）	

メディア設定項目

各項目のメーカー設定値は、選択した [メディアタイプ] により異なります。メディアタイプごとのメーカー設定値の詳細は、以下をご覧ください。

[🔗「メディアタイプごとのメディア設定値一覧」125 ページ](#)

* 1：SC-S80650L/SC-S60650L のみ対応

設定項目		設定値	説明	
設定名の登録			保存するメディア設定に、半角英数字・記号 22 文字以内で名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。	
メディアタイプ		のり付き塩ビ	セットしたメディアに応じたメディアタイプを選択します。 本機は、メディアタイプに応じた最適なメディア設定値を保持しています。 メディアタイプを変更すると、現在のメディア設定番号に登録されている各メディア設定値が変更後のメディアタイプの値に変わります。	
		ターポリン		
		フィルム		
		キャンバス		
		布		
		合成紙/その他		
メディア調整			一旦メディア調整を行った以降に、次のような事態が生じたときに実行します。 • 自動メディア調整を行っても印刷結果にバンディングや粒状感が見られるとき。 • メディア設定を保存後に [高度な設定] を変更したとき。 調整の種類と実行手順  「 メディア設定の最適化（メディア調整） 」46 ページ [メディアタイプ] で [フィルム]、[キャンバス]、[布]、[合成紙/その他] を選択していると [自動] は表示されません。	
自動		印刷		
手動				
	メディア送り調整			
		標準		印刷
	500mm パターン印刷			印刷
	ギャップ調整			印刷
高度な設定				通常は、各メディアタイプごとに設定されている値のままお使いください。 特殊なメディアを使用するときや、印刷結果にヘッドこすれやバンディングのような問題が見られるときなどに設定を変更します。
	ブラテンギャップ	1.6	ブラテンギャップ（プリントヘッドとメディアの間隔）を変更します。 通常は、[1.6] のまま使用します。印刷結果がこすれて汚れるときは、2.0 に設定します。2.5 は、2.0 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。	
		2.0		
		2.5		

操作パネルのメニューの使い方

設定項目		設定値	説明	
ヒーター/乾燥設定				
ヒーター温度設定	ヒーター温度設定	プリヒーター/プラテンヒーター: OFF、30℃～50℃(40*) アフターヒーター: OFF、30℃～55℃(50*)	プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターそれぞれに対して温度設定ができます。	
		パスごとの乾燥時間	0～10 秒 (0*)	プリントヘッドの移動（パス）を停止させてインクの乾燥を補助するための時間を 0.0～10.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが起きるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。
		印刷後の乾燥送り	モード 1	印刷後、アフターヒーターの位置まで印刷終端部を送る（[モード 1]、[モード 2]）/ 送らない（[OFF]）を選択します。 [モード 1] にすると、次の印刷ジョブを受け付けたとき、乾燥のために送ったメディアを巻き戻さずに印刷します。メディアをカット後、次の印刷をするときに適しています。 [モード 2] にすると、次の印刷ジョブを受け付けたとき、乾燥のために送ったメディアを自動的に巻き戻してから印刷しますので、不要な余白が入りません。順次、続けて印刷するときに適しています。 [モード 2] にして使用している途中でメディアをカットするときは、【▲】ボタンを押し続けて印刷終端部をカッター溝まで戻してからカットしてください。メディアを戻さずにカットすると、次の印刷が正しく行われません。
			モード 2	
	OFF*			
	乾燥ファン設定	ON*	オプションの外付け乾燥ファンユニット（SC-S60650/SC-S60650L は標準）を装着しているときのみ表示されます。 外付け乾燥ファンユニットを動かす（[ON]）/停止（[OFF]）を選択します。本設定が [ON] になっていても、スリープモードになりヒーターが停止したときは、外付け乾燥ファンユニットも連動して停止します。ヒーターが復帰すると、外付け乾燥ファンユニットも復帰します。スリープモード  「 プリンター設定メニュー 」104 ページ	
		OFF		
	メディアテンション	Lv1	印刷中にメディアにしわが寄るときには、テンションを高めるように設定を変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。	
		Lv2		
		Lv3		
Lv4				
吸着力		0～10 (4*)	プラテン上でメディアが波打っているときには、[吸着力] を強くしてください。設定値を大きくするほど吸着力が強くなります。 薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには [吸着力] を弱くしてください。	
ヘッド移動量	データ幅*	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。 [データ幅] は、印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 [プリンター全幅] は、本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、こちらに設定します。		
	プリンター全幅			

操作パネルのメニューの使い方

設定項目		設定値	説明					
重ね描き回数		OFF *	1 行あたりの重ね描き回数を設定できます。 バックライトフィルムなどで高濃度印刷したいときは、回数を増やしてください。					
		2～8 回						
メディア送り速度制限		ON	通常は [OFF] のまま使用します。 薄いメディアを印刷中にメディアが張り付く、しわが寄る、破れるときは [ON] に設定します。 [ON] に設定すると、印刷速度がゆっくりになります。					
		OFF *						
加圧ローラー荷重		弱	印刷中に以下が発生したときは、加圧ローラー荷重を下げる方向（例: [中] → [弱]）に変更すると解消できることがあります。 • 加圧ローラー付近にしわが寄るとき。 • ヘッドこすれによる汚れが付くとき。 • メディアにローラーの跡が付くとき。					
		中						
		強						
斜行補正動作		ON	メディアセット時に本機が行う斜行補正動作を行う（ON）/行わない（OFF）を選択します。通常は、[ON] のまま使用します。斜行補正動作でメディアにローラーの痕が付くときは [OFF] に設定します。					
		OFF						
巻き取り動作* ¹		標準*	通常は [標準] のまま使用します。 帯電しやすいメディアを印刷中にメディアが張り付き、波打つなどして正しく巻き取れないときは [強め] に設定します。[強め] に設定しても改善されないときは、帯電しにくいメディアをお使いください。					
		強め						
定期クリーニング頻度								
	自動*		メディア設定に応じた最適なタイミングで定期的にヘッドクリーニングを行います。 印刷中に定期クリーニングのタイミングになったときは、印刷が終了してからヘッドクリーニングが行われます。					
	マニュアル設定		使用頻度に応じて頻度を設定するときは [マニュアル設定] を行います。					
	距離	印刷長で定期クリーニングの頻度を設定します。 [長さを入力] は、何メートル印刷したらヘッドクリーニングするかを設定します。 実行タイミングは、定期クリーニングのタイミングになったときに印刷中でもヘッドクリーニングを実施するかを設定します。 クリーニングレベルは、ヘッドクリーニングの強度を設定します。						
					長さを入力	1～100 (10*)		
						実行タイミング	ページ間*	
							印刷中	
					クリーニングレベル	弱*		
						中		
						強		
					ページ	印刷ページ数で定期クリーニングの頻度を設定します。 ページ間隔は、何ページ印刷し終わったらヘッドクリーニングするかを設定します。 クリーニングレベルは、ヘッドクリーニングの強度を設定します。		
	クリーニングレベル	弱*						
		中						
		強						
設定初期化		はい	[はい] を選択すると、選択したメディア設定の設定内容をメーカー設定値に戻します。					
		いいえ						

メディア選択

設定値	説明
1～30（メディア設定番号）	印刷で使用するメディア設定を選択します。 設定の新規登録は「簡単メディア設定」で行います。設定内容の変更は「メディア設定変更」で行います。

プリンター設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目や設定値の*1は、以下を示しています。

*1：SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ対応

設定項目	設定値	説明
余白設定		
サイドマージン（右）	3～25 mm（5*）	本機にメディアをセットしたときの、メディア右端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。  「印刷可能領域」55 ページ
	3～25 mm（5*）	
印刷開始位置	0～800mm（0*）	メディア幅の中央より印刷したいなど、[サイドマージン（右）] の設定値よりも左に寄せて印刷したいときなどに設定します。メディア右端から「印刷開始位置」で設定した値が余白となります。[サイドマージン（右）] を設定していると、そこからさらに「サイドマージン（右）」で設定した値が余白となります。詳細は以下をご覧ください。  「印刷可能領域」55 ページ
メディア検出設定		
メディア幅検出	ON*	メディア幅を検出する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。メディアを正しくセットしていても、[メディアサイズエラー] が表示されるときは [OFF] に設定して印刷してみてください。ただし、[OFF] で印刷するとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。通常は [ON] で使用することをお勧めします。
	OFF	
メディア終端検出	ON*	メディア終端を検出する（[ON]）/しない（[OFF]）を選択します。メディアを正しくセットしていても、[メディアなしエラー] が表示されるときは [OFF] に設定して印刷してみてください。通常は [ON] で使用することをお勧めします。
	OFF	
斜行エラー検出	ON*	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（[ON]）/中止せずに続行する（[OFF]）を選択します。斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は [ON] で使用することをお勧めします。
	OFF	
メディア交換後の印刷動作	継続*	印刷途中でメディアを交換したとき、交換後のメディアに残りのデータを印刷する（[継続]）/印刷しない（[打ち切り]）を選択します。
	打ち切り	

操作パネルのメニューの使い方

設定項目		設定値	説明
ページ間ノズルチェック			
	OFF	-	定期的にノズルチェックを行う方法を選択します。 【OFF】にするとページ間ノズルチェックは行いません。 【自動ノズルチェック】は、設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンを印刷しながらセンサーで読み取り、目詰まりがないかチェックします。目詰まりがなければ、印刷を継続します。 目詰まりを確認すると、自動的にヘッドクリーニングとチェックパターンの印刷を行い、目詰まりが解消されたかチェックします。この動作を 2 回繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷を継続するか確認するメッセージを表示します。 自動ノズルチェックは、以下のメディアや環境では実行できません。 - SC-S80650/SC-S80650L (10 色モード時) の WH/MS インクで印刷した部分。(その他の色に対しては実行できます) - 透明や色の付いたメディアをセットしているとき。 - 設定メニューの【プラテンギャップ】を [2.5] に設定しているとき。 - 直射日光が当たるなど外乱光を受けているとき。遮光して再度実行してください。 【チェックパターン印刷】は、設定したページ数の印刷が終了するたびに、チェックパターンの印刷を挟んで次ページを印刷します。全ての印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠けがないかを判断します。【自動ノズルチェック】が正しく働かないメディアを使用しているときや、【自動ノズルチェック】は時間がかかると感じるときに行います。
	チェックパターン印刷	1～10 (1*)	
	自動ノズルチェック	1～10 (1*)	
照明設定		自動*	前面カバー内にある照明の点灯/消灯を自動で行う (【自動】) /必要に応じてパネルのボタン操作で行う (【手動】) かを選択します。 【自動】は、印刷中など照明が必要な動作になると自動で点灯し、動作が終了すると消灯します。 【手動】は、操作パネルの【点灯/消灯】ボタンを押して点灯/消灯を操作します。点灯不可の動作中にボタンを押したときは、点灯可能になってから点灯します。
		手動	
ヘッドモード*1		2 ヘッドモード*	通常は [2 ヘッドモード] のまま使用します。 片方のプリントヘッドにノズルの目詰まりが発生し、ヘッドクリーニングを繰り返しても目詰まりが解消されないときなどに、目詰まりしていないプリントヘッドで印刷を継続できます。作業時間内は印刷を中断せずに、作業時間後に【ヘッド洗浄】などのメンテナンスを行うときなどに便利です。 【ノズルチェック】で印刷したチェックパターンを確認して、目詰まりしていない方のプリントヘッドを選択します。
		Head1	
		Head2	
スリープモード移行時間		15～240 分(15*)	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が続いたとき、スリープモードに移行します。スリープモードになると、全ヒーターがオフになり、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。オプションの外付け乾燥ファンユニット (SC-S60650 は標準) を装着しているときは、乾燥ファンが止まります。 操作パネルのボタン操作 (【⏻】ボタンを除く) をすると、操作パネルの画面表示が復帰します。ただし、この状態で何も操作しないと約 30 秒後に再び画面表示は消えます。完全にスリープモードが解除され通常の状態に復帰するのは、印刷ジョブを受信したり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。 スリープモードを解除して、すぐにヒーターの余熱を開始したいときは、【ヒーター】ボタンを押して【ヒーター予熱開始】を実行します。
プリンター設定初期化		はい	【はい】を選択すると、【プリンター設定】メニューの各設定値をメーカー設定値に戻します。
		いいえ	

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューは、【】 ボタンを押して直接呼び出すことができます。

設定項目や設定値の *X は、以下を示しています。

*1：SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ対応、*2：SC-S80650/SC-S80650L のみ対応、

*3：SC-S60650/SC-S60650L のみ対応

設定項目	設定値	説明
ノズルチェック	印刷	チェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かすれや欠けがあるときはヘッドクリーニングを行います。  「チェックパターンの印刷方法」 83 ページ 設定項目に表示されるメニューは、[メディア幅検出] の設定やセットしているメディア幅によって異なります。
印刷位置 (右)		
印刷位置 (中央)		
印刷位置 (左)		
クリーニング		
クリーニング(弱)	全列クリーニング	ヘッドクリーニングのレベルを、3 種類から設定できます。最初は、[クリーニング (弱)] を行います。[クリーニング (弱)] を行っても、目詰まりが解消されないときは、[クリーニング (中)] 続いて [クリーニング (強)] を行います。 [クリーニング (中)] または [クリーニング (強)] 選択時は、チェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、全列またはその番号が含まれているノズル列を指定してヘッドクリーニングできます。 SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L は、印刷されたチェックパターンを確認したとき、一方のプリントヘッドにだけかすれや欠けがあるときは、該当するヘッドを選択してクリーニングを実施できます。  「ヘッドクリーニング」 84 ページ
クリーニング(中) クリーニング(強)	全列クリーニング	
	Head1 *1	
	Head2 *1	
	クリーニングする列を選択	
ヘッドメンテナンス	自動ヘッドメンテナンス	操作パネルの画面に、[【  】 ボタンを押してヘッドメンテナンスを行ってください。] と表示されたときは、[定期清掃] を選択して清掃を行います。  「定期清掃の仕方」 63 ページ ヘッドクリーニングを行っても、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちが解消されないときは、[自動ヘッドメンテナンス] を行います。  「操作ガイド」 (冊子/PDF)
	定期清掃	
廃インクボトル交換	-	操作パネルの画面に、廃インクボトルの交換時期を示すメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときに選択します。
メンテナンスパーツ交換	-	メッセージが表示される前にメンテナンスパーツを交換するときは、このメニューから行います。
その他のメンテナンス		
インク循環 *2	実行	プリントヘッドやチューブ内の MH/MS インクの循環を行います。 一括して複数部数の印刷をするときは、ページ間で自動インク循環が行われることがあります。この場合、循環の前後で色味が異なって見えたり、印刷完了までに時間を要したりします。自動インク循環で印刷が中断されるのを回避したいときは、本メニューを実行してから印刷を開始してください。
インクリフレッシュ *2	実行	印刷結果に濃淡ムラ（濃さが不均一な部分）が見られるときに実施してください。

操作パネルのメニューの使い方

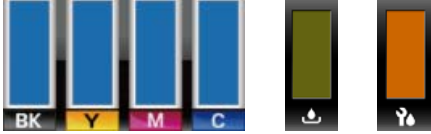
設定項目	設定値	説明
ヘッド洗浄	XX/XX、Head1 XX/XX* ³ 、Head2 XX/XX* ³ 、Head1 全列* ³ 、Head2 全列* ³ 、全列 (XX にはインク色の略号が表示されます。)	ヘッドクリーニングを数回行い、自動ヘッドメンテナンスやプリントヘッド周辺の清掃を行ってもノズルの目詰まりが解消されないときに実施してください。 ノズルチェックパターンでかすれや欠けが見られる色を確認して、以下の通り洗浄する箇所を選択します。 〔XX/XX〕:XX にはインク色の略号が表記されます。特定の色だけに、かすれや欠けが見られるとき対象の色を選択します。 〔全列〕:全体的に、かすれや欠けが見られるときに選択します。 SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L をお使いのときは、以下も選択できます。 〔Head1 XX/XX〕 / 〔Head2 XX/XX〕:片方のヘッドの特定の色だけに、かすれや欠けが見られるとき対象のヘッドと色を選択します。 〔Head1 全列〕 / 〔Head2 全列〕:片方のヘッドが全体的にかすれや欠けが見られるときに対象のヘッドを選択します。 ヘッド洗浄では、別売のクリーニングカートリッジ/クリーニングインクパックを以下の通り使用します。 • 〔XX/XX〕 選択時:2 • 〔全列〕 選択時: - SC-S80650/SC-S80650L (10 色モード時):10 - SC-S80650/SC-S80650L (9 色モード時) :9 - SC-S60650/SC-S60650L:8 - SC-S40650:4 • 〔Head1 全列〕 / 〔Head2 全列〕 選択時:4
長期保管前メンテナンス	WH* ²	本機を 1 ヶ月以上使用しない（電源を切る）ときは、事前に必ず実施してください。 詳細は以下をご覧ください。  「長期間保管するときの事前メンテナンス」 86 ページ
	MS* ²	
	全列	
カラーモード切り替え* ²	9 色	現在選択しているモードによって、表示される項目が異なります。 WH インクから MS インク、その逆と使用する特色インクを切り替えられます。WH/MS インクを使った印刷を一定期間以上まったく行わないときは、9 色に変更すると WH/MS インクの消費を節約できます。 実行条件や手順など詳細は、以下をご覧ください。  「カラーモード切り替え (SC-S80650/SC-S80650L のみ)」 88 ページ
	10 色 (WH)	
	10 色 (MS)	
キャリッジ軸注油	はい	操作パネルの画面に「注油時期です。マニュアルを参照し専用のグリスを塗ってください」と表示されたときは、[はい] を選択して注油してください。  「キャリッジ軸へのグリスの塗布」 90 ページ
	いいえ	

プリンターステータスメニュー

本機の使用状況や設定状況を管理するのにご利用ください。

設定項目や設定値の*1は、以下を示しています。

*1：SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 のみ対応

設定項目	設定値	説明
残量表示	インク	選択した項目の現在の残量をアイコンで表示します。 
	廃インクボトル	
	ワイパーユニット	
プリンターステータスの印刷*1	印刷	現在の本機の設定状態や定期交換部品の状態を一覧で印刷します。個々の情報を一括して確認でき、定期交換部品の交換時期の予測にも役立ちます。
ファームウェアバージョン	XXXXXXXX,X_XX,XXXX	本機のファームウェアバージョンを表示します。

環境設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目や設定値の*1は、以下を示しています。

*1：SC-S80650L/SC-S60650L のみ対応

設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定		
IP アドレス設定		
自動 パネル	自動	IP アドレスの設定を DHCP を使用して行う（[自動]）/手動で行う（[パネル]）を選択します。[パネル] では、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。それぞれの値は、システム管理者にお尋ねください。
	-	
	IP: XXX.XXX.XXX.XXX	
	SM: XXX.XXX.XXX.XXX	
ネットワーク設定の印刷	印刷	現在のネットワーク設定の一覧を印刷します。ネットワーク設定の個々の情報を一括して確認できます。
	いいえ	
ネットワーク設定初期化	はい	[はい] を選択すると、ネットワーク設定メニューの各設定値をメーカー設定値に戻します。
	いいえ	

操作パネルのメニューの使い方

設定項目		設定値	説明
表示設定			
日時設定		年/月/日 時:分	内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時間は、ジョブ履歴やプリンタステータスの印刷時に使用されます。
表示言語/Language		日本語*	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
		English	
		French	
		Italian	
		German	
		Portuguese	
		Spanish	
		Dutch	
		Russian	
		Korean	
		Chinese	
単位設定			
	長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
		ft/in	
	温度単位	℃*	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
		F	
警告ブザー設定		ON*	お使いの機種により選択できる項目が異なります。 SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 エラーが発生したときに、ブザー音を鳴らす（[ON]）/鳴らさない（[OFF]）を設定します。 SC-S80650L/SC-S60650L エラーが発生したときに、ブザー音を一定時間鳴らす（[ON]）/ブザー音を鳴らし続ける（[ON（継続）]）/鳴らさない（[OFF]）を設定します。
		ON（継続）*、*1	
		OFF	
印刷完了ブザー *1		ON	印刷完了時に通知のためにブザーを鳴らす（[ON]）/鳴らさない（[OFF]）を選択します。
		OFF*	
アラートランプ設定		ON*	エラーが発生したときに、大型アラートランプを点灯する（[ON]）/点灯しない（[OFF]）を設定します。
		OFF	
全設定初期化		はい	【はい】を選択すると、[表示設定] の各項目を除く環境設定メニューの全設定をメーカー設定値に戻します。
		いいえ	

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
空の廃インクボトルを準備してください。	廃インクボトルの空き容量が残り少なくなりました。新しい廃インクボトルを用意してください。 ☞ 「消耗品とオプション」 119 ページ
インクカートリッジエラー 正しく認識できません。インクカートリッジをセットし直すか、交換してください。	- インクカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいインクカートリッジと交換してください（不良インクカートリッジは取り付けないでください）。 - 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞ 「インクカートリッジ/インクパック取り扱い上のご注意」 19 ページ
インクカートリッジエラー 正しく検出できません。インクカートリッジをセットし直すか、交換してください。	
インクカートリッジエラー クリーニングカートリッジを交換してください。	
インクカートリッジエラー クリーニングカートリッジを交換してください。	- クリーニングカートリッジをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいクリーニングカートリッジと交換してください（不良クリーニングカートリッジは取り付けないでください）。 - 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞ 「交換方法」 70 ページ
インクパックエラー 正しく認識できません。インクパックをセットし直すか、交換してください。	- トレイを引き出してインクパックをセットし直してください。トレイをインクユニットに装着しても同じエラーが発生するときは、新しいインクパックと交換してください（不良インクパックのおそれがあります）。 - 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞ 「インクカートリッジ/インクパック取り扱い上のご注意」 19 ページ
インクパックエラー 正しく検出できません。インクパックをセットし直すか、交換してください。	
インクパックエラー クリーニングインクパックを交換してください。	
インクパックエラー クリーニングインクパックを交換してください。	- トレイを引き出してクリーニングインクパックをセットし直してください。トレイをインクユニットに装着しても同じエラーが発生するときは、新しいクリーニングインクパックと交換してください（不良クリーニングインクパックのおそれがあります）。 - 結露している可能性があります。4 時間以上室温で放置してから装着し直してください。 ☞ 「交換方法」 80 ページ
インクが少なくなりました。	インクが残り少なくなりました。新しいインクカートリッジ/インクパックを用意してください。 ☞ 「消耗品とオプション」 119 ページ
ウォーミングアップ中 OK で強制印刷をします。	ヒーターの温度が設定した温度に達していないため、ウォーミングアップしています。ヒーター温度が低くても印刷を開始するときは【OK】ボタンを押してください。
コマンドエラー RIP の設定を確認してください。	【⏏】ボタンを押して【ジョブキャンセル】を行います。インストールされているソフトウェア RIP が本機に適用しているか確認してください。
ノズル目詰まり検出 クリーニングをお勧めします。	印刷結果を確認いただき、目詰まりの度合いが問題であれば、印刷を中止してヘッドクリーニングを行ってください。 ☞ 「ヘッドクリーニング」 84 ページ

困ったときは

メッセージ	対処方法
ファームウェア アップデート エラー アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 Epson Edge Dashboard*で、再びファームウェアをアップデートしてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。 * バージョン 1.5 以前の名称は [Epson Control Dashboard]
ヘッドの寿命が近づいています。	プリントヘッドの交換時期が近づきました。 お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。
巻取りユニットが停止しました。	自動巻取りユニットに正しくメディアが取り付けられていません。 【H・M】ボタンを押して [ジョブキャンセル] を選択して印刷を中止してください。 自動巻取りユニットの Auto スイッチを一旦 Off にしてから、元の設定に戻して、自動巻取りユニットにメディアを取り付けてください。 🔗 「外巻きでの巻き取り方」 36 ページ 🔗 「内巻きでの巻き取り方」 39 ページ
メディアサイズエラー 正しいサイズのメディアをセットしてください。	不適切な幅のメディアをセットしました。メディアセットレバーを上げて、メディアを取り除いてください。 本機で使用可能な最小メディア幅は 300mm です。それ以上の幅のメディアをセットしてください。 適切な幅のメディアをセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示されるときは、設定メニューの [メディア幅検出] を [OFF] にすると印刷を実行できることがあります。 🔗 「プリンター設定メニュー」 104 ページ
メディア読み取りエラー メディアまたはセンサーに問題があります。 エラーの対処はマニュアルをご覧ください。 メディア読み取りエラー エラーの対処はマニュアルをご覧ください。 手動調整を実行しますか？	【H・M】ボタンを押すと、エラーが解除されます。 簡単メディア設定の自動メディア調整や [自動ノズルチェック]、[メディア調整] の自動メニューは、以下のメディアや設定、環境では実行できません。 - 透明や色のついたメディア - 表面が凸凹したメディア - にじみが多いメディア - メディア設定で [プラテンギャップ設定] を [2.5] に設定している。 - 直射日光が当たるなど外乱光の影響を受ける場所で本機を使用している。 このようなときは、手動メニューを実行してください。 自動メディア調整、[メディア調整] 実行時: 🔗 「メディア設定の最適化 (メディア調整)」 46 ページ [自動ノズルチェック] 実行時: 🔗 「チェックパターンの印刷方法」 83 ページ 外乱光の影響を受けているときは、遮光して再度実行すると成功することがあります。遮光しても実行できなかったときは、手動メニューを実行してください。 簡単メディア設定やメディア調整の自動メニュー実行時で上記に該当しないときは、こんなときには (オンラインマニュアル) をご覧ください。
ロール巻き仕様設定エラー メディアセットレバーをセットし直して、ロール巻き仕様設定をメディアの仕様に合わせて変更してください。	メディアセット時に設定した [ロール巻き仕様設定] は、実際の巻き仕様と一致していますか？ メディアセットレバーを上げるとエラーが解除されます。再度メディアセットレバーを下げ、本機の画面の指示に従って [ロール巻き仕様設定] を正しく設定し直してください。
🔧 ボタンを押してヘッドメンテナンスを行ってください。	1 ヶ月以上定期清掃を行わないと、このメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、インクのボタ落ちやノズルの目詰まりが発生したり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。 🔗 「定期清掃の仕方」 63 ページ
3層印刷は2ヘッドモードでのみ実行できます。	SC-S80650/SC-S80650L/SC-S60650/SC-S60650L のみ 1 ヘッドモードに設定していると 3 層印刷は行えません。2 ヘッドモードに設定してから 3 層印刷をやり直してください。 ヘッドモードの変更 🔗 「プリンター設定メニュー」 104 ページ

メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達 XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」132 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、サービスコールが発生します。
サービスコール XXXX 系エラー XXXX 電源を入れ直しても復帰しないときは、上記 番号をサービスコールセンターに連絡してく ださい。	サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。 • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき サービスコールが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のサービスコールが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXX」（サービスコール番号）を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」132 ページ

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

- **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**

差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。

- **電源コンセントに問題がありませんか？**

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

- **ケーブルが外れていませんか？**

プリンター側のコネクタとコンピューター側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

- **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

🔗 [「仕様一覧」128 ページ](#)

- **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB ポートに USB ケーブルを直接接続してください。

- **USB ハブが正しく認識されていますか？**

コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

- **ネットワークの設定は正しいですか？**

ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

- **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**

USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。

プリンター側でエラーが発生している

- **操作パネルのランプ表示と画面のメッセージで確認します。**

🔗 [「操作パネル」13 ページ](#)

🔗 [「メッセージが表示されたとき」110 ページ](#)

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

- **本機の動作確認をしてください。**

チェックパターンを印刷してください。チェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。

🔗 [「チェックパターンの印刷方法」83 ページ](#)

チェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

- **操作パネルの画面に【インク循環中】と表示されていませんか？**

プリントヘッドやチューブ内で特色インクが沈降するのを防ぐために、本機が自動インク循環を行っています。画面左下に【中止】と表示されているときは、**[⏏]** ボタンを押すと循環をキャンセルできます。ただし、インク循環が不可欠なタイミングではキャンセルできません。

🔗 [「WH/MS インク使用時のご注意（SC-S80650/SC-S80650L）」21 ページ](#)

チェックパターンが正常に印刷できない

- **ヘッドクリーニングを行ってください。**
ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングを行ってから再度チェックパターンを印刷してください。
📖 [「ヘッドクリーニング」84 ページ](#)

- **本機を長期間使用していなかったのではありますか？**
本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。本機を長期間使用しなかったときの処置 📖 [「使用しないときのご注意」19 ページ](#)

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い/粒状感が目立つ/色みが異なる

- **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？**
プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。チェックパターンを印刷してみてください。
📖 [「チェックパターンの印刷方法」83 ページ](#)

- **ギャップ調整をしてください。**
プリントヘッドとメディアの間には、わずかな距離があるため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性力、プリントヘッドの移動方向の違い（右から左と左から右）、2つのプリントヘッド使用（SC-S40650 以外）などによって、各インクの着弾位置が合わなくなることがあります。その結果、粒状感が目立ったりピントのズレが生じたような印刷結果になることがあります。メディア設定の [メディア調整] - [ギャップ調整] を行って印刷時のプリントヘッドのズレを調整してください。
📖 [「ギャップ調整」48 ページ](#)

- **メディア送り調整をしてください。**
メディア送り量が大きすぎると、印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生します。メディア設定の [メディア調整] - [メディア送り調整] を行って使用するメディアに応じた調整を行ってください。
📖 [「メディア送り調整」47 ページ](#)

- **インクカートリッジ/インクパックは推奨品（当社純正品）を使用していますか？**

本機は、純正インクカートリッジ/インクパックの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクカートリッジ/インクパックを使用してください。

- **古くなったインクカートリッジ/インクパックを使用していないですか？**

古くなったインクカートリッジ/インクパックを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジ/インクパックに交換してください。インクカートリッジ/インクパックは、個装箱に記載された推奨使用期限か、インクカートリッジの袋を開封した日または、インクパックをトレイに装着した日から6ヵ月のうち早いほうの期限までに使い切ってください。

- **ヒーターの温度は適切ですか？**

印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりするときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄ったり、変質したりします。
なお、室温が低いとヒーターが設定温度まで達するのに時間がかかることがあります。また、ヒーターは温まっても、メディアが冷えずぎっているとヒーターの効果がでないことがあります。メディアを室温になじませてから使用してください。

- **メディア選択は正しいですか？**

ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

- **【ヘッド移動量】を【データ幅】に設定して印刷していませんか？**

設定メニューで [ヘッド移動量] を [データ幅] に設定すると、速度と引き替えに印刷品質が多少低下することがあります。より高品質な印刷を行うときは、[ヘッド移動量] を [プリンター全幅] に設定してください。
📖 [「プリンター設定メニュー」104 ページ](#)

- **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？**

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

- **印刷中にカバーを開けませんでしたか？**

印刷中に前面カバーやメンテナンスカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために濃淡ムラが発生します。印刷中はカバーを開けないでください。

- **WH/MS インクカートリッジ、または WH/MS インクパックをかくはんしてください。**

SC-S80650/SC-S80650L を 10 色モードでお使いのときは、WH/MS インクが沈降（成分が液の底に沈んでたまること）している可能性があります。インクカートリッジまたはトレイを取り出してよく振ってから、[インク循環] を数回実施してください。

インクカートリッジの振り方 [☞ 「かくはんの方法」 69 ページ](#)

インクパックの振り方 [☞ 「かくはんの方法」 71 ページ](#)

インク循環 [☞ 「メンテナンスメニュー」 106 ページ](#)

それでも改善されないときは、[インクリフレッシュ] を実施してください。

[☞ 「メンテナンスメニュー」 106 ページ](#)

印刷位置がずれる/はみ出す

- **メディアのセット位置やマージンの設定は正しいですか？**

メディアを正しくセットしていないと印刷位置がずれたり、データの一部が印刷されなかったりします。また、設定メニューの [サイドマージン] や [印刷開始位置] の設定が適切かを確認してください。

[☞ 「メディアのセット方法」 28 ページ](#)

[☞ 「プリンター設定メニュー」 104 ページ](#)

- **メディアが斜行していませんか？**

設定メニューの [斜行エラー検出] が [OFF] になっているとメディアが斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。設定メニューで [斜行エラー検出] を [ON] に設定してください。

[☞ 「プリンター設定メニュー」 104 ページ](#)

- **印刷データはメディア幅に納まっていますか？**

印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、設定メニューの [メディア幅検出] が [OFF] になっているとメディア幅を超えて印刷してしまいます。設定メニューで [メディア幅検出] を [ON] に設定してください。

[☞ 「プリンター設定メニュー」 104 ページ](#)

罫線が左右にガタガタになる

- **メディアが波打っていませんか？**

メディアによっては使用環境（温度や湿度）により、本機にセットしたままにしていると波打つことがあります。メディアが波打ったときは、操作パネルの【▼】ボタンを押してメディアを送り、波打っている部分避けて印刷してください。メディアが波打つのを避けるために、温度と湿度を下げることをお勧めします。

- **プリントヘッドにズレ（ギャップ）が生じていませんか？**

プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。縦の罫線がずれるときは、メディア設定の [メディア調整] - [ギャップ調整] を行って印刷時のプリントヘッドのズレを調整してください。

[☞ 「ギャップ調整」 48 ページ](#)

メディアのトラブル

メディア詰まりが起きる

- **メディアにカールや折れ、曲がり、しわ、波打ちが見られませんか？**

カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットし、取り除いてお使いください。

[☞ 「メディアのカット」 50 ページ](#)

- **メディアは、印刷直前にセットしましたか？**

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加圧ローラーの跡が付いたり、メディアが波打ったり、反ったりします。

- **メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**

・本機で利用できる仕様のメディアが確認してください。

[☞ 「使用可能なメディア」 122 ページ](#)

・ソフトウェア RIP を使用して印刷するときの設定方法は、RIP の製造元にお問い合わせください。

メディアが終了しても印刷が停止しない

- **本機がメディア終了を検知する設定項目が [OFF] になっていませんか？**

プリンター設定メニューの [メディア終端検出] の設定を [OFF] にしていると、メディアの終了を検知できません。

[☞ 「プリンター設定メニュー」 104 ページ](#)

詰まったメディアの取り除き方

以下の手順で詰まったメディアを取り除いてください。

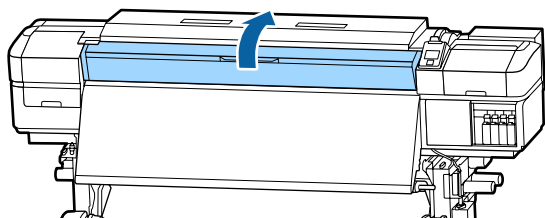
⚠ 注意

前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

1 本機の電源を切ります。

画面にメッセージが表示され、電源が切れないときは電源プラグを2つとも、コンセントから抜いてください。

2 前面カバーを開けます。

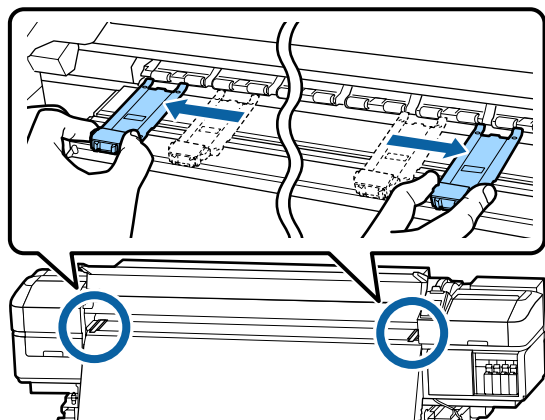


3 メディア押さえ板のツマミを両側から押さながらプラテンの左右両端へ移動します。

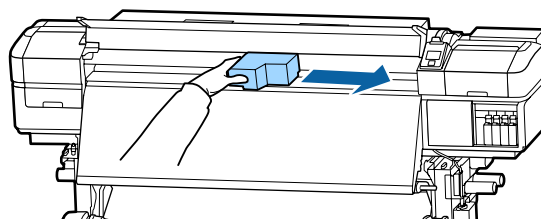
!重要

メディア押さえ板が変形したときは、本機の使用を停止してください。メディア押さえ板が変形したまま使い続けると、加圧ローラーやプリントヘッドが損傷する原因となります。お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。

📞「お問い合わせ先」132 ページ



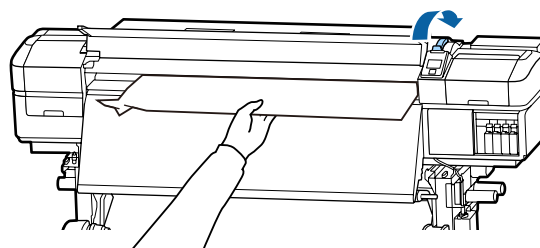
4 プリントヘッドがメディア上にあるときは、メディアが詰まっていない方に移動します。



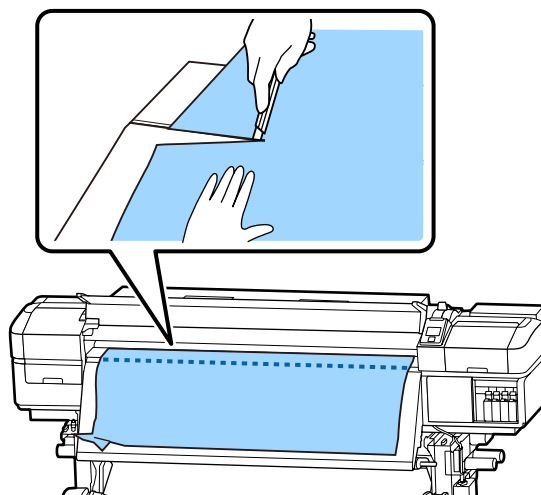
!重要

プリントヘッドは、必ずメディア押さえ板を退避させてから移動してください。変形したメディア押さえ板にプリントヘッドが触れると、プリントヘッドが損傷することがあります。

5 メディアセットレバーを上げます。



6 メディアをカッター溝まで引き出し、破れたりしわになっている部分をカッターでカットします。



7 切り離れたメディアを手で巻き戻します。

8 メディアの一部がプリンター内に残っているときは、取り除きます。

9 本機の電源を入れます。

！重要

電源を切った状態で放置すると、プリントヘッドがキャッピングされていないために乾燥して目詰まりを起こし、印刷再開時に正しく印刷できません。
電源を入れると、自動的にキャッピングが行われます。

メディアをセットし直して印刷を再開してください。

🔗 [「メディアのセット方法」28 ページ](#)

印刷開始時にメディアが外れてしまう

- **【印刷後の乾燥送り】を【モード 2】に設定し、メディアを途中でカットしていませんか？**

印刷終了後のメディアをそのままの位置でカットすると、次回の印刷開始時にメディアが巻き戻されて加圧ローラーから外れるため正しく印刷できません。
印刷終了後にカットするときは、【▲】ボタンを押し続けて印刷終端部をカッター溝まで戻してからカットしてください。

その他

自動的にヒーターが OFF になったりオプションの外付け乾燥ファンユニットが止まる

- 本機にエラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信が何も行われない状態が続いたときは、プリヒーター、プラテンヒーター、アフターヒーターがオフになります。ヒーターを OFF に移行するまでの時間は、設定メニューの【スリープモード移行時間】で変更できます。🔗 [「プリンター設定メニュー」104 ページ](#)
印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターは復帰します。
なお外付け乾燥ファンユニットは、SC-S60650/SC-S60650L には標準で装備しています。

操作パネルの画面表示が消える

- **スリープモードになっていませんか？**

設定メニューの【スリープモード移行時間】で設定している時間を超えて本機で作業しないとスリープモードになります。スリープモードに移行する時間はプリンター設定メニューで変更できます。

🔗 [「プリンター設定メニュー」104 ページ](#)

印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとヒーターが復帰し、連動してスリープモードも解除されます。

ネットワーク設定保護のパスワードを忘れた

- **エプソンサービスコールセンターにご相談ください。**

🔗 [「お問い合わせ先」132 ページ](#)

本体内部が赤く光っている

- **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消できることがあります。

エプソンのホームページの Q&A

エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

ファームウェアのアップデートは Epson Edge Dashboard* で簡単に行えます。詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

* バージョン 1.5 以前の名称は [Epson Control Dashboard]

トラブルが解消されないときは

オンラインマニュアルの「こんなときには」や本書の「困ったときは」やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

🔗 [「サービス・サポートのご案内」130 ページ](#)

付録

消耗品とオプション

最新の情報は、エプソンのホームページ（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。（2019 年 6 月現在）

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジ/インクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジ

SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 用

プリンター型番	商品名		型番
SC-S80650	インクカートリッジ	ブラック	SC10BK70
		シアン	SC10C70
		マゼンタ	SC10M70
		イエロー	SC10Y70
		ライトシアン	SC10LC70
		ライトマゼンタ	SC10LM70
		グレー	SC10GY70
		オレンジ	SC10OR70
		レッド	SC10R70
		ホワイト	SC10WW60
		メタリックシルバー	SC10MT35
SC-S60650/SC-S40650	インクカートリッジ	ブラック	SC10BK70
		シアン	SC10C70
		マゼンタ	SC10M70
		イエロー	SC10Y70

インクパック

SC-S80650L/SC-S60650L 用

プリンター型番	商品名		型番
SC-S80650L	インクパック	ブラック	SC19BKL
		シアン	SC19CL
		マゼンタ	SC19ML
		イエロー	SC19YL
		ライトシアン	SC19LCL
		ライトマゼンタ	SC19LML
		グレー	SC19GYL
		オレンジ	SC19ORL
		レッド	SC19RL
		ホワイト	SC19WWL
		メタリックシルバー	SC19MTL
SC-S60650L	インクパック	ブラック	SC19BKL
		シアン	SC19CL
		マゼンタ	SC19ML
		イエロー	SC19YL

メンテナンス用品

SC-S80650/SC-S60650/SC-S40650 用

商品名	型番	備考
クリーニングカートリッジ	SC10CLL	長期保管前メンテナンス時に使用します。
メンテナンスパーツキット	SC10MKIT	以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。 • ワイパーユニット (1 個) • フラッシング用吸収材 (1 個) • エアフィルター (2 個) • 手袋 (2 枚)
インククリーナー	SC2CLN	製品付属のインククリーナーと同等品です。
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
クリーニング棒	SC2CS	製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	

SC-S80650L/SC-S60650L 用

商品名	型番	備考
クリーニングインクパック	SC19PCLL	長期保管前メンテナンス時に使用します。
メンテナンスパーツキット	SC10MKIT2	以下のメンテナンス用消耗品がセットになっています。 • ワイパーユニット (1 個) • フラッシング用吸収材 (1 個) • エアフィルター (2 個) • 手袋 (2 枚)
インククリーナー	SC2CLN	製品付属のインククリーナーと同等品です。
廃インクボトル	SC17WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
クリーニング棒	SC2CS	製品付属のメンテナンスキットに付属のものと同等品です。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	

PANTONE カラーについて (SC-S80650/ SC-S80650L のみ)

PANTONE カラーを再現するには、メディア設定に注意する必要があります。

本機で PANTONE カラーを正しく再現するために、以下の設定をお勧めします。

使用メディア:	ILFORD ナノソルベントプレミアムフォトペーパーグロス
カラーマネージメント:	ONYX RIP
印字モード:	1440×1440dpi 36 パス
インク:	エプソン純正インクカートリッジ/インクパック

使用可能なメディア

本機で利用できるメディアの仕様は、以下の通りです。メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響します。用途に合った適切なメディアをお使いください。また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュアルをご覧ください。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認しておくことをお勧めします。

!重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。

ロールメディア

紙管サイズ (芯径)	2 インチ、3 インチ
ロール外径	メディア搬送ユニット: 最大 250mm 自動巻取りユニット: 最大 200mm
メディア幅	300~1626mm (64 インチ)
メディア厚さ	最大 1mm
ロール重量	最大 45kg

カットメディア

メディア幅	300~1626mm (64 インチ)
メディア長	500mm 以上
メディア厚さ	最大 1mm

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

移動の方法

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説明します。別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧ください。

🔗 [「輸送の方法」124 ページ](#)

⚠ 注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

! 重要

- インクカートリッジ/インクパックを取り外さないでください。プリントヘッドノズルが乾燥することがあります。
- SC-S80650L/SC-S60650L をお使いのときは、必ず以下の状態で移動してください。
 - インクユニットと本機を切り離さない。(本機背面にインクチューブコネクタを接続してコネクタロックをしたままの状態移動する)
 - 固定ワイヤーを取り付けたままの状態にしてください。

移動の準備

1 本機の電源が切れていることを確認します。

2 廃インクボトルを取り外します。

🔗 [「廃インクボトルの交換」75 ページ](#)

3 電源コードなど、全ての配線を取り外します。

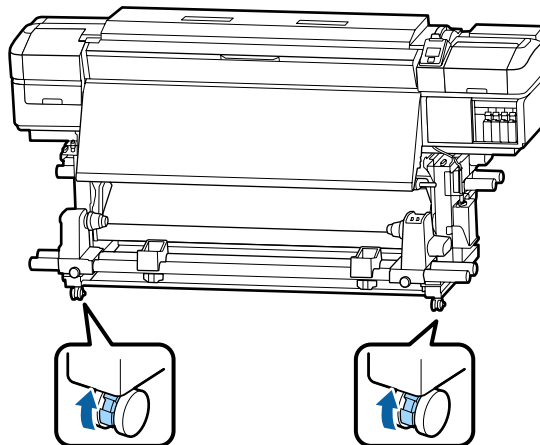
SC-S80650L/SC-S60650L をお使いのときは、インクユニットから以下を取り外します。

- 電源ケーブルと接続ケーブル
- 転倒防止板 (両側とも)

4 メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットからメディアを取り外します。

5 前方 2 箇所のキャスターのロックを解除します。

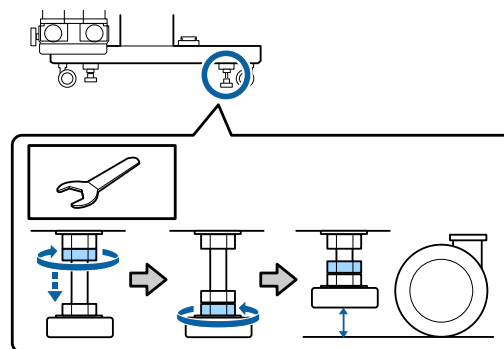
SC-S80650L/SC-S60650L をお使いのときは、インクユニットの 4 箇所のキャスターを全てロック解除します。



! 重要

アジャスターで水平調整を行っているときは、必ずアジャスターをキャスターよりも上がった状態に戻してから本機を移動してください。アジャスターを戻さずに移動すると故障の原因となります。アジャスターの調整には付属のスパナーが必要です。

- ① アジャスターの上側のナットを緩めます。
- ② 下側のナットを反時計回りに回します。
- ③ キャスターよりも上がっていることを確認します。



6 本機を移動します。

本機の左右両端に 1 人ずつ付いて 2 人で移動させてください。

SC-S80650L/SC-S60650L をお使いのときは、本機に 2 人、インクユニットに 1 人、合わせて 3 人で移動させてください。また、進行方向に対して本機が先になるように移動させてください。

！重要

専用スタンドのキャスターは、室内の平らな床を短い距離だけ移動するために使用します。輸送のためには、使用できません。

移動後の本機の設定

移動後は、次の手順に従い使用可能な状態にします。

- 1 設置に適した場所か確認して、取り外したものを取り付けます。

🔗『セットアップガイド』（冊子）

お手元に『セットアップガイド』がないときは、<https://epson.sn> からお使いの機種を選択してご覧いただけます。

- 2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

🔗『セットアップガイド』（冊子）

- 3 ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりがないか確認します。

🔗「チェックパターンの印刷方法」83 ページ

- 4 設定メニューで【メディア調整】を実行して、印刷品質を確認します。

🔗「メディア設定の最適化（メディア調整）」46 ページ

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先 🔗「お問い合わせ先」132 ページ

メディアタイプごとのメディア設定値一覧

メディアタイプを選択すると登録されるメディア設定値は下表の通りです。

設定項目	メディアタイプ					
	のり付き 塩ビ	ターポリン	フィルム	キャンバス	布	合成紙/ その他
プラテンギャップ	1.6	2.0	1.6	2.0	2.0	1.6
プリヒーター温度	40℃	40℃	40℃	40℃	40℃	40℃
プラテンヒーター温度	40℃	40℃	40℃	40℃	40℃	40℃
アフターヒーター温度	50℃	50℃	50℃	50℃	50℃	50℃
パスごとの乾燥時間	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒	0 秒
印刷後の乾燥送り	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
乾燥ファン設定 *	ON	ON	ON	ON	ON	ON
メディアテンション	Lv2	Lv2	Lv2	Lv2	Lv4	Lv2
吸着力	4	4	4	4	4	4
ヘッド移動量	データ幅	データ幅	データ幅	データ幅	データ幅	データ幅
重ね描き回数	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
メディア送り速度制限	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
加圧ローラー荷重	強	中	中	中	弱	強
斜行補正動作	ON	ON	OFF	ON	ON	ON
定期クリーニング頻度	自動	自動	自動	自動	自動	自動

* SC-S60650/SC-S60650L 使用時、または SC-S80650/SC-S80650L/SC-S40650 にオプションの外付け乾燥ファン装着時。

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。(2019 年 6 月現在)

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのホームページ (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。

Epson Edge Dashboard

！重要

Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。
条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 / Windows 7 x64 SP1 Windows 8 / Windows 8 x64 Windows 8.1 / Windows 8.1 x64 Windows 10 / Windows 10 x64
CPU	マルチコアプロセッサ（3.0GHz 以上を推奨）
空きメモリ領域	4GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge

Mac

オペレーティングシステム	Mac OS X 10.7 Lion 以降
CPU	マルチコアプロセッサ（3.0GHz 以上を推奨）
空きメモリ領域	4GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザ	Safari 6 以降

Linux

ディストリビューション	Debian 8.6 64bit (MATE desktop environment only) 以降
CPU	マルチコアプロセッサ (3.0GHz 以上を推奨)
空きメモリー領域	4GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザ	Mozilla Firefox 45 (ESR) 以降

Epson Edge Print

オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 / Windows 7 x64 SP1 Windows 8 / Windows 8 x64 Windows 8.1 / Windows 8.1 x64 Windows 10 / Windows 10 x64 ※64bit を推奨
CPU	マルチコアプロセッサ (3.0GHz 以上を推奨)
空きメモリー領域	4GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	50GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T

本ソフトウェアをインストールするコンピューターは、Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。
また、本ソフトウェアで取り扱うデータは通常でも数 GB、高品質の長尺印刷を行う際は数十 GB になることがあります。
このため、ハードディスクの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

Remote Manager

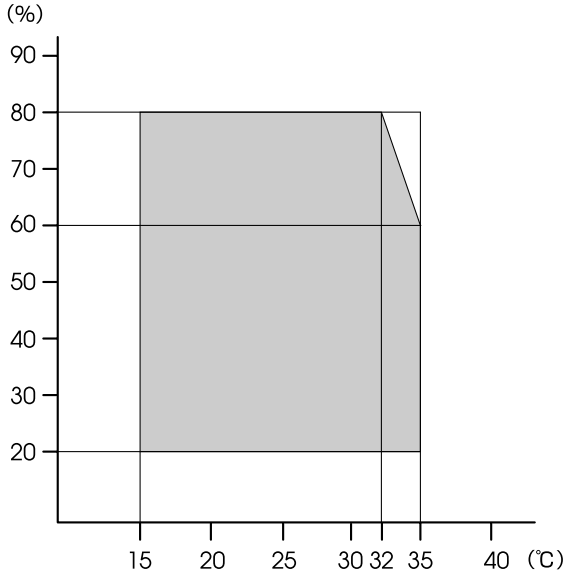
対応ブラウザは以下の通りです。ブラウザは最新バージョンを使用してください。

Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	SC-S80650/SC-S80650L: 360 ノズル×2 列×10 色 (オレンジ、グレー、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、レッド、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト/メタリックシルバー) SC-S60650/SC-S60650L: 360 ノズル×2×2 列×4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) SC-S40650: 360 ノズル×2 列×4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)
解像度 (最大)	1440×1440dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター (コマンドは非公開)
紙送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリー	SC-S80650/SC-S80650L: メイン用 2GB ネットワーク用 128MB SC-S60650/SC-S60650L/ SC-S40650: メイン用 512MB ネットワーク用 128MB
インターフェイス	High Speed USB 100Base-TX/1000Base-T*1
定格電圧 (#1、#2、外付け乾燥ファンユニット*2)	AC100-120V AC200-240V
定格周波数 (#1、#2)	50/60Hz
定格周波数 (外付け乾燥ファンユニット*2)	50/60Hz
定格電流 (#1、#2)	10A (AC100-120V) 5A (AC200-240V)
定格電流 (外付け乾燥ファンユニット*2)	1A (AC100-120V) 0.5A (AC200-240V)

本体仕様	
消費電力	SC-S80650 (#1、#2 の合計) 動作時: 約 650W レディー時: 約 380W スリープモード時: 約 14W 電源オフ時: 約 1.5W
	SC-S80650L (#1、#2 の合計) 動作時: 約 640W レディー時: 約 400W スリープモード時: 約 24W 電源オフ時: 約 1.5W
	SC-S60650 (#1、#2、外付け乾燥ファンユニット*2 の合計) 動作時: 約 745W レディー時: 約 445W スリープモード時: 約 13W 電源オフ時: 約 1.8W
	SC-S60650L (#1、#2、外付け乾燥ファンユニット*2 の合計) 動作時: 約 865W レディー時: 約 525W スリープモード時: 約 23W 電源オフ時: 約 1.8W
温度	SC-S40650 (#1、#2 の合計) 動作時: 約 480W レディー時: 約 330W スリープモード時: 約 12W 電源オフ時: 約 1.5W
	動作時: 15～35℃ (20～32℃を推奨) 保管時: -20～40℃ (40℃の場合 1 ヶ月以内)
湿度	動作時: 20～80% (40～60%を推奨) (結露しないこと) 保管時: 5～85% (結露しないこと)

本体仕様	
動作温度・湿度範囲 	
外形サイズ	SC-S60650 収納時: 幅 2620×奥行 972×高さ 1338mm 最大時: 幅 2620×奥行 1147×高さ 1671mm
	SC-S60650L 収納時: 幅 2766×奥行 972×高さ 1338mm 最大時: 幅 2766×奥行 1147×高さ 1671mm
	SC-S80650/SC-S40650 収納時: 幅 2620×奥行 880×高さ 1338mm 最大時: 幅 2620×奥行 1090×高さ 1671mm
	SC-S80650L 収納時: 幅 2766×奥行 880×高さ 1338mm 最大時: 幅 2766×奥行 1090×高さ 1671mm
質量*3	SC-S80650: 約 284kg SC-S80650L: 約 328kg SC-S60650: 約 291kg SC-S60650L: 約 336kg SC-S40650: 約 279kg

*1 シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5e 以上）を使用してください。

*2 SC-S60650/SC-S60650L に付属の外付け乾燥ファンユニット

*3 インクカートリッジ/インクパック含まず

インク仕様	
形態	専用インクカートリッジ/インクパック
顔料インク	SC-S80650/SC-S80650L: オレンジ、グレー、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、レッド、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト/メタリックシルバー SC-S60650/SC-S60650L/SC-S40650: ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー
有効期限	個装箱、カートリッジ、インクパックに記載された期限（常温で保管）
印刷品質保証期限	6 ヶ月（インクカートリッジの袋を開封した日/インクユニットのトレイに装着した日から）
保管温度	梱包保管時: -20～40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 ヶ月以内） 本体装着時: -20～40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 4 日以内） 梱包輸送時: -20～60℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 ヶ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
外形寸法	カートリッジ: 幅 40×長さ 305×高さ 110mm
	インクパック: 幅 180×長さ 410×高さ 30mm
容量	カートリッジ: WH: 600ml MS: 350ml その他の色: 700ml
	インクパック: MS: 500ml クリーニング: 700ml その他の色: 1500ml

！重要

- インクカートリッジのインクは詰め替えないでください。
- 本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[🔗 「お問い合わせ先」 132 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

[🔗 「困ったときは」 110 ページ](#)

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター

[🔗 「お問い合わせ先」 132 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後そのつどお支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各○印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク2) 2018.04

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

Bonjour

This printer product includes the open source software programs which apply the Apple Public Source License Version 1.2 or its latest version ("Bonjour Programs").

We provide the source code of the Bonjour Programs pursuant to the Apple Public Source License Version 1.2 or its latest version until five (5) years after the discontinuation of same model of this printer product. If you desire to receive the source code of the Bonjour Programs, please see the "Contacting Customer Support" in Appendix or Printing Guide of this User's Guide, and contact the customer support of your region.

You can redistribute Bonjour Programs and/or modify it under the terms of the Apple Public Source License Version 1.2 or its latest version

These Bonjour Programs are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The Apple Public Source License Version 1.2 is as follows. You also can see the Apple Public Source License Version 1.2 at <http://www.opensource.apple.com/apsl/>.

APPLE PUBLIC SOURCE LICENSE
Version 2.0 - August 6, 2003

1. General; Definitions. This License applies to any program or other work which Apple Computer, Inc. ("Apple") makes publicly available and which contains a notice placed by Apple identifying such program or work as "Original Code" and stating that it is subject to the terms of this Apple Public Source License version 2.0 ("License"). As used in this License:

1.1 "Applicable Patent Rights" mean: (a) in the case where Apple is the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to Apple and (ii) that cover subject matter contained in the Original Code, but only to the extent necessary to use, reproduce and/or distribute the Original Code without infringement; and (b) in the case where You are the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to You and (ii) that cover subject matter in Your Modifications, taken alone or in combination with Original Code.

1.2 "Contributor" means any person or entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.3 "Covered Code" means the Original Code, Modifications, the combination of Original Code and any Modifications, and/or any respective portions thereof.

1.4 "Externally Deploy" means: (a) to sublicense, distribute or otherwise make Covered Code available, directly or indirectly, to anyone other than You; and/or (b) to use Covered Code, alone or as part of a Larger Work, in any way to provide a service, including but not limited to delivery of content, through electronic communication with a client other than You.

1.5 "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.6 "Modifications" mean any addition to, deletion from, and/or change to, the substance and/or structure of the Original Code, any previous Modifications, the combination of Original Code and any previous Modifications, and/or any respective portions thereof. When code is released as a series of files, a Modification is: (a) any addition to or deletion from the contents of a file containing Covered Code; and/or (b) any new file or other representation of computer program statements that contains any part of Covered Code.

1.7 "Original Code" means (a) the Source Code of a program or other work as originally made available by Apple under this License, including the Source Code of any updates or upgrades to such programs or works made available by Apple under this License, and that has been expressly identified by Apple as such in the header file(s) of such work; and (b) the object code compiled from such Source Code and originally made available by Apple under this License

1.8 "Source Code" means the human readable form of a program or other work that is suitable for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an executable (object code).

1.9 "You" or "Your" means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" or "Your" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with, You, where "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Permitted Uses; Conditions & Restrictions. Subject to the terms and conditions of this License, Apple hereby grants You, effective on the date You accept this License and download the Original Code, a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, to the extent of Apple's Applicable Patent Rights and copyrights covering the Original Code, to do the following:

2.1 Unmodified Code. You may use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy verbatim, unmodified copies of the Original Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance:

(a) You must retain and reproduce in all copies of Original Code the copyright and other proprietary notices and disclaimers of Apple as they appear in the Original Code, and keep intact all notices in the Original Code that refer to this License; and

(b) You must include a copy of this License with every copy of Source Code of Covered Code and documentation You distribute or Externally Deploy, and You may not offer or impose any terms on such Source Code that alter or restrict this License or the recipients' rights hereunder, except as permitted under Section 6.

2.2 Modified Code. You may modify Covered Code and use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy Your Modifications and Covered Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance You also meet all of these conditions:

- (a) You must satisfy all the conditions of Section 2.1 with respect to the Source Code of the Covered Code;
- (b) You must duplicate, to the extent it does not already exist, the notice in Exhibit A in each file of the Source Code of all Your Modifications, and cause the modified files to carry prominent notices stating that You changed the files and the date of any change; and
- (c) If You Externally Deploy Your Modifications, You must make Source Code of all Your Externally Deployed Modifications either available to those to whom You have Externally Deployed Your Modifications, or publicly available. Source Code of Your Externally Deployed Modifications must be released under the terms set forth in this License, including the license grants set forth in Section 3 below, for as long as you Externally Deploy the Covered Code or twelve (12) months from the date of initial External Deployment, whichever is longer. You should preferably distribute the Source Code of Your Externally Deployed Modifications electronically (e.g. download from a web site).

2.3 Distribution of Executable Versions. In addition, if You Externally Deploy Covered Code (Original Code and/or Modifications) in object code, executable form only, You must include a prominent notice, in the code itself as well as in related documentation, stating that Source Code of the Covered Code is available under the terms of this License with information on how and where to obtain such Source Code.

2.4 Third Party Rights. You expressly acknowledge and agree that although Apple and each Contributor grants the licenses to their respective portions of the Covered Code set forth herein, no assurances are provided by Apple or any Contributor that the Covered Code does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Apple and each Contributor disclaim any liability to You for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, You hereby assume sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow You to distribute the Covered Code, it is Your responsibility to acquire that license before distributing the Covered Code.

3. Your Grants. In consideration of, and as a condition to, the licenses granted to You under this License, You hereby grant to any person or entity receiving or distributing Covered Code under this License a non-exclusive, royalty-free, perpetual, irrevocable license, under Your Applicable Patent Rights and other intellectual property rights (other than patent) owned or controlled by You, to use, reproduce, display, perform, modify, sublicense, distribute and Externally Deploy Your Modifications of the same scope and extent as Apple's licenses under Sections 2.1 and 2.2 above.

4. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In each such instance, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code or any portion thereof.

5. Limitations on Patent License. Except as expressly stated in Section 2, no other patent rights, express or implied, are granted by Apple herein. Modifications and/or Larger Works may require additional patent licenses from Apple which Apple may grant in its sole discretion.

6. Additional Terms. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations and/or other rights consistent with the scope of the license granted herein ("Additional Terms") to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf and as Your sole responsibility, and not on behalf of Apple or any Contributor. You must obtain the recipient's agreement that any such Additional Terms are offered by You alone, and You hereby agree to indemnify, defend and hold Apple and every Contributor harmless for any liability incurred by or claims asserted against Apple or such Contributor by reason of any such Additional Terms.

7. Versions of the License. Apple may publish revised and/or new versions of this License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once Original Code has been published under a particular version of this License, You may continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Original Code under the terms of any subsequent version of this License published by Apple. No one other than Apple has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

8. NO WARRANTY OR SUPPORT. The Covered Code may contain in whole or in part pre-release, untested, or not fully tested works. The Covered Code may contain errors that could cause failures or loss of data, and may be incomplete or contain inaccuracies. You expressly acknowledge and agree that use of the Covered Code, or any portion thereof, is at Your sole and entire risk. THE COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY, UPGRADES OR SUPPORT OF ANY KIND AND APPLE AND APPLE'S LICENSOR(S) (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "APPLE" FOR THE PURPOSES OF SECTIONS 8 AND 9) AND ALL CONTRIBUTORS EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES AND/OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES AND/OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. APPLE AND EACH CONTRIBUTOR DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE COVERED CODE, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE COVERED CODE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE COVERED CODE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE COVERED CODE WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY APPLE, AN APPLE AUTHORIZED REPRESENTATIVE OR ANY CONTRIBUTOR SHALL CREATE A WARRANTY. You acknowledge that the Covered Code is not intended for use in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation, communication systems, or air traffic control machines in which case the failure of the Covered Code could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage.

9. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL APPLE OR ANY CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF OR RELATING TO THIS LICENSE OR YOUR USE OR INABILITY TO USE THE COVERED CODE, OR ANY PORTION THEREOF, WHETHER UNDER A THEORY OF CONTRACT, WARRANTY, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCTS LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE OR SUCH CONTRIBUTOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES AND NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY REMEDY. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE LIMITATION OF LIABILITY OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU. In no event shall Apple's total liability to You for all damages (other than as may be required by applicable law) under this License exceed the amount of fifty dollars (\$50.00).

10. Trademarks. This License does not grant any rights to use the trademarks or trade names "Apple", "Apple Computer", "Mac", "Mac OS", "QuickTime", "QuickTime Streaming Server" or any other trademarks, service marks, logos or trade names belonging to Apple (collectively "Apple Marks") or to any trademark, service mark, logo or trade name belonging to any Contributor. You agree not to use any Apple Marks in or as part of the name of products derived from the Original Code or to endorse or promote products derived from the Original Code other than as expressly permitted by and in strict compliance at all times with Apple's third party trademark usage guidelines which are posted at <http://www.apple.com/legal/guidelinesfor3rdparties.html>.

11. Ownership. Subject to the licenses granted under this License, each Contributor retains all rights, title and interest in and to any Modifications made by such Contributor. Apple retains all rights, title and interest in and to the Original Code and any Modifications made by or on behalf of Apple ("Apple Modifications"), and such Apple Modifications will not be automatically subject to this License. Apple may, at its sole discretion, choose to license such Apple Modifications under this License, or on different terms from those contained in this License or may choose not to license them at all.

12. Termination.

12.1 Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate:

- (a) automatically without notice from Apple if You fail to comply with any term(s) of this License and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of such breach;
- (b) immediately in the event of the circumstances described in Section 13.5(b); or
- (c) automatically without notice from Apple if You, at any time during the term of this License, commence an action for patent infringement against Apple; provided that Apple did not first commence an action for patent infringement against You in that instance.

12.2 Effect of Termination. Upon termination, You agree to immediately stop any further use, reproduction, modification, sublicensing and distribution of the Covered Code. All sublicenses to the Covered Code which have been properly granted prior to termination shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, should remain in effect beyond the termination of this License shall survive, including but not limited to Sections 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12.2 and 13. No party will be liable to any other for compensation, indemnity or damages of any sort solely as a result of terminating this License in accordance with its terms, and termination of this License will be without prejudice to any other right or remedy of any party.

13. Miscellaneous.

13.1 Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" as defined in FAR 2.101. Government software and technical data rights in the Covered Code include only those rights customarily provided to the public as defined in this License. This customary commercial license in technical data and software is provided in accordance with FAR 12.211 (Technical Data) and 12.212 (Computer Software) and, for Department of Defense purchases, DFAR 252.227-7015 (Technical Data -- Commercial Items) and 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation). Accordingly, all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

13.2 Relationship of Parties. This License will not be construed as creating an agency, partnership, joint venture or any other form of legal association between or among You, Apple or any Contributor, and You will not represent to the contrary, whether expressly, by implication, appearance or otherwise.

13.3 Independent Development. Nothing in this License will impair Apple's right to acquire, license, develop, have others develop for it, market and/or distribute technology or products that perform the same or similar functions as, or otherwise compete with, Modifications, Larger Works, technology or products that You may develop, produce, market or distribute.

13.4 Waiver; Construction. Failure by Apple or any Contributor to enforce any provision of this License will not be deemed a waiver of future enforcement of that or any other provision. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter will not apply to this License.

13.5 Severability. (a) If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision of this License, or portion thereof, to be unenforceable, that provision of the License will be enforced to the maximum extent permissible so as to effect the economic benefits and intent of the parties, and the remainder of this License will continue in full force and effect. (b) Notwithstanding the foregoing, if applicable law prohibits or restricts You from fully and/or specifically complying with Sections 2 and/or 3 or prevents the enforceability of either of those Sections, this License will immediately terminate and You must immediately discontinue any use of the Covered Code and destroy all copies of it that are in your possession or control.

13.6 Dispute Resolution. Any litigation or other dispute resolution between You and Apple relating to this License shall take place in the Northern District of California, and You and Apple hereby consent to the personal jurisdiction of, and venue in, the state and federal courts within that District with respect to this License. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded.

13.7 Entire Agreement; Governing Law. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof. This License shall be governed by the laws of the United States and the State of California, except that body of California law concerning conflicts of law.

Where You are located in the province of Quebec, Canada, the following clause applies: The parties hereby confirm that they have requested that this License and all related documents be drafted in English.

Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.

EXHIBIT A.

"Portions Copyright (c) 1999-2003 Apple Computer, Inc. All Rights Reserved.

This file contains Original Code and/or Modifications of Original Code as defined in and that are subject to the Apple Public Source License Version 2.0 (the 'License'). You may not use this file except in compliance with the License. Please obtain a copy of the License at <http://www.opensource.apple.com/apsl/> and read it before using this file.

The Original Code and all software distributed under the License are distributed on an 'AS IS' basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, AND APPLE HEREBY DISCLAIMS ALL SUCH WARRANTIES, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, QUIET ENJOYMENT OR NON-INFRINGEMENT. Please see the License for the specific language governing rights and limitations under the License."

OpenSSL License/Original SSLeay License

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts.

OpenSSL License

```

/* =====
 * Copyright (c) 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *    the documentation and/or other materials provided with the
 *    distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *    software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 *    endorse or promote products derived from this software without
 *    prior written permission. For written permission, please contact
 *    openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"

```

```

*      nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
*      permission of the OpenSSL Project.
*
* 6.  Redistributions of any form whatsoever must retain the following
*      acknowledgment:
*
*      "This product includes software developed by the OpenSSL Project
*      for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* =====
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* /

```

Original SSLeay License

```

-----
/ * Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

```

- * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
- * included with this distribution is covered by the same copyright terms
- * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
- *
- * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
- * the code are not to be removed.
- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.

- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- * /